GT Works2 Version2/ GT Designer2 Version2

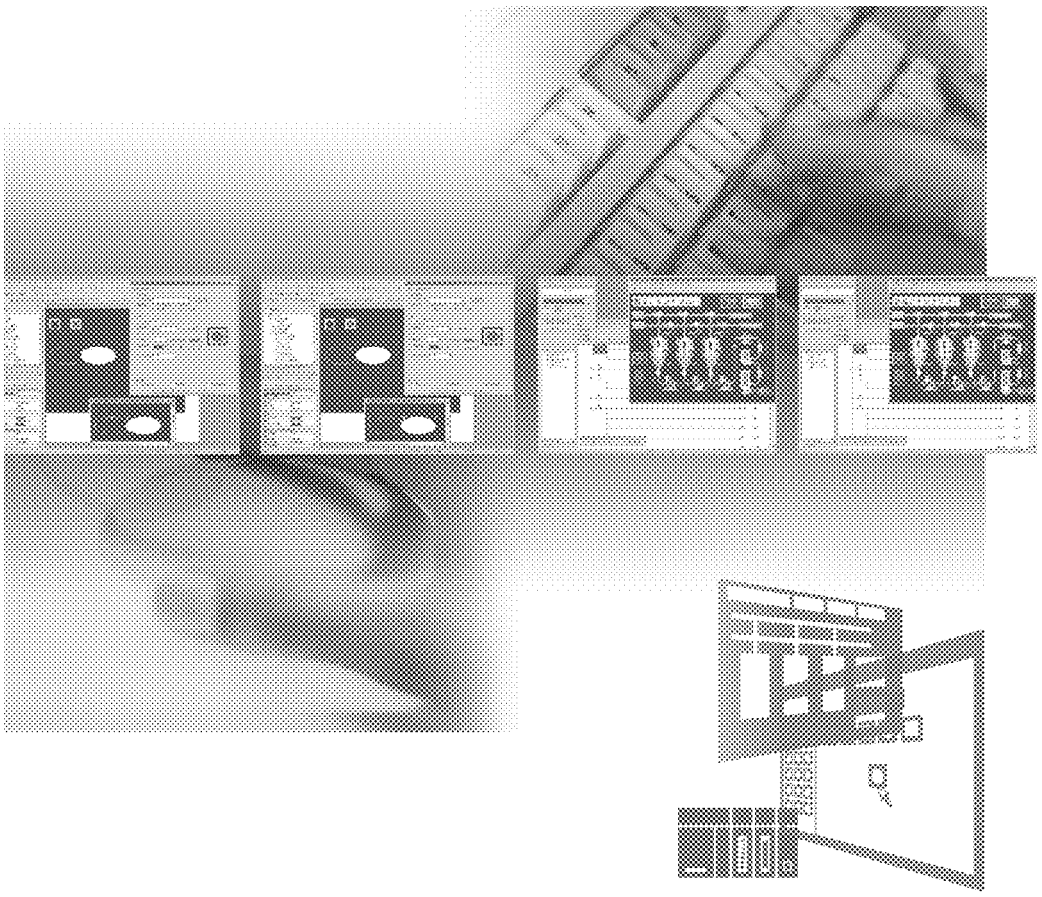
MITSUBISHI

オペレーティングマニュアル

スタートアップ・入門編

（GOT900シリーズ対応）

MELSOFT



MELSOFT MITSUBISHI TOTAL FA SOLUTION

GT Designer 2

GT Simulator 2

GT SoftGOT 2

統合FAソフトウェア
MELSOFT

SW2D5C-GTWK2-J
SW2D5C-GTD2-J

● 安全上のご注意 ●

（ご使用前に必ずお読みください）

本製品のご使用に際しては，本マニュアルおよび本マニュアルで紹介している関連マニュアルをよくお読みいただくと共に，安全に対して十分に注意を払って，正しい取扱いをしていただくようお願いいたします。

本マニュアルで示す注意事項は，本製品に関するもののみについて記載したものです。

この●安全上のご注意●では，安全注意事項のランクを「危険」,「注意」として区分してあります。

⚠危険	**取扱いを誤った場合に，危険な状況が起こりえて，死亡または重傷を受ける可能性が想定される場合。**
⚠注意	**取扱いを誤った場合に，危険な状況が起こりえて，中程度の傷害や軽傷を受ける可能性が想定される場合および物的損害だけの発生が想定される場合。**

なお，⚠注意に記載した事項でも，状況によっては重大な事故に結びつく可能性があります。

いずれも重要な内容を記載していますので必ず守ってください。

本マニュアルは必要なときに読めるよう大切に保管すると共に，必ず最終ユーザまでお届けいただくようお願いいたします。

【設計上の注意事項】

⚠危険

● GOT 本体，通信ボード，ケーブルの故障によっては出力が ON し続けたり，OFF し続けたりすることがあります。
重大な事故につながるような出力信号については，外部で監視する回路を設けてください。
誤出力，誤動作により事故の恐れがあります。

● GOT でモニタ実行時，通信異常（ケーブル抜けも含む）が発生すると GOT とシーケンサ CPU の通信が中断され GOT は動作不能となります。
バス接続時　　：CPU がダウンし，GOT 操作不能
GOT を使用するシステム構成時は GOT の通信異常時を想定して，システムに対する重大な動作を行うスイッチについては GOT 以外の装置により行うシステムを構成してください。
誤出力，誤動作により事故の恐れがあります。

【設計上の注意事項】

⚠注意

● 制御線や通信ケーブルは，主回路や動力線などと束線したり，近接したりしないでください。
100mm 以上を目安として離してください。
ノイズにより，誤動作の原因になります。

【取付け上の注意事項】

⚠危険

● GOT 本体を盤に取付け，取外す場合は，必ず GOT の電源を外部にて全相遮断してから行ってください。
全相遮断しないと，ユニットの故障や誤動作の原因になります。

● 通信ボードを GOT に着脱する場合は，必ず GOT の電源を外部にて全相遮断してから行ってください。
全相遮断しないと，ユニットの故障や誤動作の原因になります。

⚠注意

● GOT は GOT 本体のユーザーズマニュアル記載の一般仕様の環境で使用してください。
一般仕様の範囲以外の環境で使用すると，感電，火災，誤動作，製品の損傷あるいは劣化の原因になります。

● GOT 本体を盤に取付け時，取付けネジの締付けは，規定トルク範囲で行ってください。
取付けネジの締付けがゆるいと，落下，短絡，誤動作の原因になります。
取付けネジを締めすぎると，ネジやユニットの破損による落下，短絡，誤動作の原因になります。

● GOT 本体に通信ボードを装着するときは，GOT 装着部に装着し，取付けネジを規定トルク範囲で締め付けてください。
取付けネジの締付けがゆるいと，落下，故障，誤動作の原因になります。
取付けネジを締めすぎると，ネジやユニットの破損による落下，故障，誤動作の原因になります。

【配線上の注意事項】

⚠危険

● 配線作業は，必ず GOT の電源を外部にて全相遮断してから行ってください。
全相遮断しないと，感電，製品の損傷，誤動作の恐れがあります。

⚠注意

● GOT 電源部の FG 端子，LG 端子および保護接地端子は，GOT 専用の D 種接地（第三種接地）以上で必ず接地を行ってください。
感電，誤動作の恐れがあります。

● GOT の電源ユニットへの配線は，製品の定格電圧および端子配列を確認した上で正しく行ってください。
定格と異なった電源を接続したり，誤配線をすると，火災，故障の原因になります。

● GOT 電源部の端子ネジの締付けは，規定トルク範囲で行ってください。
端子ネジの締付けがゆるいと短絡，誤動作の原因になります。
端子ネジを締めすぎると，ネジやユニットの破損による短絡，誤動作の原因になります。

● ユニット内に，切粉や配線クズなどの異物が入らないように注意してください。
火災，故障，誤動作の原因になります。

● バス接続ケーブルは，接続するユニットのコネクタに“カチッ”と音がするまで挿入し，装着してください。
装着後に，浮き上がりがないかチェックしてください。
接続不良により，誤動作の原因になります。

● 通信ケーブルは，接続するユニットのコネクタに装着し，取付けネジおよび端子ネジを規定トルク範囲で締め付けてください。
取付けネジおよび端子ネジの締付けがゆるいと短絡，誤動作の原因になります。
取付けネジおよび端子ネジを締めすぎると，ネジやユニットの破損による短絡，誤動作の原因になります。

【テスト操作時の注意事項】

⚠危険

● ユーザ作成モニタ画面のテスト操作（ビットデバイスの ON/OFF，ワードデバイスの現在値変更，タイマ／カウンタの設定値，現在値変更，バッファメモリの現在値変更）は，マニュアルを熟読し操作方法を十分理解した上で行ってください。
また，システムに対する重大な動作を行うデバイスに対しては絶対にテスト操作でデータ変更を行わないでください。
誤出力，誤動作により事故の原因になります。

【立上げ・保守時の注意事項】

⚠危険

● 通電中に端子に触れないでください。
感電，誤動作の原因になります。

● 清掃や端子ネジの増し締めは，必ず電源を外部にて全相遮断してから行ってください。
全相遮断しないと，ユニットの故障や誤動作の原因になります。
ネジの締付けがゆるいと短絡，誤動作の原因になります。
ネジを締め過ぎると，ネジやユニットの破損による短絡，誤動作の原因になります。

⚠注意

● ユニットの分解，改造はしないでください。
故障，誤動作，ケガ，火災の原因になります。

● ユニットの導電部分や電子部品には直接触らないでください。
ユニットの誤動作，故障の原因になります。

● ユニットに接続するケーブルは，必ずダクトに納めるまたはクランプによる固定処理を行ってください。
ケーブルをダクトに納めなかったり，クランプによる固定処理をしていないと，ケーブルのブラツキや移動，不注意の引っ張りなどによるユニットやケーブルの破損，ケーブルの接続不良による誤動作の原因となります。

● ユニットに接続されたケーブルを取りはずすときは，ケーブル部分を手に持って引っ張らないでください。
ユニットに接続された状態でケーブルを引っ張ると，ユニットやケーブルの破損，ケーブルの接続不良による誤動作の原因となります。

【廃棄時の注意事項】

⚠注意

● 製品を廃棄するときは，産業廃棄物として扱ってください。

本ソフトウェアご使用上の注意事項

1. **使用するパソコンのメモリについて**
   パソコンの機種によっては主メモリ 64M バイト以下の場合，Windows® により処理を終了される場合があるので，主メモリを 64M バイト以上にしてご使用ください。

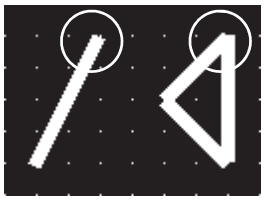
2. **ハードディスク（仮想メモリ）の空き容量について**
   本ソフトウェア実行中は，ハードディスクの仮想メモリの空き容量が 100M バイト以上必要です。
   GT Designer2 実行中に空き容量が 100M バイト以上確保できなくなった場合は，Windows® により処理が終了される場合があります。
   ハードディスクの仮想メモリの空き容量を十分確保して使用してください。
   仮想メモリ空き容量が少ない場合は，できるだけ頻繁にプロジェクトの保存を行ってください。

3. **起動時・編集中に表示されるエラーメッセージについて**
   “メモリが不足しているため，操作は終了されます。よろしいですか？”
   “Operation will be terminated because of insufficient memory. Would you like to Stop？”
   上記エラーが表示された場合には，同時に起動しているアプリケーションソフトウェアを終了するか，Windows® を再起動して，ハードディスクの空き容量を 50M バイト以上確保してください。

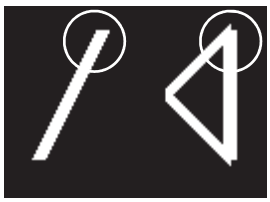
4. **GT Designer2 と GOT の表示について**
   (a) 実線以外（点線など）の太線の表示上の注意事項
   実線以外を太線で作画した場合，パソコン上の画面では線種が正しく表示されない場合があります。
   ただし，GOT 本体上では正しく表示されますのでデータ上の問題はありません。

   (b) 直線／連続直線／多角形の終端（頂点）処理
   GT Designer2 と GOT では，直線／連続直線／多角形の終端が以下のように異なります。

   GT Designer2での表示

   GOTでの表示

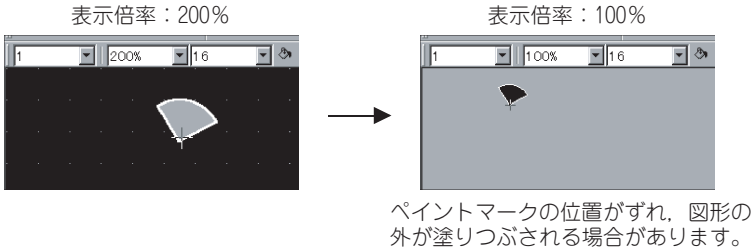
   (c) 塗り込みパターンの開始位置
   塗り込みパターンは同じですが、パターンによってはパターンの開始位置が異なります。

   (d) 線種の描画
   線の種類において、点線（鎖線）部分の長さが異なる場合があります。

   (e) オブジェクトの表示
   ・グラフ機能のメモリ数値表示の表示位置が実際の GOT での表示と異なります。
   ・コメント表示で表示開始行の設定をしている場合でも，GT Designer2 上では，1 行目のコメントが表示されます。

(f) 表示倍率について
作画画面の表示倍率を変更すると，つなげていた線や図形が離れたり，ペイントの塗りつぶしがはみ出る場合がありますが，プレビュー画面で正しく表示されれば，GOT で正しく表示されます。

例）ペイントがはみ出して塗りつぶされる場合



ペイントマークの位置がずれ，図形の
外が塗りつぶされる場合があります。

5. システム環境の色設定で，表示色が少ない色に変更した場合（256 色→ 2 色など）の制約事項

・色を設定するカラーパレットは，変更した色数のパレットに変更されます。
・作画画面上での色表示は，変更前の色のままです。
「赤」色の長方形が存在していて，色数を「2 色 (モノクロ)」に変更した場合でも，長方形の「赤」はそのままです。
・イメージデータ（BMP 形式ファイル）は，プロジェクト保存時に変更した色に減色されます。

6. デバイス種類別のオブジェクト機能について

ビットデバイスとワードデバイスで設定が分かれているオブジェクト（ビットランプ，ワードランプなど）は，ビット→ワード，ワード→ビットに変換できません。

7. デバイスの種類を変更した場合

設定したデバイスの種類を，ビットデバイスからワードデバイスに変更した場合，デバイスの確認をしてください。設定内容によっては，デバイスの表記が "??" になる場合があります。

例）D0.b0 → D0　　D0.b5 → ??

8. OS の設定

OS（Windows® ）の画面設定は，フォントサイズを「小さいフォント」で設定してください。
フォントサイズを「大きいフォント」で設定していると，GT Designer2 のダイアログボックスなどが，正しく表示されません。

9. GT Designer2 起動後にツールバーのアイコンが小さくなる場合

GT Designer2 起動後にツールバーのアイコンが小さくなった場合は，ツールバーを初期化するとアイコンを正常に表示できます。
（【プロジェクト】→【作画環境】ツールバータブの 全てリセット ボタンをクリックしてください。）



10. 英語版 GT Designer2 を日本語 OS 以外のパソコンで使用する場合

使用する OS によっては GT Designer2，GOT が対応していないフォントがあるため，正しく表示されない場合があります。

改 定 履 歴

※取扱説明書番号は，本説明書の裏表紙の左下に記載してあります。

印刷日付	※取扱説明書番号	改　定　内　容
2004 年 7 月	SH(名)-080513-A	初版印刷
2004 年 10 月	SH(名)-080513-B	一部修正 2.2 節，3.2 節，7.2.2 項，7.4.1 項 一部追加 1 章，7.4.2 項，7.4.3 項，7.4.4 項
2005 年 1 月	SH(名)-080513-C	一部修正 マニュアルの読み方，3.2 節，4.1 節，4.2 節，4.2.2 項，4.4 節，7.2 節， 8.3 節
2005 年 7 月	SH(名)-080513-D	一部修正 2.2 節，4.2 節，7.2.1 項，7.2.2 項，7.2.3 項，7.4.1 項，7.4.2 項， 7.4.3 項，7.4.4 項，7.4.5 項，7.4.6 項，7.6 節，8.1.2 項， 7.1 → 7.2 節に変更， 7.2 → 7.1 節に変更， 7.2.1 → 7.1.1 項に変更
2005 年 11 月	SH(名)-080513-E	一部修正 4.1 節，4.2 節，5.1 節， 一部追加 2.1 節
2006 年 3 月	SH(名)-080513-F	一部修正 2.1 節，3.2 節，7.2.1 項
2006 年 5 月	SH(名)-080513-G	一部修正 7.2.2 項
2006 年 10 月	SH(名)-080513-H	一部修正 4.2.1 項
2007 年 2 月	SH(名)-080513-I	一部修正 2.1 節
2007 年 4 月	SH(名)-080513-J	一部修正 3.2 節
2007 年 10 月	SH(名)-080513-K	一部修正 2.1 節，3.2 節，4.2 節，4.3 節，4.4 節
2008 年 4 月	SH(名)-080513-L	一部修正 2.1 節，3.2 節，4.1 節，4.2 節，4.3 節，4.4 節，5.3 節，7.1 節

印刷日付	※取扱説明書番号	改　定　内　容
2008 年 5 月	SH(名)-080513-M	一部修正 3.2 節，4.2.1 項，4.3 節
2008 年 8 月	SH(名)-080513-N	一部修正 2.1 節，3.2 節，4.2 節，7.4 節，7.6 節

本書によって，工業所有権その他の権利の実施に対する保証，または実施権を許諾するものではありません。また本書の掲載内容の使用により起因する工業所有権上の諸問題については，当社は一切その責任を負うことができません。

© 2004 MITSUBISHI ELECTRIC CORPORATION

ソフトウェア登録のお薦め

同梱の「ソフトウェア使用契約書」の内容を承諾いただいたあと，誠にお手数ですが，MELFANSweb ホームページ（http://www.MitsubishiElectric.co.jp/melfansweb）にアクセスし，ソフトウェア登録を行ってくださいますようお願い申し上げます。（登録にかかる料金などは一切不要です。）
また，同梱の「ソフトウェア登録証」を FAX または郵送していただくことでも登録いただけます。

(1) ソフトウェア登録

MELFANSweb ホームページへのアクセス，または製品に同梱されている「ソフトウェア登録証」を FAX，郵送していただくことにより，ソフトウェア登録を行うことが可能です。
ソフトウェア登録後，弊社でユーザ登録を行い，ユーザ ID と共に「ソフトウェア登録確認証」を送付致します。
また，新製品ニュース，バージョンアップ情報，その他催しなどの最新情報がダイレクトメールにてご提供致します。

(2) お問い合わせに際しての注意事項

お問い合わせの内容はマニュアルで使用されている用語で，具体的かつ明確にお願い致します。
問題と思われる現象については，その現象を再現する情報が必要となりますので，詳しくお知らせください。
また，パソコン OS や弊社以外の市販ソフトウェアについてのお問い合わせなどは，それぞれのメーカにお問い合わせください。

はじめに

このたびは，三菱グラフィックオペレーションターミナルをお買い上げいただきまことにありがとうございました。

ご使用前に本書をよくお読みいただき，グラフィックオペレーションターミナルの機能・性能を十分ご理解のうえ，正しくご使用くださるようお願い致します。

目　次

安全上のご注意 ····· A - 1
本ソフトウェアご使用上の注意事項 ····· A - 5
改　定　履　歴 ····· A - 7
ソフトウェア登録のお薦め ····· A - 9
はじめに ····· A - 10
目　次 ····· A - 10
機能早見表 ····· A - 12
マニュアルについて ····· A - 19
本マニュアルで使用する略称，総称 ····· A - 20
マニュアルの読み方 ····· A - 23
製品構成 ····· A - 24

スタートアップ編

1章　概　　要　　1 - 1 ～ 1 - 2

1.1　従来ソフトウェアを使用している場合　1 - 1
1.2　マニュアルについて　1 - 2

2章　ソフトウェアパッケージの構成　　2 - 1 ～ 2 - 3

2.1　ソフトウェアの種類　2 - 1
2.2　その他の付属データ　2 - 2

3章　システム構成　　3 - 1 ～ 3 - 6

3.1　システム構成　3 - 1
3.2　動作環境　3 - 1

4章　インストール，アンインストール　　4 - 1 ～ 4 - 15

4.1　メニュー画面の起動　4 - 1
4.2　各ソフトウェアのインストール　4 - 2
4.2.1　ソフトウェアのインストール手順 ····· 4 - 4
4.2.2　マニュアルデータのインストール ····· 4 - 10

4.3 各ソフトウェアのアンインストール 4 - 12
4.4 各ソフトウェアの起動 4 - 15

5 章 オンラインマニュアルとヘルプの使い方 5 - 1 ～ 5 - 5

5.1 オンラインマニュアルの使い方 5 - 1
5.2 ヘルプの使い方 5 - 3
5.3 製品情報の見方 5 - 5

入門編

6 章 GOT とは 6 - 1 ～ 6 - 3

6.1 GOT について 6 - 1
6.2 GOT の動作について 6 - 2

7 章 モニタデータを作成する 7 - 1 ～ 7 - 22

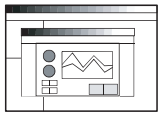
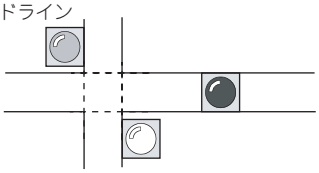
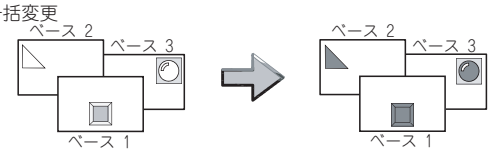
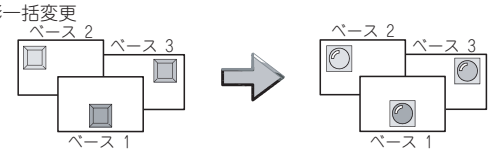
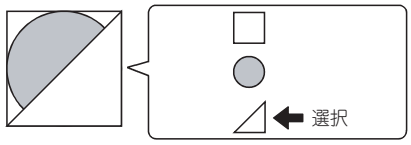
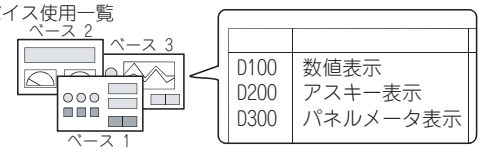
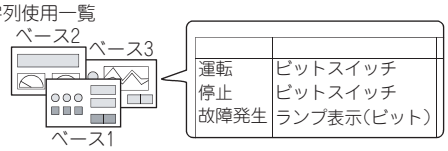
7.1 画面を作成する 7 - 1
7.1.1 GT Designer2 の画面構成 ····· 7 - 1
7.2 画面作成前の設定 7 - 2
7.2.1 プロジェクトを作成する ····· 7 - 2
7.2.2 2 画面目を作成する····· 7 - 4
7.2.3 画面切換えデバイスを設定する ····· 7 - 4
7.2.4 作成した画面の切換え方法 ····· 7 - 5
7.3 図形の描画・文字の入力 7 - 6
7.4 オブジェクト機能の設定 7 - 8
7.4.1 数値表示／数値入力の設定方法 ····· 7 - 9
7.4.2 ランプ表示の設定方法 ····· 7 - 11
7.4.3 タッチスイッチ（ビットスイッチ）の設定方法 ····· 7 - 13
7.4.4 タッチスイッチ（画面切換えスイッチ）の設定方法 ····· 7 - 15
7.4.5 アラームリスト表示（システムアラーム）の設定方法 ····· 7 - 17
7.4.6 アラームリスト表示（ユーザアラーム）の設定方法 ····· 7 - 18
7.5 作成したモニタデータを保存する 7 - 21
7.6 作成したモニタデータをプレビューする 7 - 22

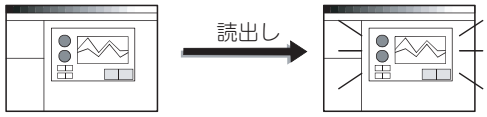
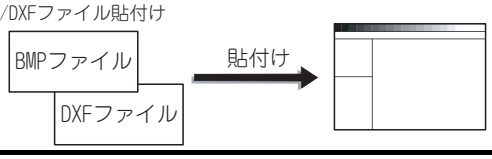
8 章 GOT でモニタを実行する 8 - 1 ～ 8 - 8

8.1 パソコンから GOT にモニタデータを転送する 8 - 1
8.1.1 パソコンと GOT を接続する····· 8 - 1
8.1.2 OS，通信ドライバをインストールする ····· 8 - 2
8.1.3 モニタデータのダウンロード ····· 8 - 3
8.2 シーケンサ CPU と接続する 8 - 4
8.3 アップロードする 8 - 8

機能早見表

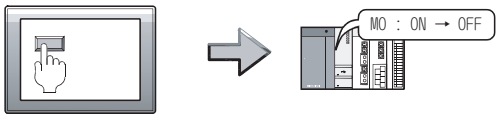
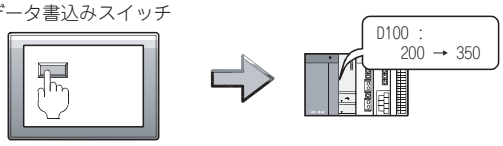
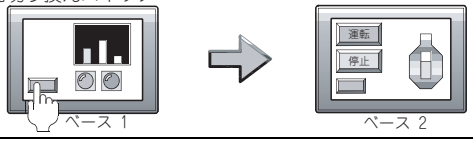
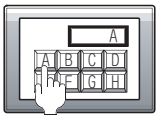
編集操作（GT Designer2 Version2 オペレーティングマニュアル）

イメージ	機　能	参照先
プレビュー 	GOT の画面イメージを確認する。	4-41 ページ
整列 	オブジェクトや図形を整列する。	8-22 ページ
プロパティシート 	同一画面のオブジェクトや図形の色／属性を一括で変更する。	9-1 ページ
ガイドライン 	図形やオブジェクトを配置時，他の図形やオブジェクトとの位置関係を補助線で表示する。	8-25 ページ
色一括変更 	複数の画面に散らばるオブジェクトや図形の色を一括で変更する。	9-11 ページ
図形一括変更 	スイッチやランプの図形を一括で変更する。	9-11 ページ
デバイス一括変更 	設定したデバイスを一括変更する。	9-11 ページ
データ一覧 	重なっている図形やオブジェクトを選択する。	9-16 ページ
デバイス使用一覧 	設定したデバイスを一覧で表示する。	9-17 ページ
文字列使用一覧 	直接銘板として設定した文字列を一覧で表示する。	9-19 ページ

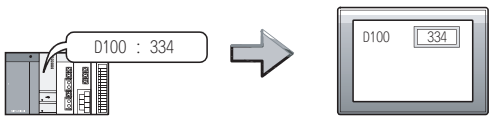
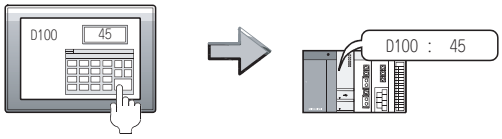
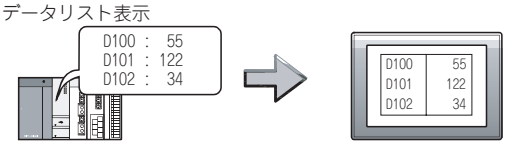
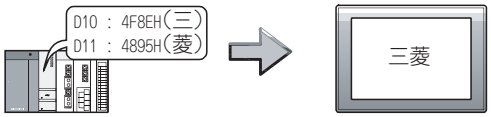
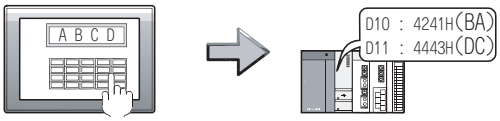
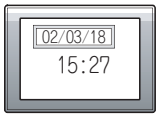
イメージ	機　能	参照先
多言語入力 	文字やコメントを多言語で入力する。	9-26 ページ
他プロジェクト読出し 	他のプロジェクトデータを流用する。	9-38 ページ
BMP/DXFファイル貼付け 	BMP/DXF 形式のファイルを貼り付ける。	8-14 ページ

オブジェクト機能（GT Designer2 Version □リファレンスマニュアル）

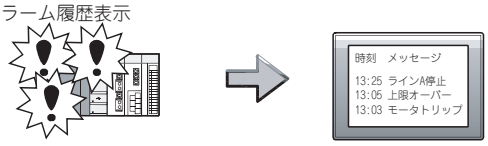
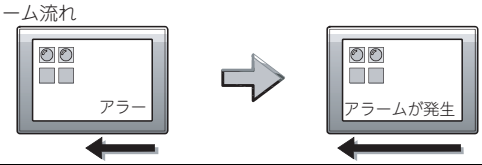
1 ランプ，スイッチ

イメージ	機　能	参照先
ランプ表示 	ランプの点灯色を変える。	6-1 ページ
ビットスイッチ 	タッチしてビットデバイスを ON/OFF する。	6-19 ページ
データ書込みスイッチ 	タッチしてワードデバイスの値を変更する。	6-36 ページ
拡張機能スイッチ 	タッチして拡張機能の画面に切り換える。	6-41 ページ
画面切り換えスイッチ 	タッチしてベース，ウィンドウ画面を切り換える。	6-49 ページ
局番切り換えスイッチ 	タッチしてモニタするシーケンサの局番を切り換える。	6-59 ページ
キーコードスイッチ 	数値／アスキー入力用のキーとして使用する。	6-65 ページ

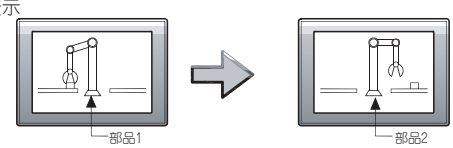
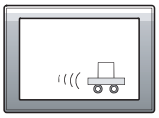
2 数値，文字表示

イメージ	機　能	参照先
数値表示 	デバイスの値を数値で表示する	7-1 ページ
数値入力 	デバイスに値を書き込む	7-1 ページ
データリスト表示 	複数のデバイスの値を表形式で表示する。	7-28 ページ
アスキー表示 	デバイスの値を文字で表示する	7-43 ページ
アスキー入力 	デバイスに文字コードを入力する。	7-43 ページ
時計表示 	年月日／時刻を表示する。	7-57 ページ
コメント表示 	コメントを表示する。	7-63 ページ

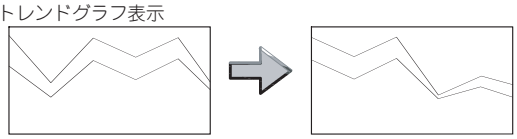
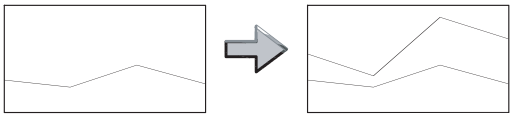
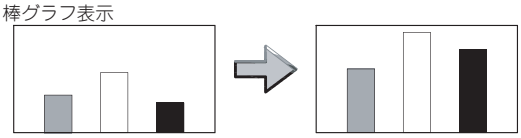
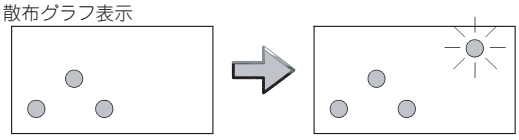
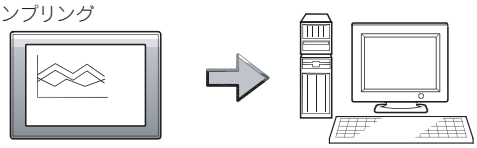
3 アラーム

イメージ	機　能	参照先
アラームリスト表示 	アラーム発生時にメッセージを表示する。	8-1 ページ
アラーム履歴表示 	過去に発生したアラームを履歴表示する。	8-31 ページ
アラーム流れ 	アラームを横スクロールして表示する。	8-66 ページ

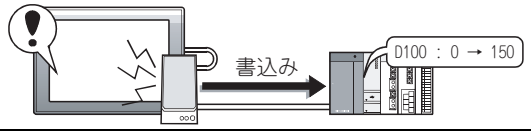
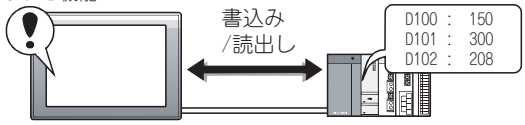
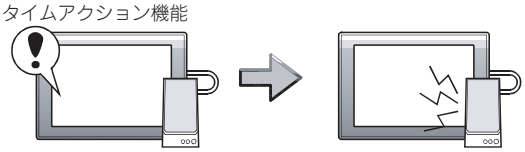
4 部品

イメージ	機　能	参照先
部品表示 	登録した部品を表示する。	9-1 ページ
部品移動表示 	部品を移動表示する。	9-27 ページ

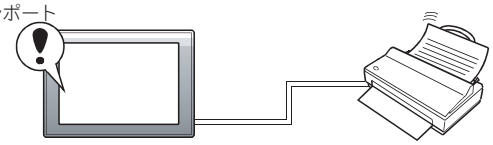
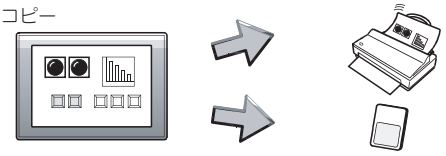
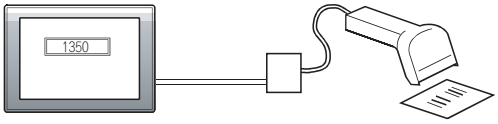
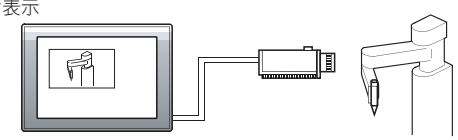
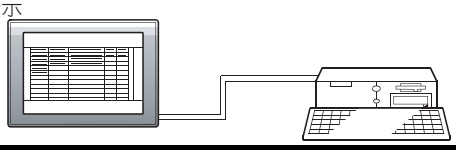
5 グラフ，メータ

イメージ	機　能	参照先
パネルメータ表示 	デバイスの値をメータで表示する。	10-1 ページ
レベル表示 	デバイスの値を全体に対しての比率で表示する。	10-13 ページ
トレンドグラフ表示 	デバイスの値をトレンドグラフで表示する。	10-27 ページ
折れ線グラフ表示 	デバイスの値を折れ線グラフで表示する。	10-43 ページ
棒グラフ表示 	デバイスの値を棒グラフで表示する。	10-58 ページ
統計グラフ表示 円グラフ　棒グラフ 	デバイスの値を全体に対しての割合でグラフ表示する。	10-70 ページ
散布グラフ表示 	デバイスの値を散布グラフで表示する。	10-80 ページ
サンプリング 	デバイスの値を収集して，収集したデータをパソコンで編集する。	10-101 ページ

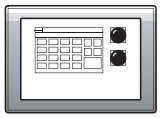
6 条件→動作

イメージ	機　能	参照先
状態監視機能 	デバイスの状態を監視して，条件成立時にデバイスへの書込みや，GOT の動作を行う。	11-1 ページ
レシピ機能 	デバイスの状態を監視して，条件成立時にデバイス値の書込み／読出しを行う。	11-10 ページ
タイムアクション機能 	指定した日時にデバイスの書込みや音声を出力する。	11-20 ページ

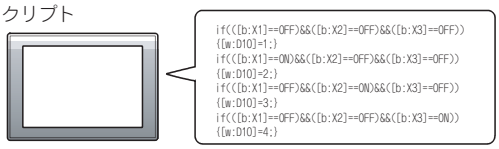
7 外部入出力

イメージ	機　能	参照先
レポート 	条件成立時に数値データを収集して，数値データや対応したコメントを印刷する。	12-1 ページ
ハードコピー 	GOT のモニタ画面をプリンタやメモリカードに出力する。	12-24 ページ
操作パネル 	操作パネルを使用して，デバイスの書込みを行う。	12-30 ページ
バーコード 	バーコードリーダで読み込んだデータをデバイスに書き込む。	12-38 ページ
音声出力 	音声を出力する。	12-44 ページ
ビデオ表示 	ビデオ映像を表示する。	12-48 ページ
RGB表示 	パソコンの画面を表示する。	12-66 ページ

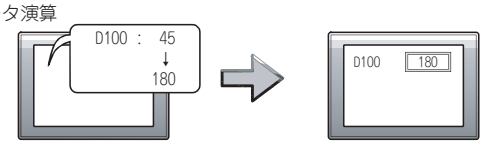
8 その他

イメージ	機　能	参照先
画面呼び出し 	指定した画面を別の画面に呼び出して表示する。	13-1 ページ
テスト 	モニタ画面表示中にテストウィンドウでデバイス値の変更を行う。	13-11 ページ

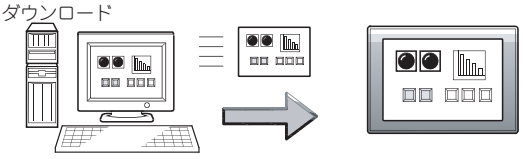
9 スクリプト機能

イメージ	機　能	参照先
スクリプト 	GOT の表示をスクリプトで制御する。	14-1 ページ

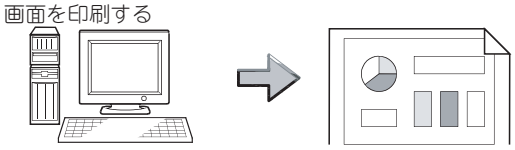
10 オブジェクトの設定

イメージ	機　能	参照先
データ演算 	デバイス値を計算式で演算し，演算した値でオブジェクト機能を動作させる。	5-44 ページ
オフセット 	オフセットデバイスの値をモニタデバイスアドレスに加算してモニタする。	5-52 ページ
セキュリティ 	パスワードで利用者を制限する。	5-56 ページ

データ転送（GT Designer2 Version2 オペレーティングマニュアル）

イメージ	機　能	参照先
ダウンロード 	モニタ画面データをパソコンから GOT に転送する。	5-1 ページ
アップロード 	モニタ画面データを GOT からパソコンに転送する。	5-19 ページ

印刷（GT Designer2 Version2 オペレーティングマニュアル）

イメージ	機　能	参照先
画面を印刷する 	プロジェクトの情報（画面イメージやタイトル一覧など）を印刷する。	6-1 ページ

マニュアルについて

本製品に関連するマニュアルには，下記のものがあります。
必要に応じて本表を参考にしてご依頼ください。

関連マニュアル

マニュアル名称	マニュアル番号（形名コード）	標準価格
GT Designer2 Version2 オペレーティングマニュアル GT Designer2 の操作方法，GOT へのデータ転送方法などについて説明 （別　売）	SH-080514 (1D7M18)	￥3000
GT Designer2 Version2 リファレンスマニュアル GT Designer2 で使用する各オブジェクト機能の仕様，設定内容などについて説明 （別　売）	SH-080515 (1D7M19)	￥4000
GOT-A900 シリーズオペレーティングマニュアル （GT Works2 Version2/GT Designer2 Version2 対応　拡張機能・オプション機能編） GOT で使用できる下記の拡張機能・オプション機能について説明 ・ユーティリティ　・回路モニタ　・システムモニタ ・特殊ユニットモニタ　・ネットワークモニタ　・リスト編集 ・モーションモニタ　・サーボアンプモニタ　・CNC モニタ ・かな漢字変換　・文字フォント切換え　・システムダイアログ言語切換え （別　売）	SH-080516 (1D7M20)	￥3000
GOT-A900 シリーズユーザーズマニュアル （GT Works2 Version2/GT Designer2 Version2 対応　接続編） GOT-A900 シリーズで使用できる接続形態のシステム構成，ケーブルの作成方法などを説明 （別　売）	SH-080517 (1D7M21)	￥3000
GOT-A900 シリーズオペレーティングマニュアル （GT Works2 Version2/GT Designer2 Version2 対応　ゲートウェイ機能編） GOT-A900 シリーズで行えるゲートウェイ機能の仕様，システム構成，設定方法などについて説明 （別　売）	SH-080518 (1D7M22)	￥1500
A985GOT/A975GOT/A970GOT/A960GOT ユーザーズマニュアル（詳細編） 各 GOT の性能仕様，設置方法，通信ボード / 通信ユニットの装着方法などを説明 （別　売）	SH-3311 (1DM098)	￥1300
A950GOT/A951GOT/A953GOT/A956GOT ユーザーズマニュアル（詳細編） 各 GOT の性能仕様，設置方法，通信ボード / 通信ユニットの装着方法などを説明 （別　売）	SH-080011 (1DM102)	￥600
GOT-F900 シリーズ ハードウェアマニュアル［共通接続編］ GOT-F900 シリーズで使用できる接続形態のシステム構成 , ケーブルの選定・作成方法について説明 （別　売）	JY992D82601 (09R803)	￥2400
GOT-F900 シリーズ オペレーションマニュアル［GT Designer2 対応版］ GOT-F900 シリーズで行える接続形態ごとの仕様，システム構成，接続図，および F940GOT で行えるユーティリティ機能・HPP モード・特殊機能ユニットモニタ機能の仕様，専用モニタ画面の操作方法について説明 （別　売）	JY997D06701 (09R802)	￥2100

本マニュアルで使用する略称，総称

本マニュアルの説明で使用している略称，総称を下記に示します。

■ GOT

略称／総称		内　容			
GOT-A900 シリーズ	A985GOT-V	A985GOT-TBA-V,	A985GOT-TBD-V		
	A985GOT	A985GOT-TBA,	A985GOT-TBD,	A985GOT-TBA-EU	
	A975GOT	A975GOT-TBA-B, A975GOT-TBA-EU	A975GOT-TBD-B,	A975GOT-TBA,	A975GOT-TBD,
	A970GOT	A970GOT-TBA-B, A970GOT-SBA, A970GOT-TBA-EU,	A970GOT-TBD-B, A970GOT-SBD, A970GOT-SBA-EU,	A970GOT-TBA, A970GOT-LBA, A970GOT-LBA-EU	A970GOT-TBD, A970GOT-LBD,
	A97 * GOT	A975GOT,	A970GOT		
	A960GOT	A960GOT-EBA,	A960GOT-EBD,	A960GOT-EBA-EU	
	A956WGOT	A956WGOT-TBD			
	A956GOT	A956GOT-TBD, A956GOT-SBD-M3,	A956GOT-SBD, A956GOT-LBD-M3,	A956GOT-LBD, A956GOT-SBD-B,	A956GOT-TBD-M3, A956GOT-SBD-M3-B
	A953GOT	A953GOT-TBD, A953GOT-SBD-M3,	A953GOT-SBD, A953GOT-LBD-M3,	A953GOT-LBD, A953GOT-SBD-B,	A953GOT-TBD-M3, A953GOT-SBD-M3-B
	A951GOT	A951GOT-TBD, A951GOT-SBD-M3,	A951GOT-SBD, A951GOT-LBD-M3,	A951GOT-LBD, A951GOT-SBD-B,	A951GOT-TBD-M3, A951GOT-SBD-M3-B
	A951GOT-Q	A951GOT-QTBD, A951GOT-QSBD-M3,	A951GOT-QSBD, A951GOT-QLBD-M3,	A951GOT-QLBD, A951GOT-QSBD-B,	A951GOT-QTBD-M3, A951GOT-QSBD-M3-B
	A950GOT	A950GOT-TBD, A950GOT-SBD-M3,	A950GOT-SBD, A950GOT-LBD-M3,	A950GOT-LBD, A950GOT-SBD-B,	A950GOT-TBD-M3, A950GOT-SBD-M3-B
	A95 *ハンディ GOT	A950GOT-SBD-M3-H,	A950GOT-LBD-M3-H,	A953GOT-SBD-M3-H,	A953GOT-LBD-M3-H
	A95 * GOT	A956GOT, A950GOT	A953GOT,	A951GOT,	A951GOT-Q,
GOT-F900 シリーズ	F940GOT	F940GOT-SWD,	F940GOT-LWD,	ET-940BH(-L),	ET-940PH(-L)
	F930GOT-K	F930GOT-BBD-K			
	F930GOT	F930GOT-BWD,	F933GOT-BWD		
	F920GOT-K	F920GOT-BBD5-K	F920GOT-BBD-K		
	F940 ハンディ GOT	F940GOT-SBD-H, F943GOT-SBD-H,	F940GOT-LBD-H, F943GOT-LBD-H,	F940GOT-SBD-RH, F943GOT-SBD-RH,	F940GOT-LBD-RH, F943GOT-LBD-RH
	F920 ハンディ GOT	F920GOT-BBD-RH			
	F940WGOT	F940WGOT-TWD			
GOT1000 シリーズ	GOT1000 シリーズの総称				

■ 通信ボード／通信ユニット

略称／総称		内　容			
通信ボード	バス接続ボード	A9GT-QBUSS, A9GT-50WQBUSS,	A9GT-QBUS2S, A9GT-50WBUSS	A9GT-BUSS,	A9GT-BUS2S,
	シリアル通信ボード	A9GT-RS4, A9GT-50WRS4	A9GT-RS2,	A9GT-RS2T,	A9GT-50WRS2,
通信ユニット	バス接続ユニット	A9GT-QBUS2SU, A7GT-BUS2S	A9GT-BUSSU,	A9GT-BUS2SU,	A7GT-BUSS,
	データリンクユニット	A7GT-J71AP23,	A7GT-J71AR23,	A7GT-J71AT23B	
	ネットワークユニット	A9GT-QJ71LP23,	A9GT-QJ71BR13,	A7GT-J71LP23,	A7GT-J71BR13
	CC-Link 通信ユニット	A8GT-J61BT13,	A8GT-J61BT15		
	Ethernet 通信ユニット	A9GT-J71E71-T			

■ オプションユニット

略称／総称		内　容
オプションユニット	外部入出力ユニット	A9GT-70KBF，A8GT-50KBF
	プリンタインタフェースユニット	A9GT-50PRF
	メモリカードインタフェースユニット	A1SD59J-MIF
	ビデオ /RGB 混合入力インタフェースユニット	A9GT-80V4R1
	ビデオ入力インタフェースユニット	A9GT-80V4
	RGB 入力インタフェースユニット	A9GT-80R1

■ オプション

略称／総称		内　容			
オプション	バックライト	A9GT-80LTT，A9GT-50LT，	A9GT-70LTTB，F9GT-40LTS，	A9GT-70LTT，F9GT-30LTB	A9GT-70LTS，
	デバッグスタンド	A9GT-80STAND，	A9GT-70STAND，	A9GT-50WSTAND，	A9GT-50STAND
	メモリボード	A9GT-FNB，A9GT-FNB8M，F9GT-40FMB，	A9GT-FNB1M，A9GT-QFNB，F9GT-40UMB	A9GT-FNB2M，A9GT-QFNB4M，	A9GT-FNB4M，A9GT-QFNB8M，
	テンキーパネル	A8GT-TK			
	バスコネクタ変換ボックス	A7GT-CNB			
	バス延長コネクタボックス	A9GT-QCNB			
	保護シート	A9GT-80PSC，A9GT-50PSC，	A9GT-70PSC，F9WGT-40PSC，	A9GT-60PSC，F9GT-40PSC，	A9GT-50WPSC，F9GT-30PSC
	アタッチメント	A77GT-96ATT，	A85GT-95ATT，	A87GT-96ATT，	A87GT-97ATT
	メモリカード	フラッシュ PC カード，市販品フラッシュ PC カード，SRAM タイプ PC カードの略称			
	フラッシュ PC カード	A9GTMEM-10MF，	A9GTMEM-20MF，	A9GTMEM-40MF，	
	コンパクトフラッシュ PC カード	市販品コンパクトフラッシュ PC カードの略称			
	コネクタ変換ボックス	F9GT-HCNB			

■ ソフトウェア

略称／総称		内　容
ソフトウェア	GT Works2 Version2	SW2D5C-GTWK2-J，SW2D5C-GTWK2-JV
	GT Designer2 Version2	SW2D5C-GTD2-J，SW2D5C-GTD2-JV
	GT Designer2	GOT900 シリーズ用画面作成ソフト GT Designer2
	GT Simulator2	GOT900 シリーズ用スクリーンシミュレータ GT Simulator2
	GT SoftGOT2	モニタリングソフト GT SoftGOT2
	GT Converter	GOT900 シリーズ用データ変換ソフト GT Converter
	GX Developer	SW □ D5C-GPPW(-V)/SW □ D5F-GPPW(-V) 形ソフトウェアパッケージの総称
	GX Simulator	SW □ D5C-LLT(-V) 形ラダーロジックテストツール機能ソフトウェアパッケージの総称（SW5D5C-LLT(-V) 以降）

■ ライセンスキー（GT SoftGOT，GT SoftGOT2 用）

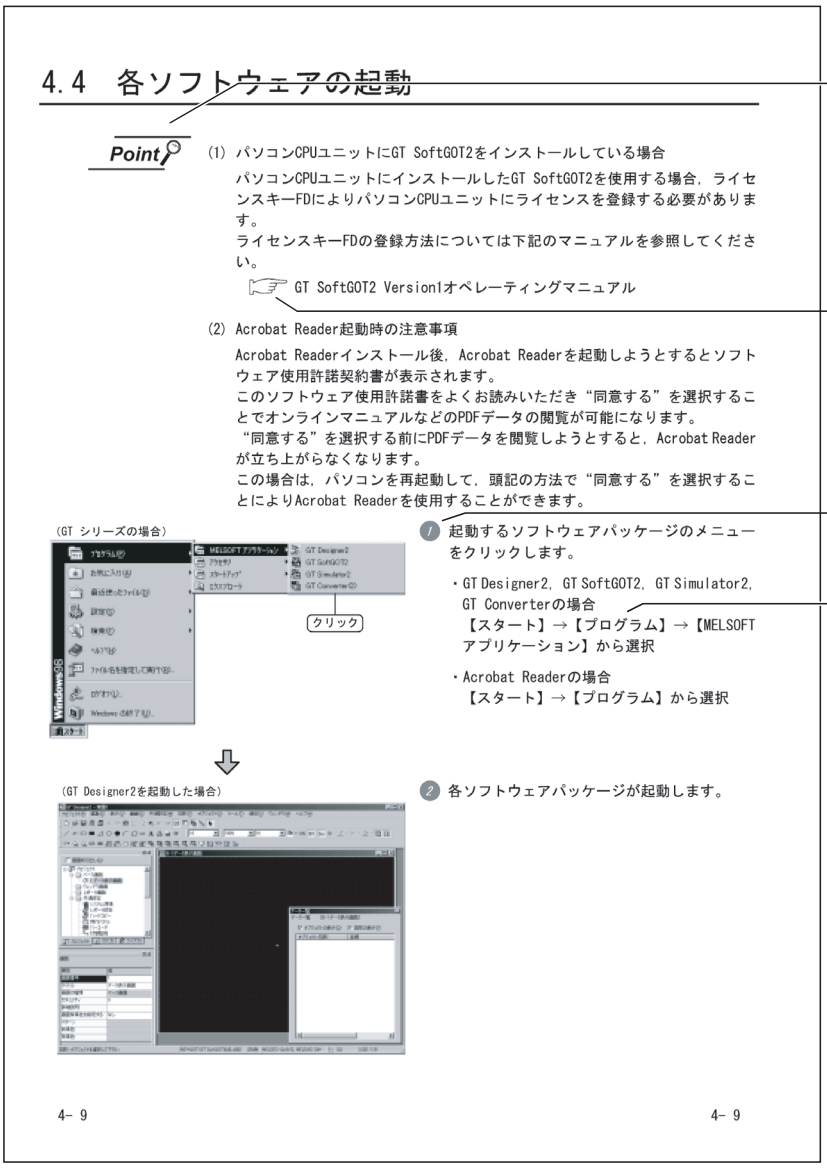
略称／総称	内　容
ライセンスキー	A9GTSOFT-LKEY-P（DOS/V パソコン用）
ライセンスキー FD	SW5D5F-SGLKEY-J（パソコン CPU ユニット用）

■ CPU

略称／総称		内　容			
QCPU	QCPU（Q モード）	Q00JCPU， Q02HCPU， Q12PHCPU，	Q00CPU， Q06HCPU， Q25PHCPU，	Q01CPU， Q12HCPU， Q12PRHCPU，	Q02CPU， Q25HCPU， Q25PRHCPU
	QCPU（A モード）	Q02CPU-A，	Q02HCPU-A，	Q06HCPU-A	
	リモート I/O 局	MELSECNET/H ネットワークシステム リモート I/O 局用ネットワークユニット （QJ72LP25-25，	QJ72LP25G，	QJ72BR15）	
QnACPU	QnACPU タイプ	Q2ACPU， Q3ACPU，	Q2ACPU-S1， Q4ACPU，	Q2AHCPU， Q4ARCPU	Q2AHCPU-S1，
	QnASCPU タイプ	Q2ASCPU，	Q2ASCPU-S1，	Q2ASHCPU，	Q2ASHCPU-S1
ACPU	AnUCPU	A2UCPU，	A2UCPU-S1，	A3UCPU，	A4UCPU
	AnACPU	A2ACPU，	A2ACPU-S1，	A3ACPU	
	AnNCPU	A1NCPU，	A2NCPU，	A2NCPU-S1，	A3NCPU
	AnCPU タイプ	AnUCPU，	AnACPU，	AnNCPU	
	AnUS(H)CPU	A2USCPU，	A2USCPU-S1，	A2USHCPU-S1，	A3USCPU
	AnS(H)CPU	A1SCPU， A1SHCPU，	A1SCPUC24-R2， A2SHCPU，	A2SCPU， A2SHCPU-S1	A2SCPU-S1，
	A1SJ(H)CPU	A1SJCPU，	A1SJCPU-S3，	A1SJHCPU-S3	
	AnSCPU タイプ	AnUS(H)CPU，	AnS(H)CPU，	A1SJ(H)CPU	
	A1FXCPU	A1FXCPU			
		A0J2HCPU，	A2CCPU，	A2CCPUC24，	A2CJCPU
FXCPU		FX0 シリーズ， FX1N シリーズ， FX2C シリーズ， FX(2N)-10GM/20GM シリーズ，	FX0N シリーズ， FX1NC シリーズ， FX2N シリーズ，	FX0S シリーズ， FX1S シリーズ， FX2NC シリーズ， FX3UC シリーズ，	FX1 シリーズ， FX2 シリーズ， FX3U シリーズ
モーション コントローラ CPU	モーションコントローラ CPU（Q シリーズ）	Q172CPU，	Q173CPU，	Q172CPUN，	Q173CPUN
	モーションコントローラ CPU（A シリーズ）	A273UCPU， A373UCPU， A171SCPU-S3N， A172SHCPUN，	A273UHCPU， A373UCPU-S3， A171SHCPU， A173UHCPU，	A273UHCPU-S3， A171SCPU， A171SHCPUN， A173UHCPU-S1	A373CPU， A171SCPU-S3， A172SHCPU，
FA コントローラ		LM610，	LM7600，	LM8000	
MELDAS C6/C64		FCA C6，	FCA C64		

マニュアルの読み方

本マニュアルで使用している記号について説明します。



4.4　各ソフトウェアの起動

Point

(1) パソコンCPUユニットにGT SoftGOT2をインストールしている場合

パソコンCPUユニットにインストールしたGT SoftGOT2を使用する場合，ライセンスキーFDによりパソコンCPUユニットにライセンスを登録する必要があります。
ライセンスキーFDの登録方法については下記のマニュアルを参照してください。

☞ GT SoftGOT2 Version1オペレーティングマニュアル

(2) Acrobat Reader起動時の注意事項

Acrobat Readerインストール後，Acrobat Readerを起動しようとするとソフトウェア使用許諾契約書が表示されます。
このソフトウェア使用許諾書をよくお読みいただき“同意する”を選択することでオンラインマニュアルなどのPDFデータの閲覧が可能になります。
“同意する”を選択する前にPDFデータを閲覧しようとすると，Acrobat Readerが立ち上がらなくなります。
この場合は，パソコンを再起動して，頭記の方法で“同意する”を選択することによりAcrobat Readerを使用することができます。

(GT シリーズの場合)

1 起動するソフトウェアパッケージのメニューをクリックします。

・GT Designer2，GT SoftGOT2，GT Simulator2，GT Converterの場合
【スタート】→【プログラム】→【MELSOFTアプリケーション】から選択

・Acrobat Readerの場合
【スタート】→【プログラム】から選択

(GT Designer2を起動した場合)

2 各ソフトウェアパッケージが起動します。

4- 9　　4- 9

Point　知っておく必要のある内容をPointとして記載しています。

Hint!　知っておくと便利な内容をHintとして記載しています。

備 考　知っておくと参考になる補足的な説明を備考として記載しています。

詳細説明を記載している項目（マニュアルや，そのマニュアルの章，節，項）を表してます。

1 → 2 → 3 ・・・・
と操作の流れを表しています。

メニューや項目を括弧で区別して表しています。

【　】：メニューバーから選択するメニュー

「　」：ダイアログボックスの項目や，GOTのユーティリティのメニュー

□：ダイアログボックス内のボタンやパソコンのキーボード

製品構成

GT Works2 または GT Designer2 の製品構成を下記に示します。



SW2D5C-GTWK2-J(V)
または
SW2D5C-GTD2-J(V)



GT Works2/GT Designer2 の
インストール方法について



ソフトウェア
使用契約書



ソフトウェア
登録証



ライセンス
許諾書

⚠注意

- 弊社が紹介する Microsoft® Windows® Operating System 対応の市販ソフトウェア製品について，各製品に対する保証は致しませんので，ご了承願います。
- 本製品のソフトウェアの著作権は，三菱電機株式会社にあります。
- 本書の内容の一部または全部を当社に断りなく，いかなる形でも転載または複製することは，固くお断りします。
- 本書の記述内容は，ソフトウェア，ハードウェアの改訂に追従するように努力しておりますが，やむなく同期できない場合も生じます。
- 本製品のソフトウェアは，コンピュータ 1 台につき 1 ライセンスの購入が必要です。
- 本製品（マニュアル含む）は，ソフトウェア使用契約のもとでのみ使用することができます。
- 本製品（マニュアル含む）を運用した結果の影響については，いっさい責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本マニュアルに記載されている内容は，お断りなしに変更することがありますのでご了承ください。

1章　概　　要

本マニュアルは，GOT900 シリーズ用作画ソフトウェアパッケージ（GT Works2 Version2，GT Designer2 Version2）のシステム構成，インストール方法，PDF マニュアルの閲覧方法を説明したものです。
また本マニュアルの 7 章以降では，GT Designer2 で簡単な画面を作成する例を説明しています。
初めて GOT をお使いになる方は，7 章以降の手順で実際に GOT および GT Designer2 を操作し，操作方法を学習していただくことをお薦めします。
なお，本マニュアルで紹介するプログラム例を実際のシステムへ流用する場合は，対象システムにおける制御性に問題がないことを十分検証ください。

備　考

7 章以降で作成したデータについて

本マニュアルの 7 章以降で作成するモニタデータおよびシーケンスプログラムを GT Designer2 に同梱しています。
設定内容の確認など，必要に応じてご使用ください。

1.1　従来ソフトウェアを使用している場合

GT Works2 Version2，GT Designer2 Version2 には，パソコンに従来の GOT900 シリーズ用ソフトウェアがインストールされていると，インストールできないソフトウェアがあります。
従来ソフトウェアがインストールされている場合の，各ソフトウェアのインストール可否を下記に示します。

1 GT Designer

パソコンにインストールされていても，GT Designer2 はインストール可能です。

2 GT Simulator，GT SoftGOT

パソコンにインストールされている場合，GT Simulator2，GT SoftGOT2 はインストールできません。
GT Simulator2，GT SoftGOT2 をインストールする場合，GT Simulator，GT SoftGOT をアンインストールしてください。

3 GT Converter

GT Works2 Version2，GT Designer2 Version2 には，最新の GT Converter が格納されています。
GT Converter を使用する場合，GT Works2 Version2，GT Designer2 Version2 に格納されている GT Converter を使用することを，お薦めします。
パソコンに GT Designer の GT Converter がインストールされていても，インストール可能です。

1.2 マニュアルについて

GT Designer2 に関するマニュアルは本マニュアルを入れて 3 種類あります。
使用目的に応じて各マニュアルを参照してください。
下記のマニュアルは製品に PDF で格納されています。

目　的	スタートアップ・入門編	リファレンスマニュアル	オペレーティングマニュアル
製品をパソコンにインストールする	詳細		
プロジェクトを作成する	概要		詳細
画面を作成する	概要		詳細
図形を描画する	概要		詳細
共通設定を行う	概要	詳細	
オブジェクトを配置／設定する	概要	詳細	
データを GOT に転送する	概要		詳細

■ スタートアップ・入門編
製品のインストール方法について記載しています。
また，簡単な画面を作成して，GOT で使用するまでの使用例を記載しています。

■ リファレンスマニュアル
オブジェクト／図形／画面の仕様，オブジェクトの設定方法などについて記載しています。

■ オペレーティングマニュアル
GT Designer2 の画面構成や画面のカスタマイズ方法，プロジェクトの作成からデータ転送方法までの方法について記載しています。

2章　ソフトウェアパッケージの構成

GT Works2 Version2，GT Designer2 Version2 の CD-ROM に格納されているソフトウェアとデータについて説明します。

2.1　ソフトウェアの種類

GT Works2 Version2，GT Designer2 Version2 には下記のソフトウェアが格納されています。
GT Works2 Version2，GT Designer2 Version2 では格納されているソフトウェアに違いがあります。

○：格納されています　－：格納されていません

ソフトウェア名		内　容	GT Works2	GT Designer2
GOT1000 シリーズ，GOT900 シリーズ用ソフトウェア	 GT Designer2	GOT1000 シリーズ，GOT900 シリーズ用の画面を作成するソフトウェアです。	○	○
	 GT SoftGOT1000	パソコンを GOT-1000 シリーズとして使用できるソフトウェアです。 使用する場合はライセンスキーまたはライセンスキー FD が必要です。 （ライセンスキー／ライセンスキー FD が無くても約 2 時間動作します。） ライセンスキーまたはライセンスキー FD が必要な場合は，最寄りの支社，代理店にお問い合わせください。	○	○
	 GT SoftGOT2	パソコンを GOT-A900 シリーズとして使用できるソフトウェアです。 使用する場合はライセンスキーまたはライセンスキー FD が必要です。 （ライセンスキー／ライセンスキー FD が無くても，約 10 分間，動作します。） ライセンスキーまたはライセンスキー FD が必要な場合は，最寄りの支社，代理店にお問い合わせください。	○	○
	 GT Simulator2	GX Simulator やシーケンサ CPU と接続して，パソコン上で GOT-A900 シリーズの動作をシミュレートできるソフトウェアです。	○	－
	 GT Converter2	GOT800 シリーズ用プロジェクトデータやデジタル社製パッケージデータを，GT Designer2 形式のファイルに変換するソフトウェアです。 なお，GOT900 シリーズから GOT1000 シリーズへのプロジェクトデータの変換には，GT Converter2 は不要です。	○	○
	 MES DB接続サービス	GOT1000 シリーズ用のソフトウェアです。 サーバー用パソコンにインストールすることで ,GOT の MES インターフェース機能を使用することができるソフトウェアです。	○	○
	 Document Converter	GOT1000 シリーズ用のソフトウェアです。 GT Designer2 ドキュメント表示機能用のデータ作成を行うためのソフトウェアです。	○	○
	 データ転送ツール	GOT1000,GOT900,GOT800 シリーズ用のソフトウェアです。 プロジェクトダウンロードとアップロードができるソフトウェアです。	○	○
	 マルチメディアデータ連携ツール	GOT1000 シリーズ用のソフトウェアです。 マルチメディアユニットを装着した GOT から，Ethernet 経由で録画ファイルをパソコンに自動転送し，一覧表示するソフトウェアです。	○	○

2.2 その他の付属データ

GT Works2 Version2, GT Designer2 Version2 には，2.1 節のソフトウェア以外に下記のデータが格納されています。
下記データは GT Designer2, GT Manual 1000, GT Manual 900 インストール時にパソコンにインストールされます。

GOT シリーズ名	データ名称	内　容
GOT1000 シリーズ	GT15 □□用機能別サンプルデータ	GT15 □□用の機能別サンプル画面データです。
	マイコン接続用サンプルデータ	マイコン接続用のサンプル画面データとサンプルプログラム（C 言語）です。
	入門編データ	GT Designer2 Version □基本操作・データ転送マニュアルの 4 章で説明している画面データです。 画面データを実際に動作させるには，“Ladder”フォルダ内に収納されているシーケンスプログラムを GX Developer などでシーケンサ CPU へ書込みます。
	オンラインマニュアル	GOT1000 シリーズに関連するオンラインマニュアルです。 PDF データで収録されています
GOT900 シリーズ	A975GOT 用機能別サンプルデータ	A975GOT 用の機能別サンプル画面データです。 サンプル画面を実際に動作させるには，“Ladder”フォルダ内に収納されているシーケンスプログラムを GX Developer などでシーケンサ CPU へ書込みます。
	F940GOT/F940WGOT 用サンプルデータ	F940GOT/F940WGOT 用のサンプル画面データです。
	マイコン接続用サンプルデータ	マイコン接続用のサンプル画面データとサンプルプログラム（C 言語）です。
	入門編データ	本マニュアルの 7 章以降で説明している画面データです。 画面データを実際に動作させるには，“Ladder”フォルダ内に収納されているシーケンスプログラムを GX Developer などでシーケンサ CPU へ書込みます。
	256 色テストデータ	256 色の色パターンが設定されている画面データで 256 色の表示内容が確認できます。
	オンラインマニュアル	GOT900 シリーズに関連するオンラインマニュアルです。 PDF データで収録されています

GT Designer2,GT Manual 1000,GT Manual 900 をインストール後，下記フォルダにそれぞれデータが格納されます。

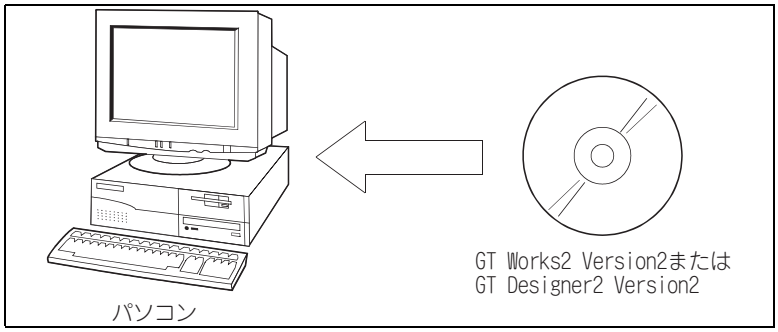
```
MELSOFT  ... インストール先フォルダ（デフォルト:*:¥Program Files¥MELSOFT）
├── GTD2
│   ├── Example900  ･･･ GOT900シリーズ用サンプル画面データ
│   ├── Example1000 ･･･ GOT1000シリーズ用サンプル画面データ
│   ├── Fonts ･････････ GOT1000シリーズ用フォント *1
│   ├── Gmdp ･･････････ GOT900シリーズ用特殊データ *1
│   ├── Gmdp1000･･･････ GOT1000シリーズ用特殊データ *1
│   ├── LibraryData･････ MELFANS Webで公開しているライブラリデータ
│   ├── OS･････････････ GOT900シリーズ用 OS *1
│   ├── OS1000 ････････ GOT1000シリーズ用 OS *1
│   ├── SysLib1000･････ GOT1000用システムライブラリデータ
│   ├── SysLibA900･････ GOT-A900用システムライブラリデータ
│   └── SysLibF900 ･････ GOT-F900用システムライブラリデータ
└── MANUAL
    └── GT MANUAL
        ├── GTM900･･･････････････ GOT900シリーズ関連マニュアル
        ├── GTM1000 ･････････････ GOT1000シリーズ関連マニュアル
        ├── IndexGTM900-J.pdf  ････ GOT900シリーズ関連マニュアル用 INDEX MENU
        └── IndexGTM1000-J.pdf  ･･･ GOT1000シリーズ関連マニュアル用 INDEX MENU
```

*1 フォルダを削除したり，フォルダ内のデータを触らないようにしてください。

3章　システム構成

3.1　システム構成

システム構成を下記に示します。



3.2　動作環境

GT Works2 Version2，GT Designer2 Version2 に格納されている GOT900 シリーズ用ソフトウェアの動作環境を下記に示します。

1 GT Designer2

GT Designer2 の動作環境を下記に示します。

項　目		内　容
パソコン		Windows® が動作する PC/AT 互換機
OS		Microsoft® Windows® 98 Operating System 日本語版 Microsoft® Windows® Millennium Edition Operating System 日本語版 Microsoft® WindowsNT® Workstation4.0 Operating System Service Pack3 以降 日本語版*1 Microsoft® Windows® 2000 Professional Operating System Service Pack4 以降 日本語版*1 Microsoft® Windows® XP Professional Operating System Service Pack2 以降 日本語版*2*4*5 Microsoft® Windows® XP Home Edition Operating System Service Pack2 以降 日本語版*2*4*5 Microsoft® Windows Vista® Ultimate Operating System 日本語版*3*4*5 Microsoft® Windows Vista® Enterprise Operating System 日本語版*3*4*5 Microsoft® Windows Vista® Business Operating System 日本語版*3*4*5 Microsoft® Windows Vista® Home Premium Operating System 日本語版*3*4*5 Microsoft® Windows Vista® Home Basic Operating System 日本語版*3*4*5
コンピュータ本体		下記の「使用する基本ソフトウェアとパソコン本体に必要な性能」を参照
	CPU	
	必要メモリ	
ハードディスク空き容量		インストール時　：1.1GB 以上*7 実行時　　：100MB 以上
ディスクドライブ		CD-ROM ディスクドライブ
表示色		High Color(16 ビット) 以上
ディスプレイ*6		解像度 800 × 600 ドット以上
その他		Internet Explorer Ver5.0 以上のインストールが必要
		マウス , キーボード , プリンタ ,CD-ROM ドライバは上記 OS で使用可能なもの

＊1 GT Designer2 をインストール時，Administrator の権限が必要です。
＊2 GT Designer2 をインストール時，および使用時に Administrator の権限が必要です。
＊3 GT Designer2 をインストール時，管理者の権限が必要です。
また，GT Designer2 を使用時，標準ユーザ以上のアカウントが必要です。
GT Designer2 と他のアプリケーションを連携させる場合，他のアプリケーションが管理者の権限で使用時は，GT Designer2 も管理者の権限で使用してください。
＊4 下記機能は，サポートしていません。
・「互換性モード」
・「ユーザの簡易切り換え」
・「デスクトップテーマ（フォント）の変更」
・「リモートデスクトップ」
＊5 32 ビット版 OS のみ対応します。
＊6 MES インターフェース機能を使用する場合 , ディスプレイの解像度は 1024 × 768 ドット以上必要です。
＊7 Windows® 98 ,Windows® Millennium Edition, WindowsNT® 時は 800MB 以上

使用する基本ソフトウェアとパソコン本体に必要な性能

基本ソフトウェア	パソコン本体に必要な性能	
	CPU	必要メモリ
Microsoft® Windows® 98 Operating System 日本語版	Pentium® 200MHz 以上	64MB 以上
Microsoft® Windows® Millennium Edition Operating System 日本語版	Pentium® 200MHz 以上	64MB 以上
Microsoft® WindowsNT® Workstation4.0 Operating System Service Pack3 以降 日本語版	Pentium® 200MHz 以上	64MB 以上
Microsoft® Windows® 2000 Professional Operating System Service Pack4 以降 日本語版	Pentium® 200MHz 以上	64MB 以上
Microsoft® Windows® XP Professional Operating System Service Pack2 以降 日本語版 Microsoft® Windows® XP Home Edition Operating System Service Pack2 以降 日本語版	Pentium Ⅱ® 300MHz 以上	128MB 以上
Microsoft® Windows Vista® Ultimate Operating System 日本語版 Microsoft® Windows Vista® Enterprise Operating System 日本語版 Microsoft® Windows Vista® Business Operating System 日本語版 Microsoft® Windows Vista® Home Premium Operating System 日本語版 Microsoft® Windows Vista® Home Basic Operating System 日本語版	800MHz 以上 （推奨 1GHz 以上）	512MB 以上 （推奨 1GB 以上）

2 GT Simulator2

GT Simulator2 の動作環境を下記に示します。

項　目		内　容
パソコン		Windows® が動作する PC/AT 互換機
OS		Microsoft® Windows® 98 Operating System 日本語版 Microsoft® Windows® Millennium Edition Operating System 日本語版 Microsoft® WindowsNT® Workstation4.0 Operating System Service Pack 3 以降日本語版＊1 Microsoft® Windows® 2000 Professional Operating System Service Pack 4 以降日本語版＊1 Microsoft® Windows® XP Professional Operating System Service Pack 2 以降日本語版＊2＊4＊5 Microsoft® Windows® XP Home Edition Operating System Service Pack 2 以降日本語版＊2＊4＊5 Microsoft® Windows Vista® Ultimate Operating System 日本語版＊3＊4＊5 Microsoft® Windows Vista® Enterprise Operating System 日本語版＊3＊4＊5 Microsoft® Windows Vista® Business Operating System 日本語版＊3＊4＊5 Microsoft® Windows Vista® Home Premium Operating System 日本語版＊3＊4＊5 Microsoft® Windows Vista® Home Basic Operating System 日本語版＊3＊4＊5
コンピュータ本体		次ページの「使用する基本ソフトウェアとパソコン本体に必要な性能」を参照。
	CPU	
	必要メモリ	
ハードディスク空き容量＊1		インストール時（製品のみ）　：700MB 以上 インストール時（製品＋マニュアル）：950MB 以上 実行時　：200MB 以上
ディスクドライブ		CD-ROM ディスクドライブ
表示色		**・「GOT1000 シリーズ（GT15）シミュレータ」の場合** High Color（16 ビット）以上 **・「GOT-A900 シリーズシミュレータ」の場合** 256 色
ディスプレイ		解像度 800 × 600 ドット以上
ソフトウェア		プロジェクトデータ作成・編集時： **・「GOT1000 シリーズ（GT15）シミュレータ」の場合** GT Designer2 ＊6 **・「GOT-A900 シリーズシミュレータ」の場合** GT Designer または GT Designer2 ＊6
		GX Simulator 使用時： GX Simulator Version5 以降＊7 （次ページの「シーケンサ CPU をシミュレートする GX Simulator のソフトウェアバージョン」を参照）

＊1 GT Designer2 をインストール時，Administrator の権限が必要です。
＊2 GT Designer2 をインストール時，および使用時に Administrator の権限が必要です。
＊3 GT Simulator2 をインストール時，および使用時に管理者の権限が必要です。
＊4 下記機能は，サポートしていません。
・「互換性モード」　・「ユーザの簡易切り換え」
・「デスクトップテーマ（フォント）の変更」　・「リモートデスクトップ」
＊5 32 ビット版 OS のみ対応します。
＊6 GT Simulator2 と同じ GT Works2 に入っている，GT Designer2 を使用してください。
＊7 GT Simulator2，GX Developer，GX Simulator は，同一言語に対応した製品を使用してください。

使用する基本ソフトウェアとパソコン本体に必要な性能

基本ソフトウェア	パソコン本体に必要な性能	
	CPU	必要メモリ
Microsoft® Windows® 98 Operating System 日本語版	Pentium® 200MHz 以上	64MB 以上
Microsoft® Windows® Millennium Edition Operating System 日本語版	Pentium® 200MHz 以上	64MB 以上
Microsoft® WindowsNT® Workstation4.0 Operating System 日本語版	Pentium® 200MHz 以上	64MB 以上
Microsoft® Windows® 2000 Professional Operating System 日本語版	Pentium® 200MHz 以上	64MB 以上
Microsoft® Windows® XP Professional Operating System 日本語版 Microsoft® Windows® XP Home Edition Operating System 日本語版	Pentium Ⅱ® 300MHz 以上	128MB 以上
Microsoft® Windows Vista® Ultimate Operating System 日本語版 Microsoft® Windows Vista® Enterprise Operating System 日本語版 Microsoft® Windows Vista® Business Operating System 日本語版 Microsoft® Windows Vista® Home Premium Operating System 日本語版 Microsoft® Windows Vista® Home Basic Operating System 日本語版	800MHz 以上 （推奨 1GHz 以上）	512MB 以上 （推奨 1GB 以上）

備　考

シーケンサ CPU をシミュレートする GX Simulator のソフトウェアバージョン

シーケンサ CPU をシミュレートする GX Simulator のソフトウェアバージョンを下記に示します。

シミュレートするシーケンサ CPU	ソフトウェアバージョン
QCPU（A モード），ACPU，モーションコントローラ CPU（A シリーズ）	Version5 A 版以降
QCPU（Q モード）（Q00J/Q00/Q01CPU は除く），QnACPU，FXCPU	Version5 E 版以降
Q00JCPU，Q00CPU，Q01CPU	Version6.00A 以降
Q12PHCPU，Q25PHCPU	Version6.10L 以降
Q12PRHCPU，Q25PRHCPU	Version6.20W 以降

3 GT SoftGOT2

GT SoftGOT2 の動作環境を下記に示します。

項　目	DOS/V パソコン使用時		パソコン CPU ユニット使用時
パソコン	Windows® が動作するパソコン		株式会社コンテック製 MELSEC-Q シリーズ対応パソコン CPU ユニット
OS	Microsoft® Windows® 98 operating system Microsoft® Windows® Millennium Edition operating system Microsoft® WindowsNT® Workstation4.0 operating system ＊1 ＊5 Microsoft® Windows® 2000 Professional operating system ＊5 Microsoft® Windows® XP Professional operating system ＊4 ＊5 Microsoft® Windows® XP Home Edition operating system ＊4 ＊5		WindowsNT® Workstation 4.0 ＊1, Windows® 2000
CPU	次ページの「使用する基本ソフトウェアとパソコン本体に必要な性能」を参照。		
必要メモリ			
ハードディスク空き容量	インストール時：200MB 以上 動作時　　：100MB 以上＊3		
ディスクドライブ	CD-ROM ディスクドライブ	3.5 インチ (1.44MB) フロッピーディスクドライブ CD-ROM ディスクドライブ	
表示色	256 色		
ディスプレイ	解像度 800 × 600 ドット以上（全画面表示機能時は 640 × 480 ドット以上）		
必要ソフトウェア	GT Designer Version5 D 版以降または GT Designer2		
必要ライセンスキー／ライセンスキー FD	A9GTSOFT-LKEY-P ＊2	SW5D5F-SGLKEY-J	

＊1 Windows NT® Workstation4.0 は Service Pack 3 以上がインストールされているものを使用してください。

＊2 A9GTSOFT-LKEY-P を使用する場合，DOS/V パソコンにパラレルポート（セントロ／プリンタコネクタ）が必要です。

＊3 GT SoftGOT2 複数起動時は，“起動している GT SoftGOT2 × 100”MB 必要になります。
また，モニタ画面データのサイズ（容量）が大きい場合（目安として 30MB 以上），200MB 以上必要になる場合があります。

＊4「互換性モード」,「ユーザの簡易切り替え」,「デスクトップテーマ（フォント）の変更」はサポートしていません。

＊5 WindowsNT® Workstation4.0，Windows® 2000 Professional，Windows® XP Professional，Windows® XP Home Edition に GT SoftGOT2 をインストールする場合，administrator の権限が必要です。
また，Windows® XP Professional，Windows® XP Home Edition で GT SoftGOT2 を使用する場合，administrator の権限が必要です。

使用する基本ソフトウェアとパソコン本体に必要な性能

基本ソフトウェア	パソコン本体に必要な性能		
	CPU	必要メモリ	
		GT SoftGOT2 のみ	GX Developer 同時使用時, GT SoftGOT2 複数起動時
Microsoft® Windows® 98 operating system	Pentium® 200MHz 以上 (Pentium Ⅱ® 300MHz 以上推奨)	64MB 以上 (96MB 以上推奨)	96MB 以上 (128MB 以上推奨)
Microsoft® Windows® Me operating system	Pentium® 200MHz 以上 (Pentium Ⅱ® 300MHz 以上推奨)	64MB 以上 (96MB 以上推奨)	96MB 以上 (128MB 以上推奨)
Microsoft® Windows NT® Workstation 4.0 operating system	Pentium® 200MHz 以上 (Pentium Ⅱ® 300MHz 以上推奨)	64MB 以上 (96MB 以上推奨)	96MB 以上 (128MB 以上推奨)
Microsoft® Windows® 2000 Professional operating system	Pentium® 200MHz 以上 (Pentium Ⅱ® 300MHz 以上推奨)	64MB 以上 (96MB 以上推奨)	96MB 以上 (128MB 以上推奨)
Microsoft® Windows® XP Professional operating system Microsoft® Windows® XP Home Edition operating system	Pentium Ⅱ® 300MHz 以上 (Pentium Ⅱ® 450MHz 以上推奨)	128MB 以上 (192MB 以上推奨)	128MB 以上 (192MB 以上推奨)

Point

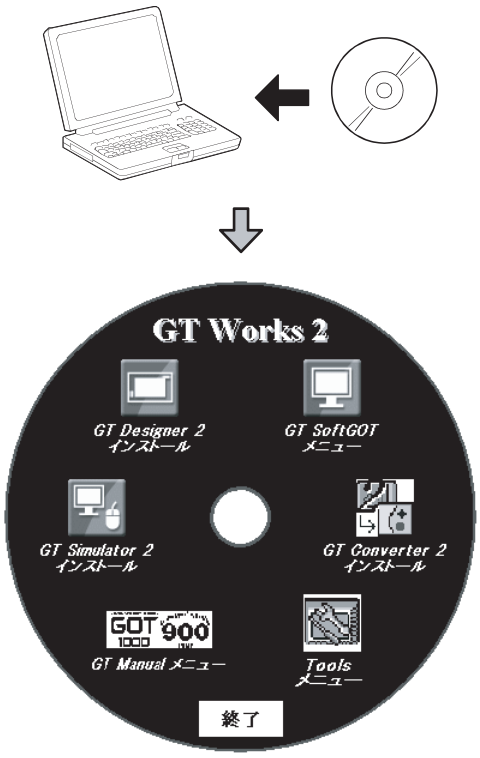
各ソフトウェア使用時の注意事項

Windows® のコントロールパネル内の地域設定を“日本語”以外に設定した場合，本ソフトウェアは起動しませんので，必ず“日本語”に設定してください。

4章　インストール，アンインストール

GT Works2 ／ GT Designer2 に格納されている各ソフトウェアのインストール，アンインストールについて説明します。

4.1　メニュー画面の起動



1 Windows® が起動しているパソコンの CD ドライブに CD-ROM を挿入します。
しばらくすると，メニュー画面が起動します。

2 GT Works2 ／ GT Designer2 のメニュー画面が起動するので，各ソフトウェアのインストール，PDF マニュアルの閲覧を行ってください。

1 つの工程が終了すると本メニュー画面が表示されるので，続けて他の工程が行えます。
メニュー画面を終了したい場合は，終了 ボタンをクリックしてください。

Point

メニュー画面が起動しない場合

GT Works2 ／ GT Designer2 の CD-ROM を CD ドライブに挿入してもメニュー画面が自動的に起動しない場合は，下記の方法で起動してください。

(1) Windows® のデバイスマネージャで CD ドライブが自動起動するように設定する。

(2) エクスプローラを起動して，CD ドライブの下記ファイルをダブルクリックする。

・ Disc1：GTWK2-J1.exe，または GTD2-J1.exe
・ Disc2：GTWK2-J2.exe，または GTD2-J2.exe

4.2 各ソフトウェアのインストール

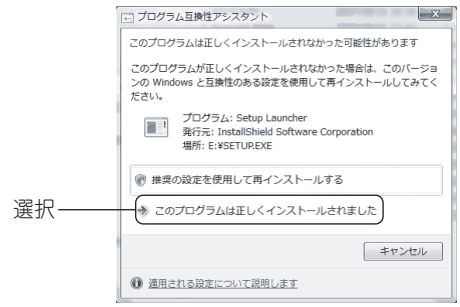
Point

インストール時の注意事項

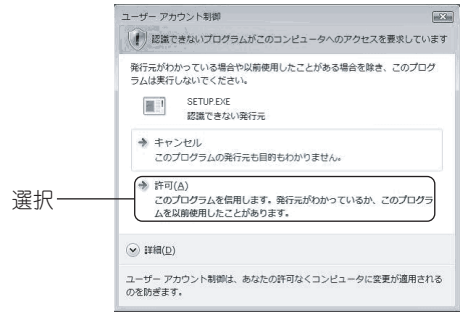
(1) インストールを行う前に，Windows で動作させている他のアプリケーションをすべて終了させてください。
(2) GT Designer2 をインストール前に GOT をパソコンに接続しないでください。
(3) WindowsNT® Workstation4.0，Windows® 2000，Windows® XP，Windows Vista® 使用時は，administrator（コンピュータ管理者）の属性を持つユーザとしてログオンしてください。
(4) インストール中は，他のソフトウェアをインストールしないでください。
(5) インストール中は，CD ドライブから CD-ROM を抜かないようにしてください。
(6) Windows Vista® 搭載パソコンへ MELSOFT をインストールする場合には，テクニカルニュース FA-D-0008 をお読みください。
(7) Windows Vista® 使用時インストール途中で下記画面が表示される場合があります。

右記画面が表示された場合は，「このプログラムは正しくインストールされました」を選択してください。

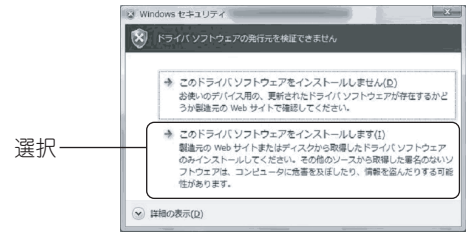
誤ったモジュールがインストールされるため「推奨の設定を使用してインストールする」を選択しないでください。



右記画面が表示された場合は，「許可」を選択してください。



右記画面が表示された場合は，「このドライバソフトウェアをインストールします」を選択してください。



Point

インストール途中で表示される画面

インストール準備を整えるため，インストール途中で下記画面が表示される場合があります。(Windows により表示が異なる場合があります。)
下記画面が表示された場合，各画面の指示に従って，指定 exe ファイルの実行後，再度製品のインストールを行ってください。
なお，製品のインストールが正しく実施されていないときは，一度コンピュータの再起動を実施してください。

右記画面が表示された場合は，CD-ROM の ￥Update￥50comupd.exe を実行してください。



右記画面が表示された場合は，CD-ROM の ￥Update￥JAAXDIST.exe を実行してください。



右記画面が表示された場合は，CD-ROM の ￥EnvMEL￥SETUP.exe を実行してください。



Point

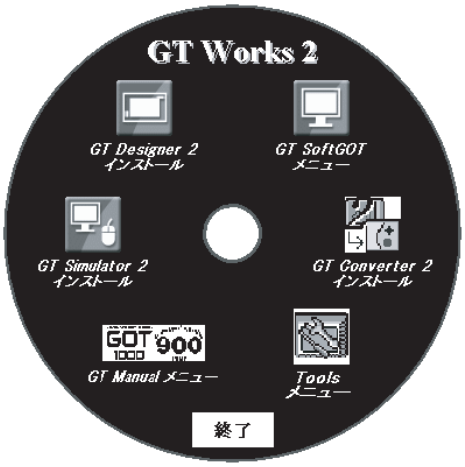
Disc1 から Disc2，または Dics2 から Disc1 のデータをインストール／閲覧する場合

パソコンの CD ドライブに Disc1，Disc2 のどちらを挿入しても，同一のメニュー画面が表示されます。
CD-ROM に格納されていないデータを，インストール／閲覧した場合，下記メッセージが表示されます。メッセージが表示された場合は，表示された CD-ROM を挿入してください。(CD-ROM を挿入すると，再びメニュー画面を表示します。)
例：Disc1 を CD ドライブに挿入して，マニュアルを閲覧しようとした場合



4.2.1　ソフトウェアのインストール手順

1 GT Designer2，GT SoftGOT1000，GT Simulator2 のインストール手順



1 パソコンの CD-ROM ドライブに，Disc1 の CD-ROM を挿入します。

2 インストールしたいソフトウェアをクリックします。

GT SoftGOT メニュー選択時のみ



3 "GT SoftGOT メニュー " を選択した場合，左記画面が表示されます。

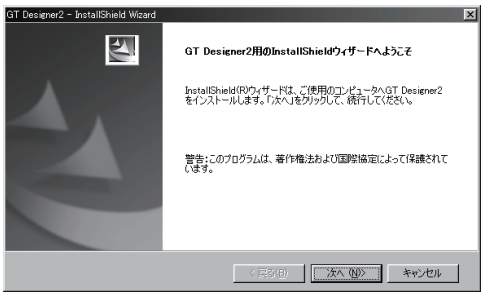
"GT SoftGOT1000 インストール "
GT SoftGOT1000 をインストールします。

" システムドライバ "
システムドライバをインストールします。
システムドライバインストール時は下記点に気をつけてください。
・システムドライバーをインストール前に，ライセンスキー（USB ポート）をパソコンに装着しないでください。
・システムドライバーのインストール中に，ライセンスキー（USB ポート）をパソコンに装着しないでください。

＊ システムドライバをインストールしないと，パソコンにライセンスキーを装着しても，GT SoftGOT1000 がライセンスキーを認識しません。

（次ページへ）

（前ページから）



4 左記画面が表示されますので次へ (N)>ボタンをクリックします。

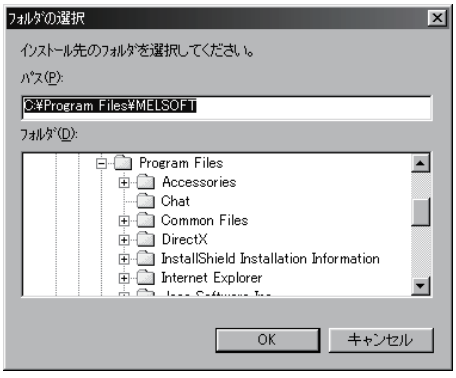


5 名前 , 会社名 , 製品のプロダクト ID を入力し, 次へ (N)>ボタンをクリックします。
プロダクト ID は，製品に同梱されている，ソフトウェア登録証に記載されています。



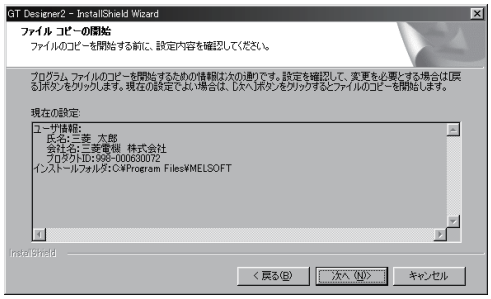
6 インストール先フォルダを指定します。
インストール先フォルダのデフォルトは "C:￥Program Files￥MELSOFT" です。

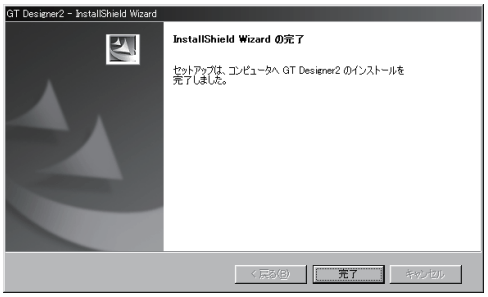
デフォルトでよければ, 次へ (N)>ボタンをクリックします。
変更する場合は, 変更 (C)ボタンをクリックすると下記画面が表示されますので，変更先のドライブ，フォルダを指定します。



（次ページへ）

（前ページから）

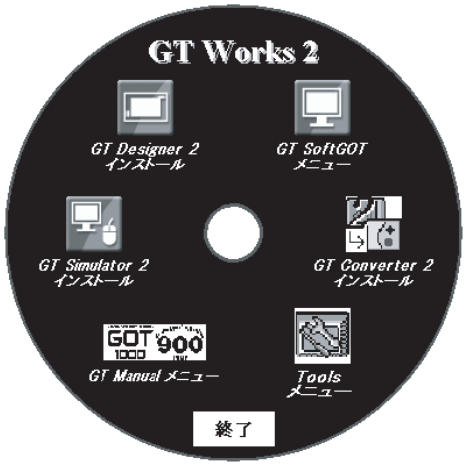




7 左記画面が表示されますので次へ (N)>ボタンをクリックするとインストールが開始されます。

8 インストールが完了すると，左記画面が表示されるので，完了ボタンをクリックします。
なお，再起動画面が表示された場合は，Windows® を再起動してください。

2 GT SoftGOT2，GT Converter2，MES DB 接続サービス，Document Converter，データ転送ツールのインストール手順



GT SoftGOT メニュー選択時のみ



（次ページへ）

1 パソコンの CD-ROM ドライブに，Disc1 の CD-ROM を挿入します。

2 インストールしたいソフトウェアをクリックします。

3 "GT SoftGOT メニュー " を選択した場合，左記画面が表示されます。

"GT SoftGOT2 インストール "
GT SoftGOT2 をインストールします。
" システムドライバ "
システムドライバをインストールします。
パソコン CPU ユニット使用時は，システムドライバのインストールは不要です。

* システムドライバをインストールしないと，パソコンにライセンスキーを装着しても，GT SoftGOT2 がライセンスキーを認識しません。

（前ページから）



4 "Tools メニュー " を選択した場合，左記画面が表示されます。

"MES DB 接続サービスインストール "
MES DB 接続サービスをインストールします。

"Document Converter インストール "
Document Converter をインストールします。

" データ転送ツールインストール "
データ転送ツールをインストールします。

" マルチメディアデータ連携ツールインストール "
マルチメディアデータ連携ツールをインストールします。



5 名前と会社名を入力し，次へ (N)>ボタンをクリックします。

プロダクト ID は，製品に同梱されている，ソフトウェア登録証に記載されています。



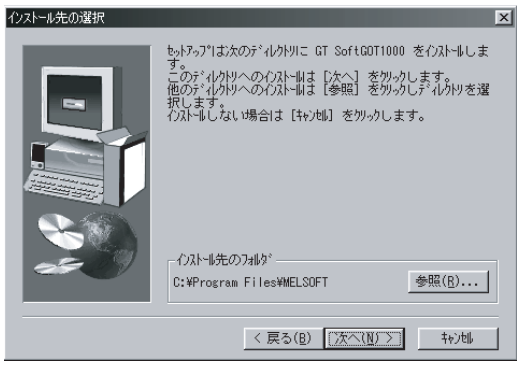
6 "MES DB 接続サービスインストール " を選択した場合，左記画面が表示されます。

製品のプロダクト ID を入力し，次へ (N)>ボタンをクリックします。

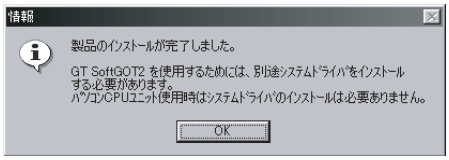
プロダクト ID は，製品に同梱されている，ソフトウェア登録証に記載されています。。

（次ページへ）

（前ページから）



（GT SoftGOT2 の場合）

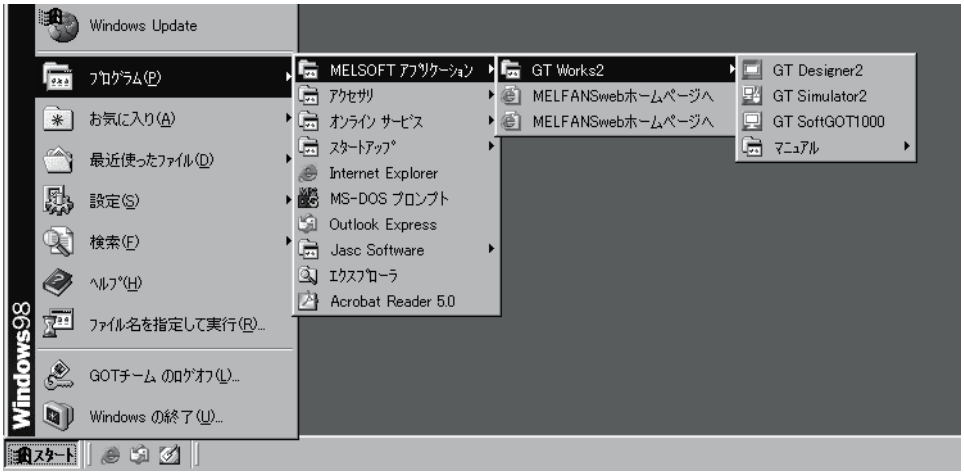


7 インストール先フォルダを指定します。
インストール先フォルダのデフォルトは "C:￥Program Files￥MELSOFT" です。

デフォルトでよければ，次へ (N)>ボタンをクリックします。
変更する場合は，参照 (R)...ボタンをクリックし，変更先のドライブ，フォルダを指定します。

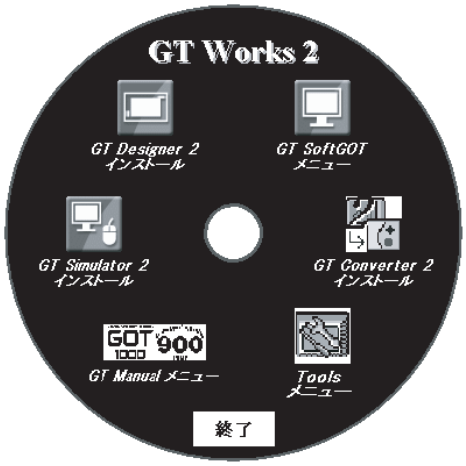
8 インストールが開始されます。
インストールが完了すると，左記画面が表示されるので，OKボタンをクリックします。
なお，再起動画面が表示された場合は，Windows® を再起動してください。

備　考　インストールすると次のようにアイコンが登録されます。



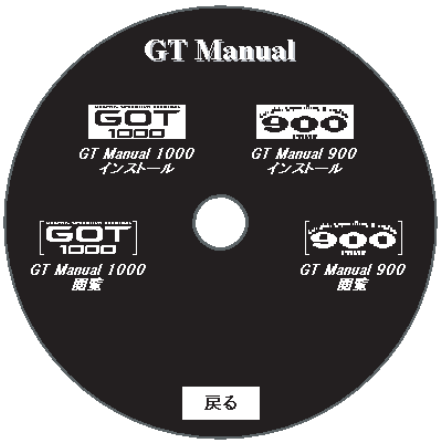
4.2.2　マニュアルデータのインストール

GT Designer2 のヘルプから閲覧するオンラインマニュアルデータをインストールします。

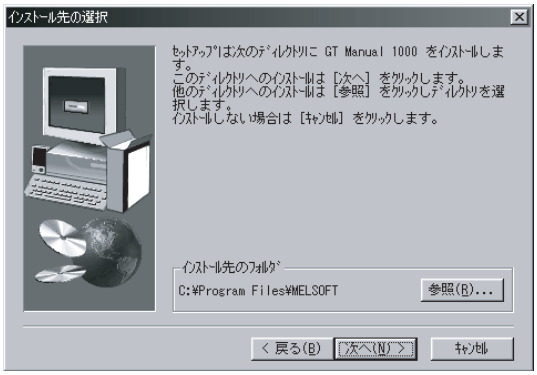


1 パソコンの CD ドライブに，Disc2 の CD-ROM を挿入します。

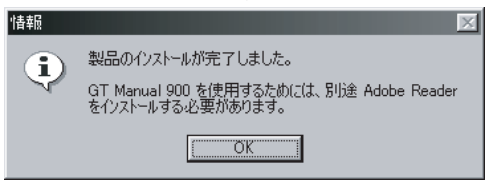
2 GT Manual メニューをクリックします。



3 GT Manual 900 インストール (GT Manual 1000 インストール) をクリックします。



4 インストール先フォルダを指定します。
インストール先フォルダのデフォルトは“C:￥Program Files￥MELSOFT”です。
デフォルトでよければ，次へ (N)> ボタンをクリックします。
変更する場合は，参照 (R)... ボタンをクリックし，変更先のドライブ，フォルダを指定します。



5 インストールが開始されます。
インストールが完了すると，左記画面が表示されるので，OK ボタンをクリックします。

Point

オンラインマニュアルを閲覧するには，別途 Adobe® Reader® をインストールする必要があります。

4.3 各ソフトウェアのアンインストール

Point

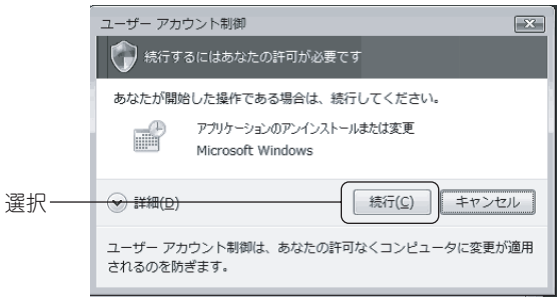
アンインストール時の注意事項

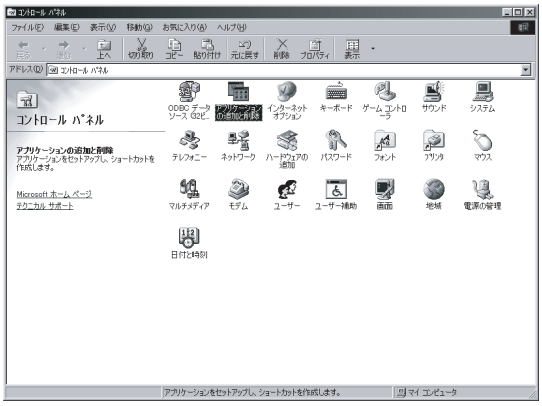
(1) アンインストールする場合は，必ず各ソフトウェアパッケージを終了させてから行ってください。

(2) WindowsNT® Workstation4.0，Windows® 2000 Professional，Windows® XP，Windows Vista® 使用時は，Administrator （コンピュータ管理者）の属性を持つユーザとしてログオンしてください。

(3) Windows Vista® 使用時アンインストール途中で下記画面が表示される場合があります。

右記画面が表示された場合は，「続行」を選択してください。





1 コントロールパネルの「アプリケーションの追加と削除」をクリックします。



2 アンインストールするソフトウェアを選択します。

3 選択後，追加と削除 ボタンをクリックします。

（次ページへ）

（前ページから）

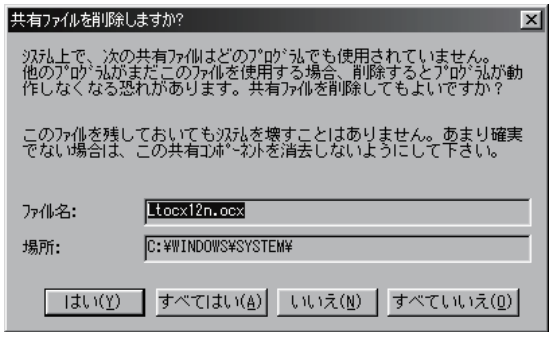
（GT SoftGOT2，GT Converter2，MES DB接続サービス，Document Converter，データ転送ツールの場合）



（GT Designer2，GT SoftGOT1000，GT Simulator2の場合）



（GT SoftGOT2,GT Converter2，MES DB接続サービス，Document Converter，データ転送ツールの場合）



（次ページへ）

3 ソフトウェアの削除の確認をします。

はい (Y) ボタンをクリックすると，アンインストールを開始します。
いいえ (N) ボタンをクリックすると，アンインストールを実行しないで，前の画面に戻ります。

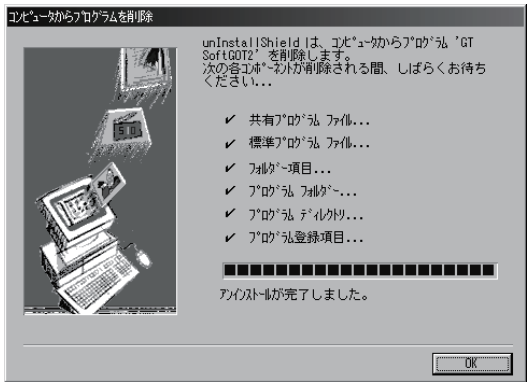
＊ コンポーネントとは，インストールしたアイコンとファイルを示します。

4 左記のような画面（ファイル名，場所の表示は異なる場合があります。）が表示されたら，すべていいえ (O) ボタンをクリックしてください。

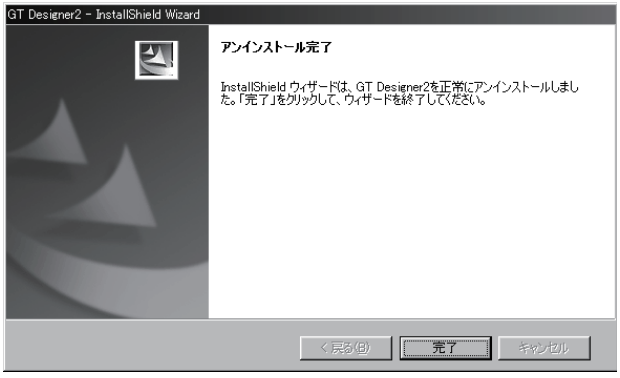
＊ はい (Y) ボタンまたは すべてはい (A) ボタンをクリックすると，MELSOFT の共有ファイルが削除され，他のソフトウェアパッケージが動作しなくなる場合があります。

（前ページから）

（GT SoftGOT2，GT Converter2，MES DB接続サービス，Document Converter，データ転送ツールの場合）



（GT Designer2，GT SoftGOT1000，GT Simulator2の場合）



5 アンインストールが完了すると，左記画面が表示されるので，OK ボタンまたは完了ボタンをクリックします。

4.4 各ソフトウェアの起動

Point

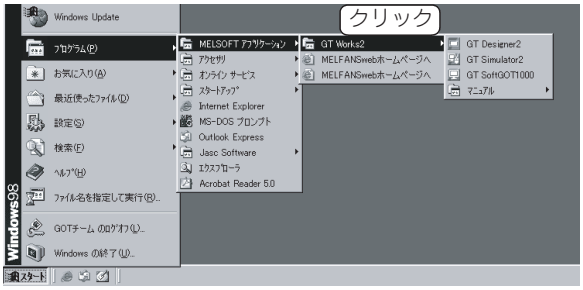
パソコン CPU ユニットに GT SoftGOT2 をインストールしている場合

パソコン CPU ユニットにインストールした GT SoftGOT2 を使用する場合，ライセンスキー FD によりパソコン CPU ユニットにライセンスを登録する必要があります。

ライセンスキー FD の登録方法については下記のマニュアルを参照してください。

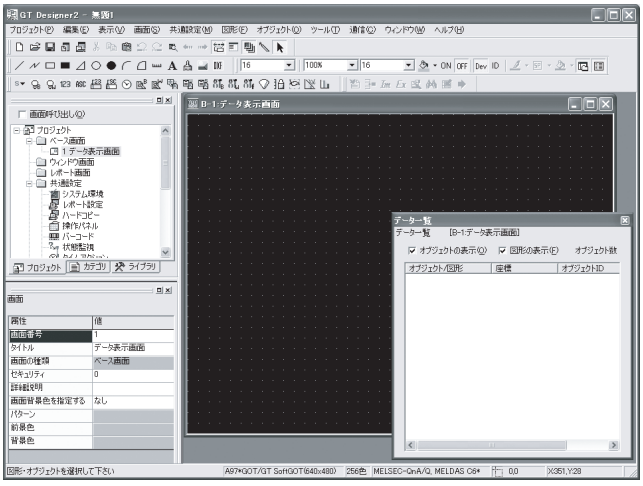
☞ GT SoftGOT2 Version1 オペレーティングマニュアル

(GT シリーズの場合)



1 起動するソフトウェアパッケージのメニューをクリックします。
【スタート】→【プログラム】→【MELSOFT アプリケーション】→【GT Works2】から選択

(GT Designer2を起動した場合)



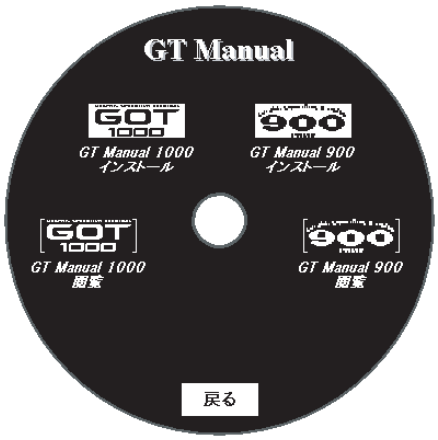
2 各ソフトウェアパッケージが起動します。

5章　オンラインマニュアルとヘルプの使い方

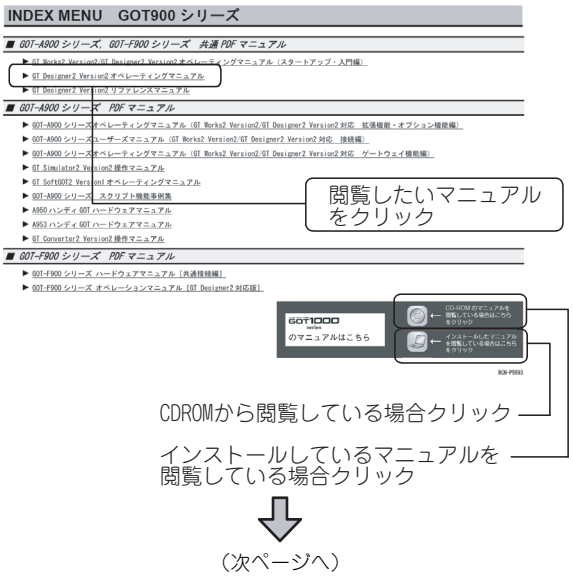
5.1　オンラインマニュアルの使い方

オンラインマニュアルは製品の CD-ROM 内に PDF データで収録されています。
PDF データを閲覧するには，パソコンに Adobe® Reader® がインストールされている必要があります。

オンラインマニュアルは，以下の方法で閲覧できます。



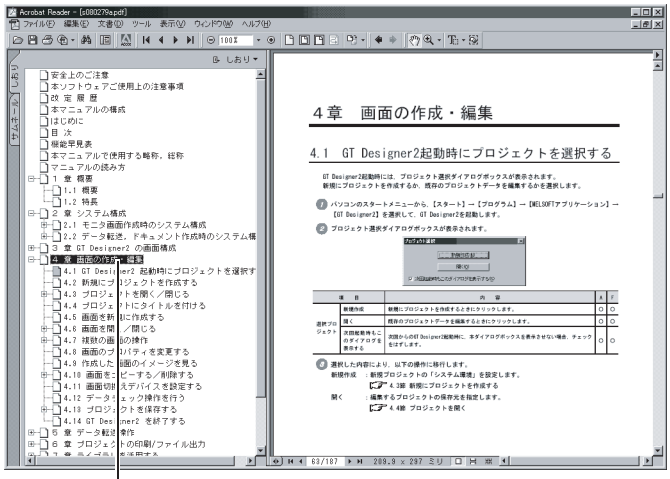
1 GT Manual メニューの GT Manual 900 閲覧をクリックします。



2 INDEX MENU の画面が表示されるので，閲覧したいマニュアルをクリックします。

（次ページへ）

（前ページから）



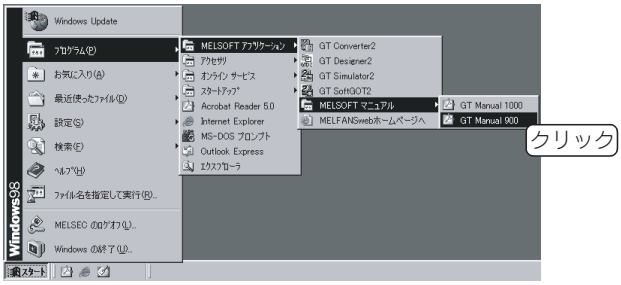
目次項目をクリックすることで，マニュアル表示部の画面が切り換わります。
“INDEX_MENU”をクリックすると，INDEX_MENU画面（マニュアル選択画面）に戻ります。

3 選択したマニュアルが表示されます。

備　考

オンラインマニュアルは，GT Manual をインストールすると，スタートメニューや GT Designer2 のヘルプからも閲覧することができます。
ヘルプから閲覧する方法については，次ページを参照してください。

(GT シリーズの場合)



5.2 ヘルプの使い方

ヘルプでは，GT Designer2 に関連する PDF マニュアルの閲覧，ソフトウェアバージョンの確認などができます。

Point

PDF マニュアルを閲覧する前に

PDF マニュアルを閲覧する為には，GT Manual および Adobe® Reader® をインストールする必要があります。

1 操作方法

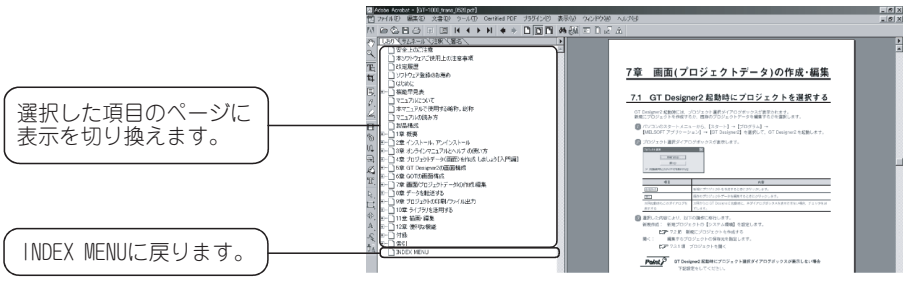
1 【ヘルプ】の各メニューをクリックします。

項　目	内　容	GOT1000 シリーズ	GOT900 シリーズ
【オペレーティングマニュアル（操作説明)】	GT Designer2 Version □オペレーティングマニュアルを閲覧します。	−	○
【リファレンスマニュアル（設定説明)】	GT Designer2 Version □リファレンスマニュアルを閲覧します。	−	○
【基本操作･データ転送マニュアル】	GT Designer2 Version □基本操作，データ転送マニュアルを閲覧します。	○	−
【画面設計マニュアル】	GT Designer2 Version □画面設計マニュアル上巻／下巻を閲覧します。	○	−
【目次】	PDF マニュアルを閲覧します。	○	○
【バージョン情報】	GT Designer2 のバージョンを確認できます。	○	○
【MELFANSweb への接続】	三菱電機 FA 機器技術情報サービス MELFANSweb ホームページに接続します。	○	○

2 PDF マニュアルの閲覧手順

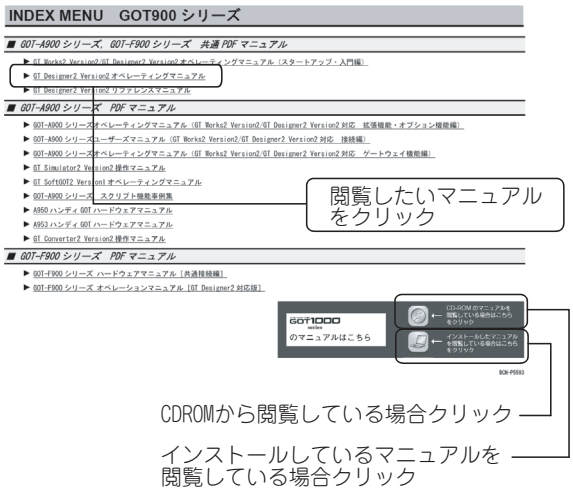
基本操作データ転送マニュアル／画面設計マニュアル選択時

1 選択したマニュアルを表示します。
（Adobe® Reader® の操作方法の詳細は，Adobe® Reader® のヘルプを参照してください。）
INDEX MENU をクリックすると，マニュアル一覧（本項 3 1）が表示されます。

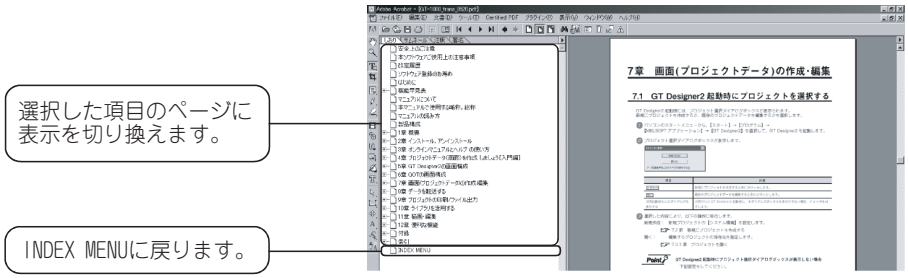


3 PDF マニュアルの閲覧手順（【目次】選択時）

1 1 の操作後，下記の画面が表示されるので，参照したいマニュアルをクリックしてください。

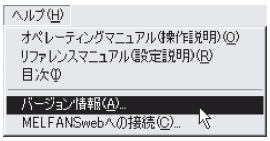


2 選択したマニュアルが表示されます。
（Acrobat Reader の操作方法の詳細は，Acrobat Reader のヘルプを参照してください。）



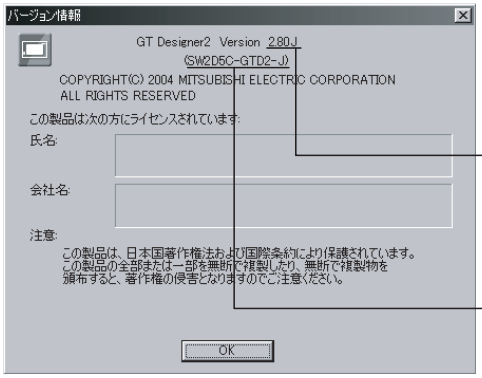
5.3 製品情報の見方

製品情報は以下の方法で見ることができます。



1 【ヘルプ】→【バージョン情報】メニューを選択します。

2 左記の画面（バージョン情報）が表示されます。



バージョン
2.80J
GT Designer2のマイナーバージョン
GT Designer2のメジャーバージョン

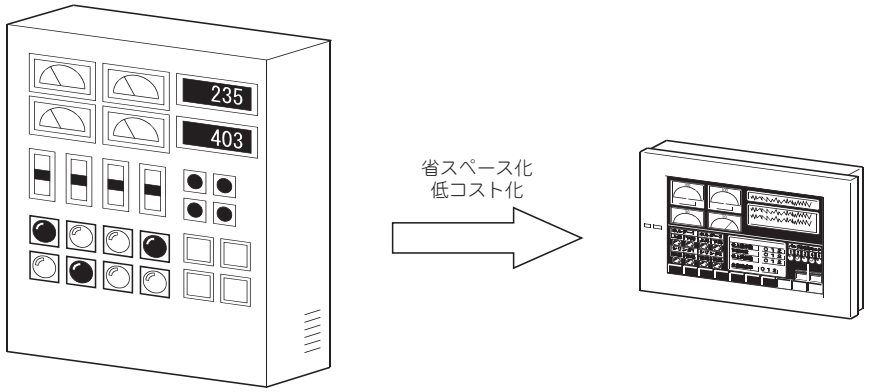
製品形名
SW□D5C-GTD2-J
GT Designer2のメジャーバージョン

6章　GOTとは

6.1　GOT について

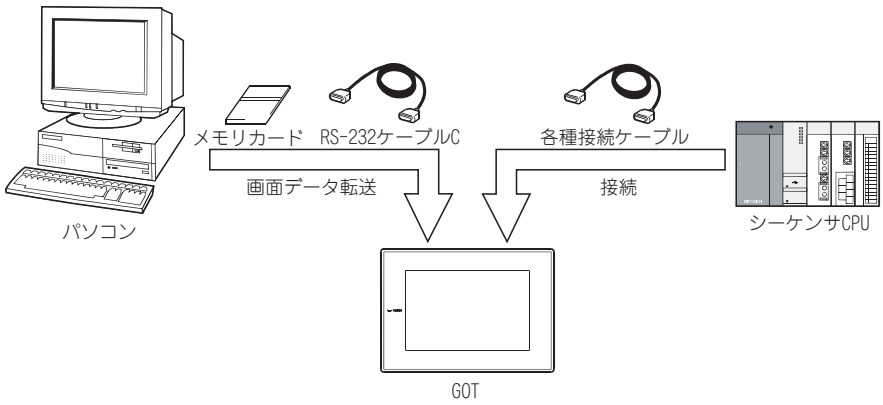
1 GOT とは

GOT（グラフィックオペレーションターミナルユニット）は従来操作盤で行ってきたスイッチ操作，ランプ表示，データ表示，メッセージ表示などをモニタ画面上で実現した電子操作盤としてお使いいただけます。



2 GOT で表示するモニタ画面データについて

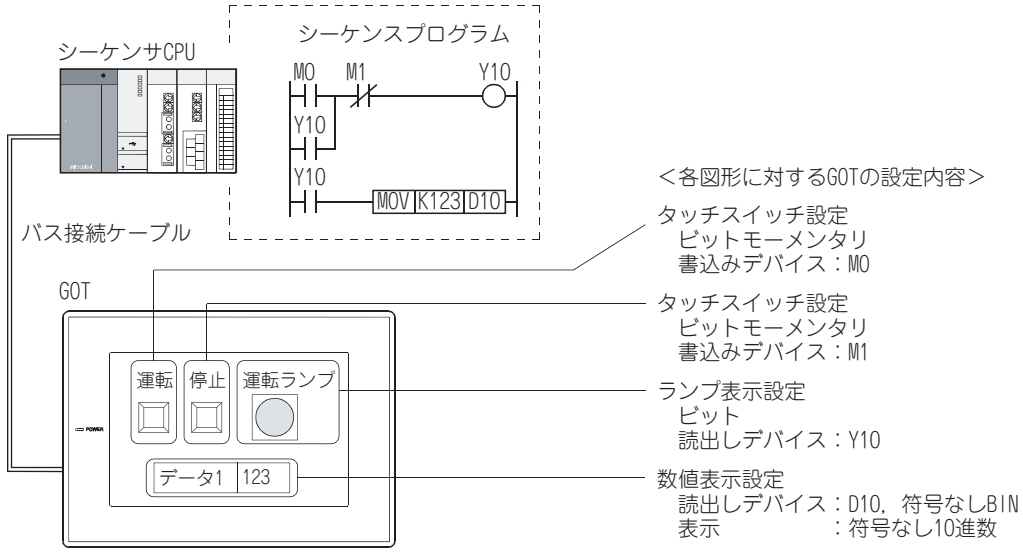
GOT で表示するモニタ画面データは専用のソフトウェア（GT Designer2）を使用して，パソコン上で作成します。
GT Designer2 でスイッチ図形，ランプ図形，数値表示などのオブジェクトと呼ばれる表示枠図形を貼り付けて画面を作成し，貼り付けたオブジェクトにシーケンサ CPU のデバイスメモリ（ビット，ワード）による動作機能を設定することで，GOT の各機能が実行できるようになります。
作成したモニタ画面データは RS-232C ケーブルやメモリカードで GOT に転送します。



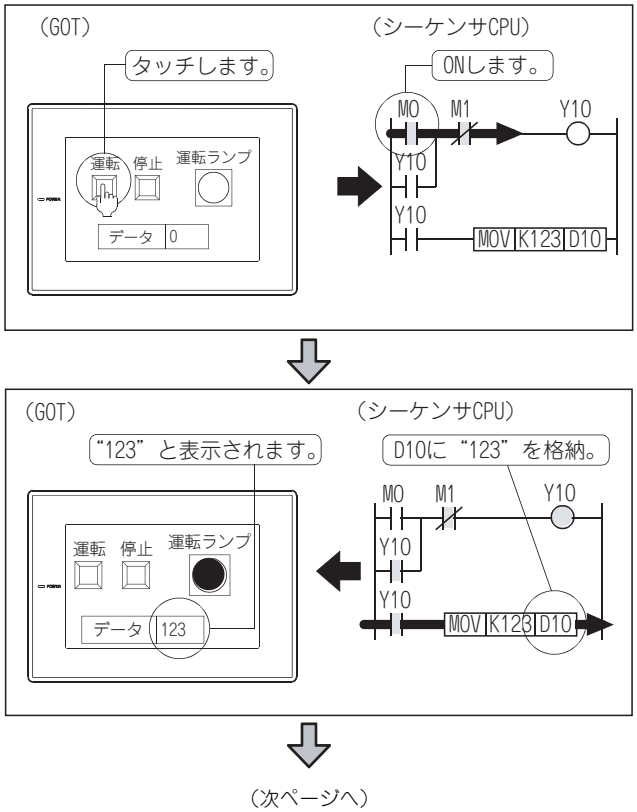
6.2 GOT の動作について

ここでは，GOT がシーケンサ CPU と接続時にどのような動作を行うか簡単に説明します。

1 システム例



2 動作説明



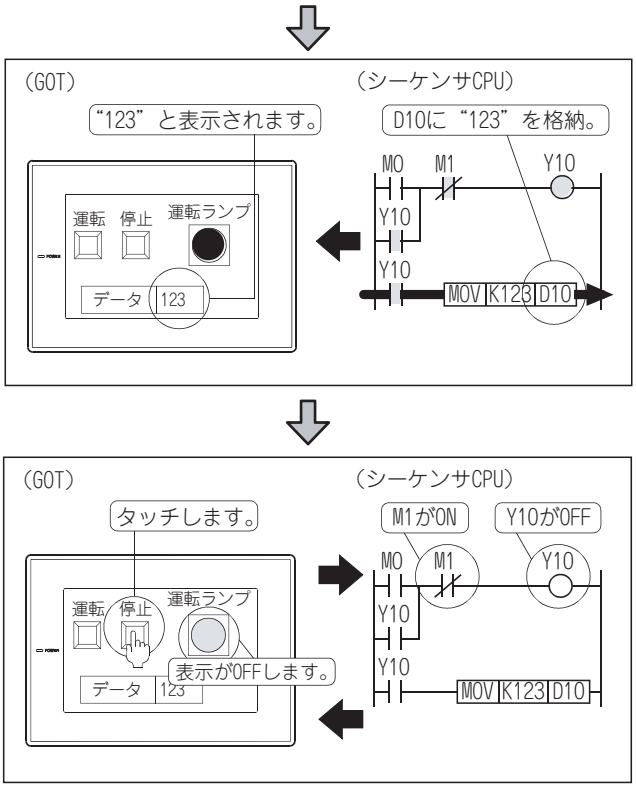
(次ページへ)

1 GOT のタッチスイッチ“運転”をタッチしている間，ビットデバイス“M0”が ON します。

2 ビットデバイス“M0”が ON すると，ビットデバイス“Y10”が ON します。

また，モニタデバイスをビットデバイス“Y10”に設定してある GOT のランプ表示にも ON 図形が表示されます。

（前ページから）



3 ビットデバイス“M0”が ON しているので，ワードデバイス“D10”に“123”が格納されます。

また，モニタデバイスをワードデバイス“D10”に設定してある GOT の数値表示には，“123”が表示されます。

4 GOT のタッチスイッチ“停止”をタッチしている間はシーケンサ CPU のビットデバイス“M1”が ON します。

シーケンサ CPU のビットデバイス“Y10”が OFF の条件になるので，GOT のランプ表示が OFF になります。

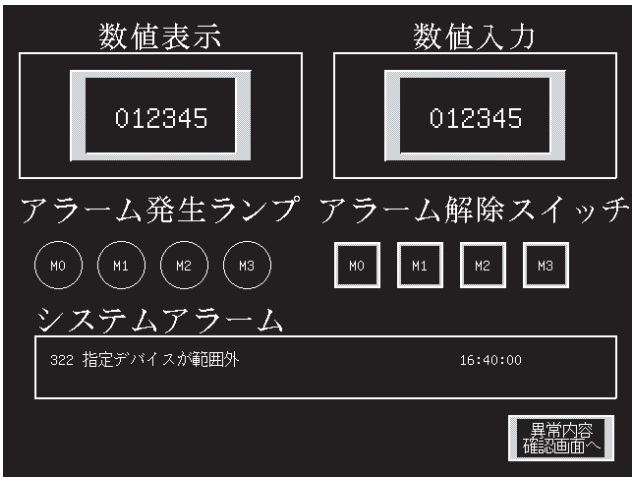
7章　モニタデータを作成する

本章以降では実際に GT Designer2 で画面を作成して，GOT で動作させるまでを説明します。
初めて GOT を使用する方や，GT Designer2 の具体的な操作例を知りたい方は，本章以降を参照して GOT や GT Designer2 を使用することをお薦めします。

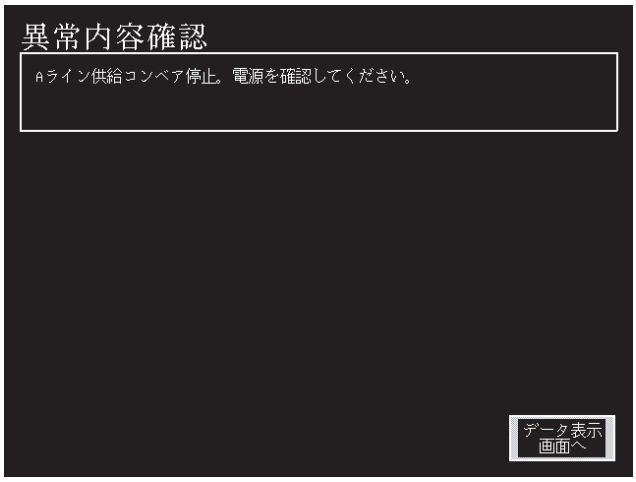
7.1　画面を作成する

画面作成前の準備をしたら，実際に画面を作成していきます。
本マニュアルでは下記の 2 画面を作成していきます。

ベース画面1



ベース画面2



7.1.1　GT Designer2 の画面構成

画面を作成する前に，GT Designer2 の基本的な画面構成について説明します。

メニューバー

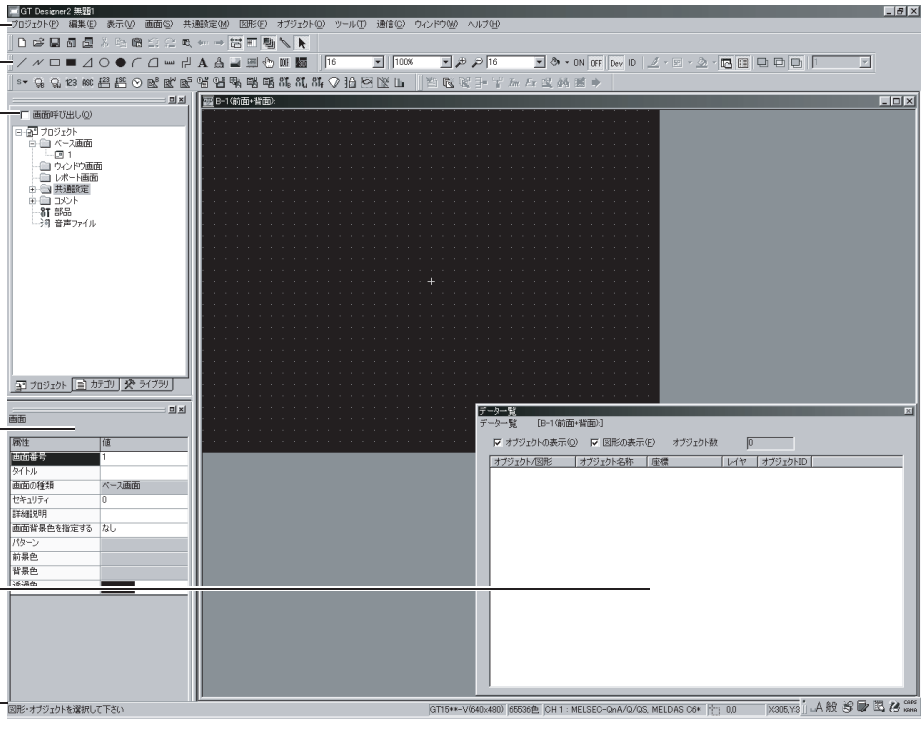
ツールバー

ワークスペース
作成した画面，共通設定など，プロジェクト全体の設定をツリー表示します。
また，ダブルクリックや右クリックで，設定，コピーなどもできます。

プロパティシート
選択した画面/オブジェクト/図形の属性を表示します。
ここで設定をすることもできます。

データ一覧
図面上に設定している全てのオブジェクト機能やオブジェクト数，図形を一覧で表示します。

ステータスバー



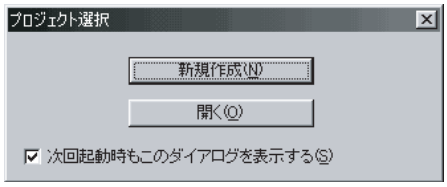
7.2 画面作成前の設定

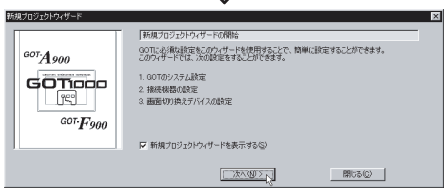
画面を作成する前に，使用する GOT やシーケンサ CPU の種類，画面のタイトルを設定します。

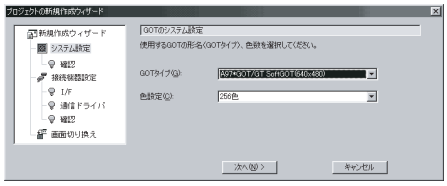
7.2.1 プロジェクトを作成する

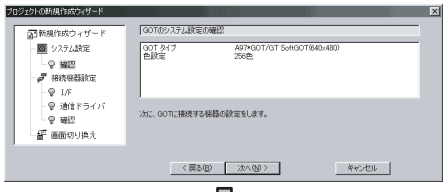
最初にプロジェクトを新規作成します。

（例）











（次ページへ）

1 GT Designer2 を起動すると左記の画面が表示されます。
今回は新規に画面を作成するので，新規作成 ボタンをクリックします。

2 左記の画面（新規プロジェクトウィザードの開始）が表示されるので，次へ ボタンをクリックします。

＊「新規プロジェクトウィザードを表示する」のチェックを外すと次回新規作成からウィザー ドは実行されません。

3 左記の画面（GOT のシステム設定）が表示されるので，使用する GOT のタイプと，色設定を選択します。
選択後，次へ ボタンをクリックします。

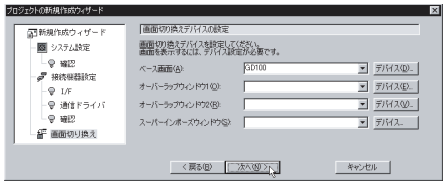
設定内容
GOT タイプ：A97 ＊ GOT/GT SoftGOT(640 × 480)
色設定：256 色

4 左記の画面（GOT のシステム設定の確認）が表示されるので，確認後 次へ ボタンをクリックします。

5 左記の画面（接続機器設定）が表示されるので，GOT に接続する機器を選択します。
選択後，次へ ボタンをクリックします。

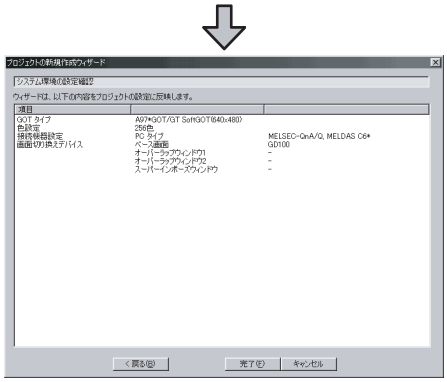
設定内容
接続機器タイプ：MELSEC-QnA/Q, MELDAS C6 ＊

（前ページから）



⑥ 左記の画面（画面切り換えデバイスの設定）が表示されるので，「ベース画面」の「切換えデバイス」を設定します。
設定後，次へ ボタンをクリックします。

設定内容
ベース画面
切換えデバイス：GD100



⑦ 左記の画面（システム環境の設定確認）が表示されるので，確認後，完了 ボタンをクリックします。



⑧ 画面のプロパティダイアログボックスが表示されるので，画面のタイトルを入力します。

⑨ OK ボタンをクリックすると，ベース画面 1 が作成されます。

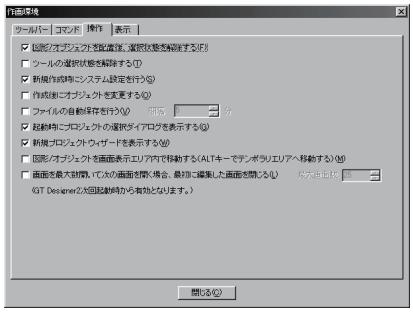
設定内容
タイトル：データ表示画面

Point

(1) 新規プロジェクト作成時にウィザードを起動させたくない場合
下記設定をして表示させてください。

① 【プロジェクト】→【作画環境】の操作タブを選択します。

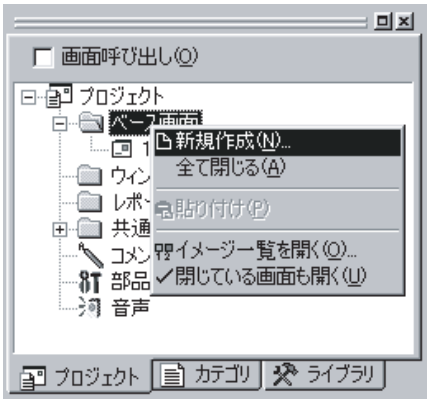
② 作画環境ダイアログボックスの操作タブで“新規プロジェクトウィザードを表示する”のチェックを外します。

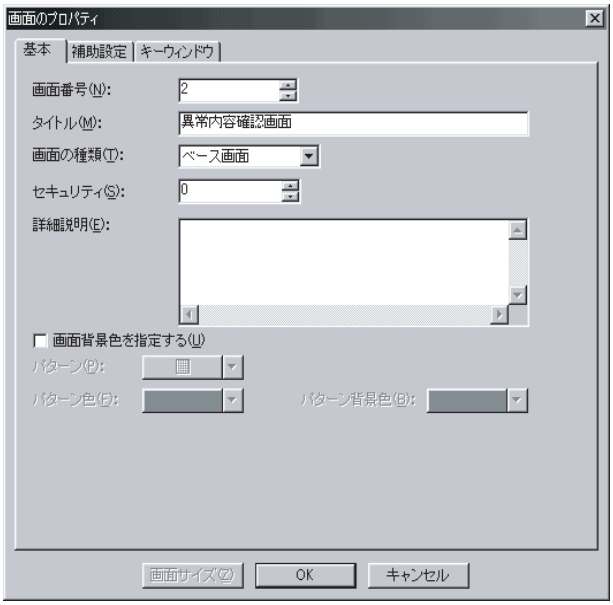


③ 閉じる ボタンをクリックします。
再度ウィザードを起動させたい場合は，再度【作画環境】の操作タブを表示し，“新規プロジェクトウィザードを表示する”にチェックを入れてください。

7.2.2　2 画面目を作成する

前節（7.2 節 画面作成前の設定）で，すでに画面を 1 つ作成していますが，本マニュアルでは画面を 2 つ作成するので，はじめに 2 画面目を作成します。





1 プロジェクトワークスペースのツリー上にある，ベース画面を右クリックして【新規作成】を選択します。

2 画面のプロパティダイアログボックスが表示されるので，画面のタイトルを入力します。

3 OK ボタンをクリックすると 2 画面目が作成されます。

設定内容

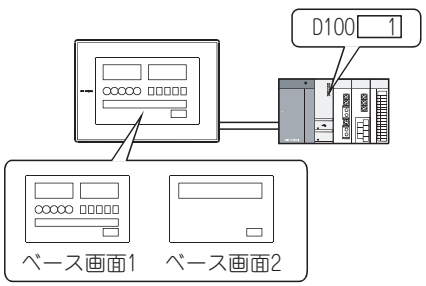
タイトル：異常内容確認画面

7.2.3　画面切換えデバイスを設定する

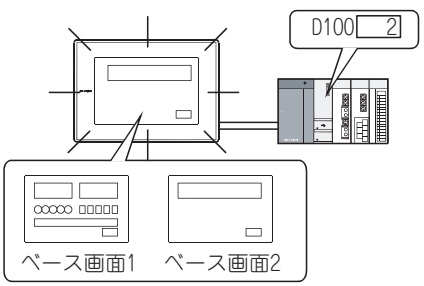
1 画面切換えデバイスとは

画面切換えデバイスとは，GOT で画面を切換えるためのワードデバイスです。
GOT は画面切換えデバイスに格納された数値の画面に切り換わります。
画面切換えデバイスは，画面切換えのみに使用してください。

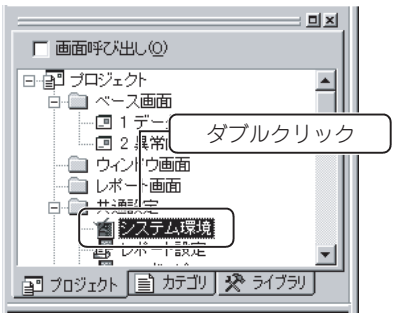
画面切換えデバイスの値が 1 の場合，
GOTはベース画面1を表示します。



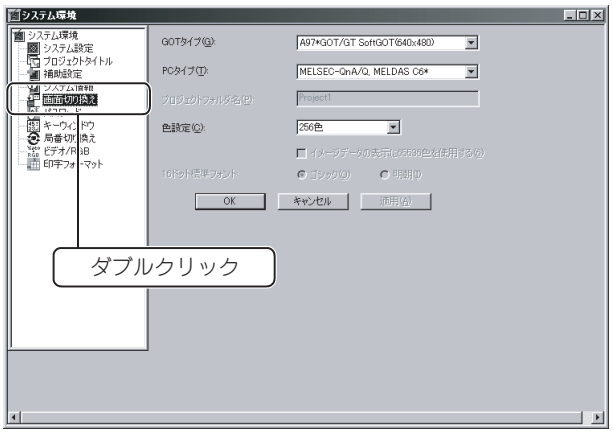
画面切換えデバイスの値が 1 → 2 になると，
GOTはベース画面2を表示します。



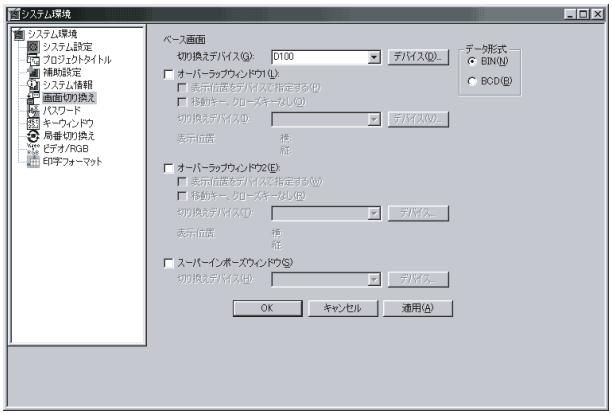
2 画面切換えデバイスの設定方法



1 プロジェクトワークスペースの「共通設定」-「システム環境」をダブルクリックします。



2 システム環境ダイアログボックスが表示されるので，「画面切換え」をダブルクリックします。



3 画面切換えデバイス設定ダイアログボックスが表示されるので，「ベース画面切換えデバイス」を設定します。

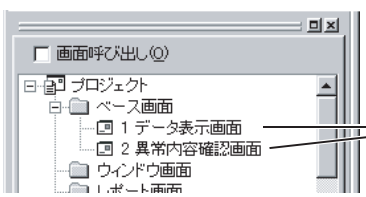
設定内容

ベース画面切換えデバイス：D100

4 OK ボタンをクリックすると画面切換えデバイスの設定が完了します。

7.2.4 作成した画面の切換え方法

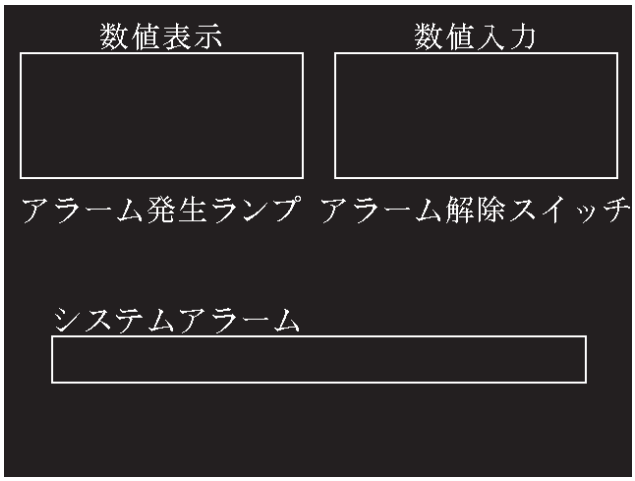
作成した画面は，プロジェクトワークスペースのツリー上にある，ベース画面をダブルクリックすると切り換わります。



7.3　図形の描画・文字の入力

はじめに下記の画面を枠線，文字を描画して作成します。
枠線，文字の描き方を下記に示します。

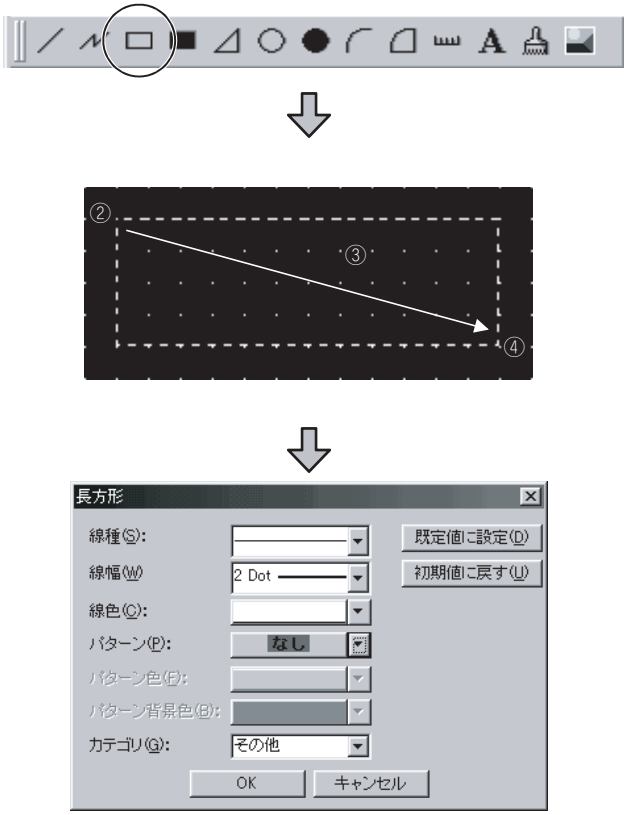
ベース画面1



ベース画面2



枠線の描画方法



1. □ をクリックします。
2. マウスのカーソルが＋になるので，長方形を描く始点でマウスの左ボタンを押します。
3. ドラッグしてカーソルを終点まで移動します。
4. マウスの左ボタンを離すと長方形が描かれます。（配置後，マウスを右クリックして，配置モードを解除してください。）
5. 作成した長方形をダブルクリックすると，設定ダイアログボックスが表示されるので，線の色や太さを変更できます。
6. OK ボタンをクリックすると，ダイアログボックスが閉じます。
7. 1～6を繰り返して，枠線を描画していきます。
   描画した図形を選択して，Ctrl キーを押しながらドラッグすると，簡単にコピーできます。

2 文字の描画方法



1 A をクリックします。

2 マウスのカーソルが＋になるので，文字を描画する位置でマウスをクリックします。
（配置後，マウスを右クリックして，配置モードを解除してください。）

3 クリックすると，文字図形ダイアログボックスが表示されるので，文字を入力します。
入力結果はすぐに画面に反映されます。

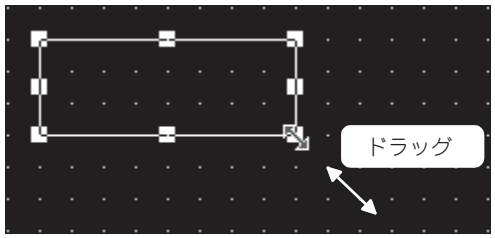
4 OK ボタンをクリックすると，ダイアログボックスが閉じます。

Hint!

図形や文字のサイズ変更方法

サイズを変更したい図形や文字を選択後，ハンドル（■）をドラッグするとサイズが変更できます。

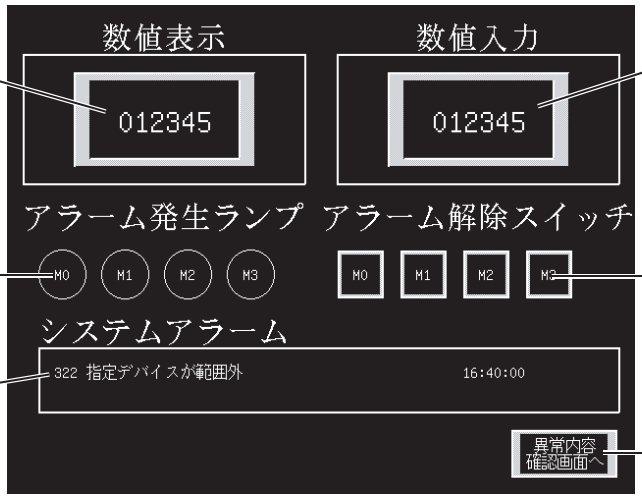
（例）長方形のサイズを変更する場合



7.4 オブジェクト機能の設定

図形や文字を描画した後，各オブジェクト機能を設定します。
本マニュアルで設定するオブジェクト機能について説明します。

ベース画面1



数値表示
シーケンサCPUのデバイスに格納されている値を表示します。
(☞ 7.4.1 項)

数値入力
シーケンサCPUのデバイスに値を書込みます。
(☞ 7.4.1 項)

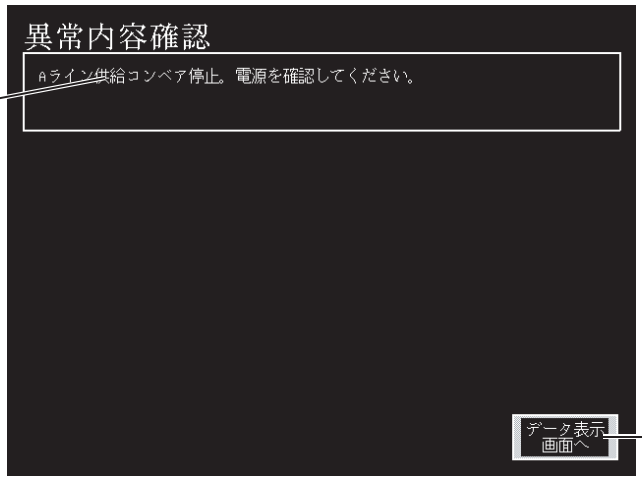
ランプ表示(ビットランプ)
シーケンサCPUのビットデバイスがONしたら，ランプが点灯します。
(☞ 7.4.2 項)

タッチスイッチ
(ビットスイッチ)
タッチすると，シーケンサCPUのビットデバイスをOFFにします。
(☞ 7.4.3 項)

アラームリスト表示
(システムアラーム)
GOTで発生した異常を表示します。
(☞ 7.4.5 項)

タッチスイッチ
(画面切換えスイッチ)
タッチすると，画面を切換えます。
(☞ 7.4.4 項)

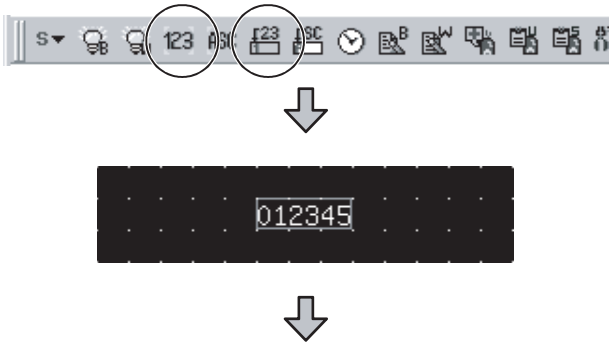
ベース画面2



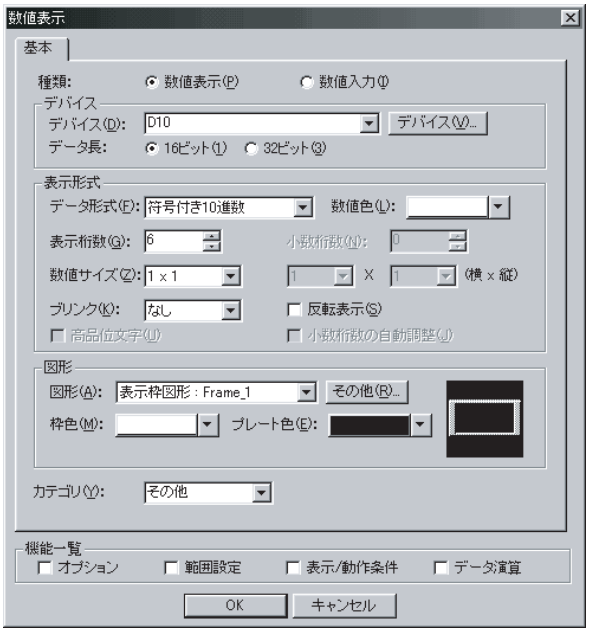
アラームリスト表示
(ユーザアラーム)
あらかじめユーザで表示するコメントを登録しておき，ビットデバイスがONしたら，対応するコメントを表示します。
(☞ 7.4.6 項)

タッチスイッチ
(画面切換えスイッチ)
タッチすると，画面を切換えます。
(☞ 7.4.4 項)

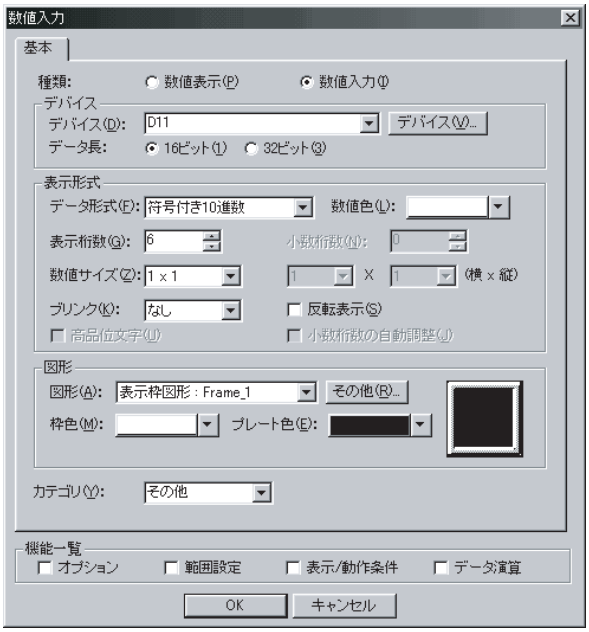
7.4.1　数値表示／数値入力の設定方法



数値表示の場合



数値入力の場合



（次ページへ）

1 123（数値表示），（数値入力）をクリックします。

2 マウスのカーソルが＋になるので，配置したい位置でクリックして，配置します。
（配置後，マウスを右クリックして，配置モードを解除してください。）

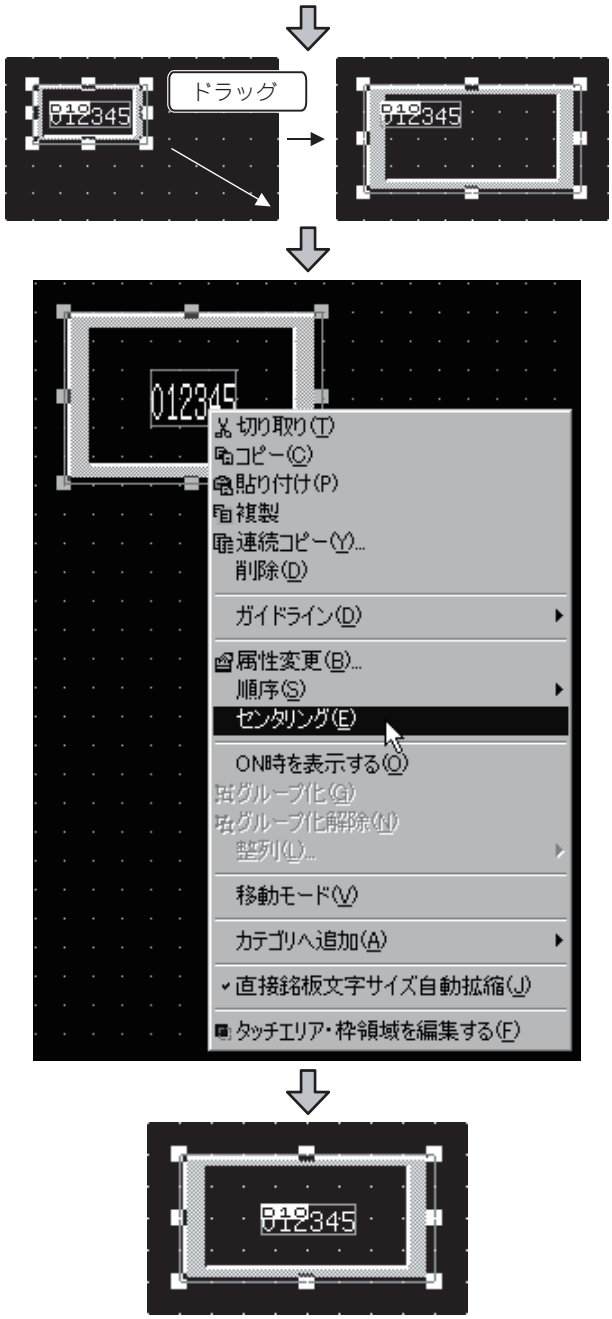
3 配置した数値表示／数値入力をダブルクリックすると，ダイアログボックスが表示されるので，各設定をします。（下記参照）

設定内容（数値表示）
種類　　：数値表示
デバイス：D10
図形　　：Frame_1

設定内容（数値入力）
種類　　：数値入力
デバイス：D11
図形　　：Frame_1

4 設定完了後，OK ボタンをクリックします。

（前ページから）



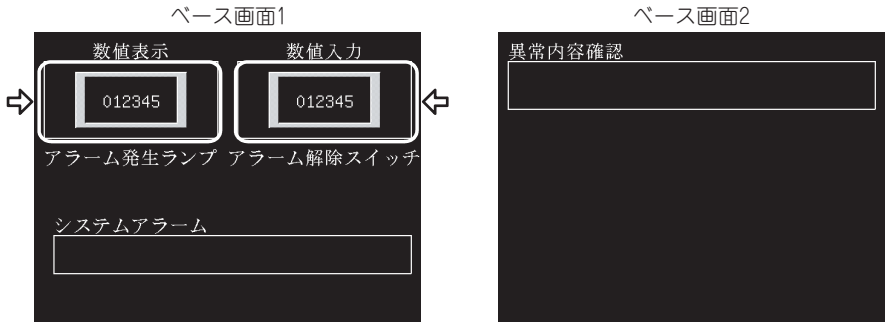
5 大きさを変更します。

6 オブジェクトの大きさを変更したときに，図形枠とオブジェクトがずれる場合があります。図形枠とオブジェクトがずれた場合は，オブジェクトを選択後，マウスを右クリックして【センタリング】を選択してください。
自動的にずれを修正します。

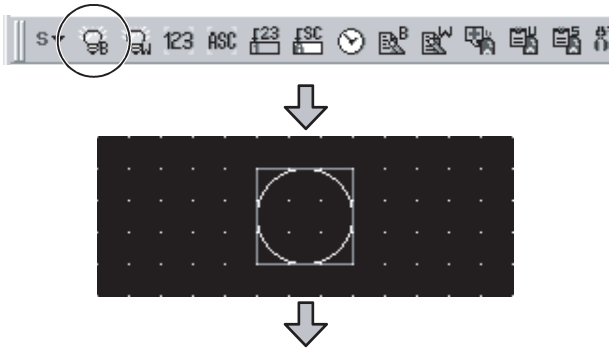
【タッチエリア・枠領域を編集する】を選択すると，ユーザで図形枠とオブジェクトを別々に移動できるようになります。

7 これで数値表示／入力の設定は完了です。

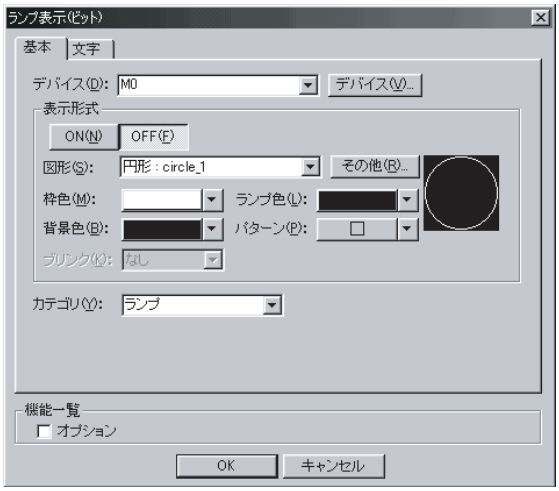
本項で設定したオブジェクト



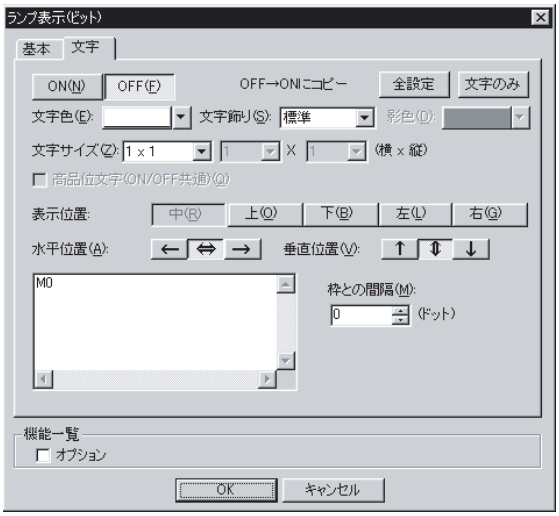
7.4.2　ランプ表示の設定方法



≪基本≫タブ



≪文字≫タブ





（次ページへ）

1  をクリックします。

2 マウスのカーソルが＋になるので，配置したい位置でクリックして，配置します。
（配置後，マウスを右クリックして，配置モードを解除してください。）

3 配置したランプをダブルクリックすると，ダイアログボックスが表示されるので，各設定をします。（下記参照）

設定内容　基本タブ
デバイス：M0

設定内容　文字タブ
文字　　：M0

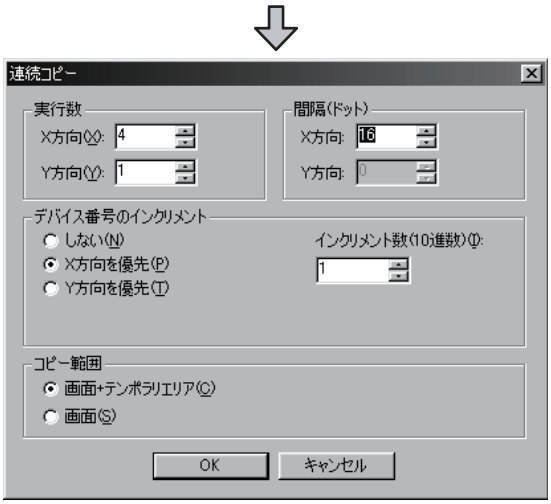
4 文字タブ設定後，［OFF → ON にコピー］の 全設定 ボタンをクリックします。
（OFF 時に設定した文字タブの内容が，ON 時に反映されます。）
OK ボタンをクリックすると，ON 時の属性を確認できます。

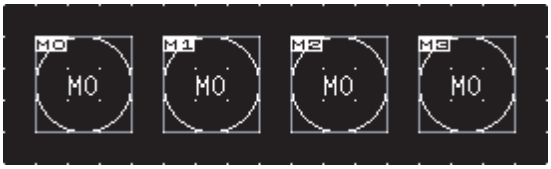
・文字は，各表示位置（中，上，下，左，右）ごとに登録できます。
文字登録されている表示位置ボタンは紫文字で表示されます。

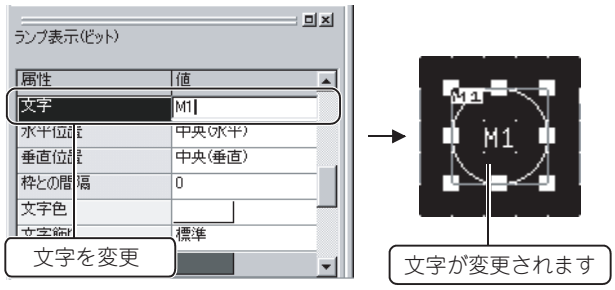
5 設定が完了したら，OK ボタンをクリックします。

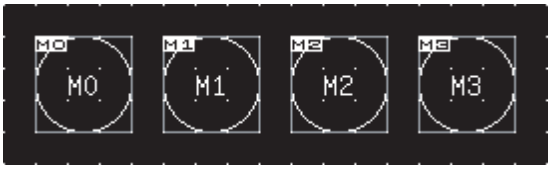
6 これで 1 つ目のランプの設定は完了です。

（前ページから）









7 2 つ目以降のランプを作成する場合は，設定したランプを選択後，【編集】→【連続コピー】/【コンテキストメニュー】→【連続コピー】メニューを選択して，連続コピーダイアログボックスを表示します。

設定内容

実行数　X 方向：4

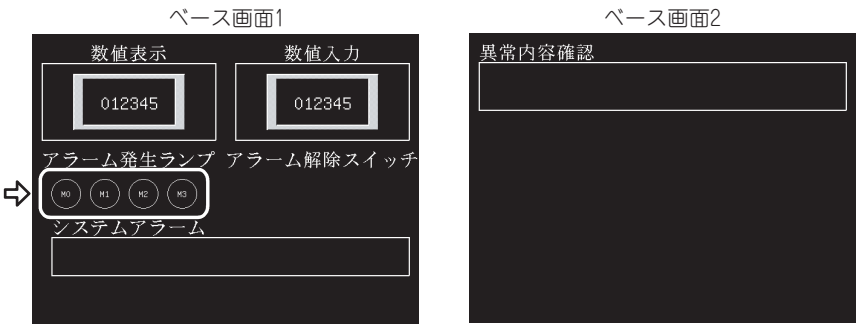
間隔　　X 方向：16

8 OK ボタンをクリックすると，ランプがコピーされます。

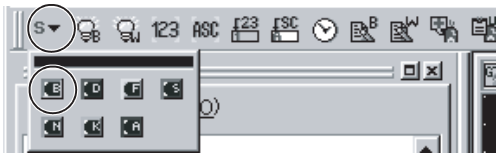
9 各ランプの文字を，プロパティシートで変更します。

10 これでランプの設定は完了です。

本項で設定したオブジェクト

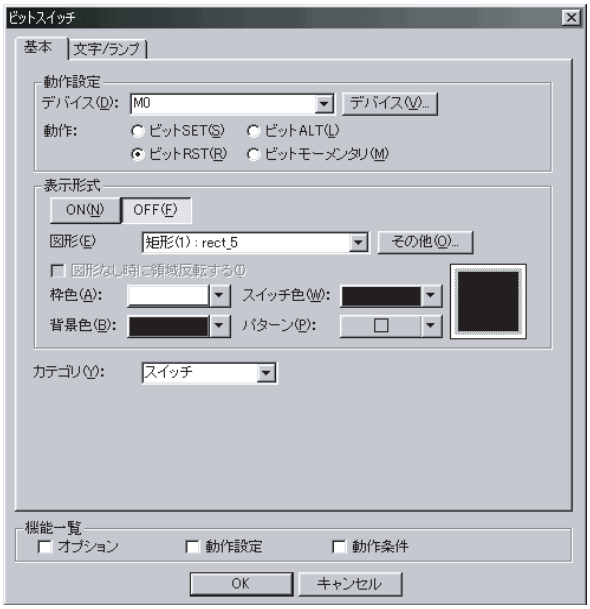


7.4.3　タッチスイッチ（ビットスイッチ）の設定方法

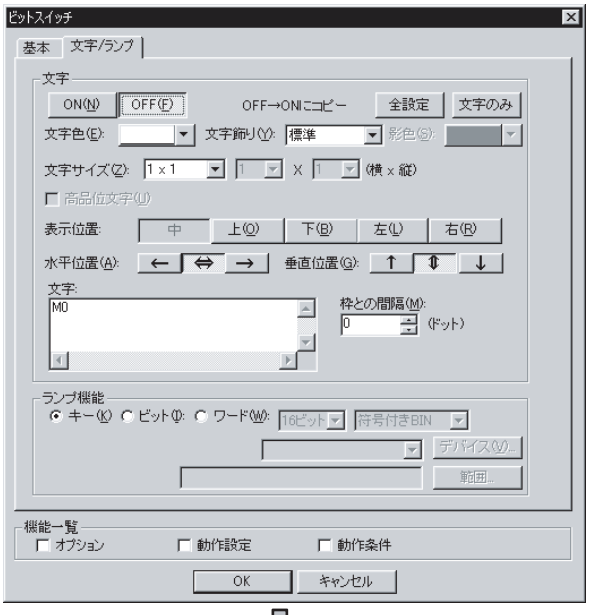




≪基本≫タブ



≪文字/ランプ≫タブ



（次ページへ）

1 S▾ をクリックして，サブメニューの中から （ビットスイッチ）を選択します。

2 マウスのカーソルが＋になるので，配置したい位置でクリックして，配置します。
（配置後，マウスを右クリックして，配置モードを解除してください。）

3 配置したタッチスイッチをダブルクリックすると，ダイアログボックスが表示されるので，各設定をします。（下記参照）

設定内容　基本タブ
デバイス：M0
動作　　：ビット RST
図形　　：rect_5

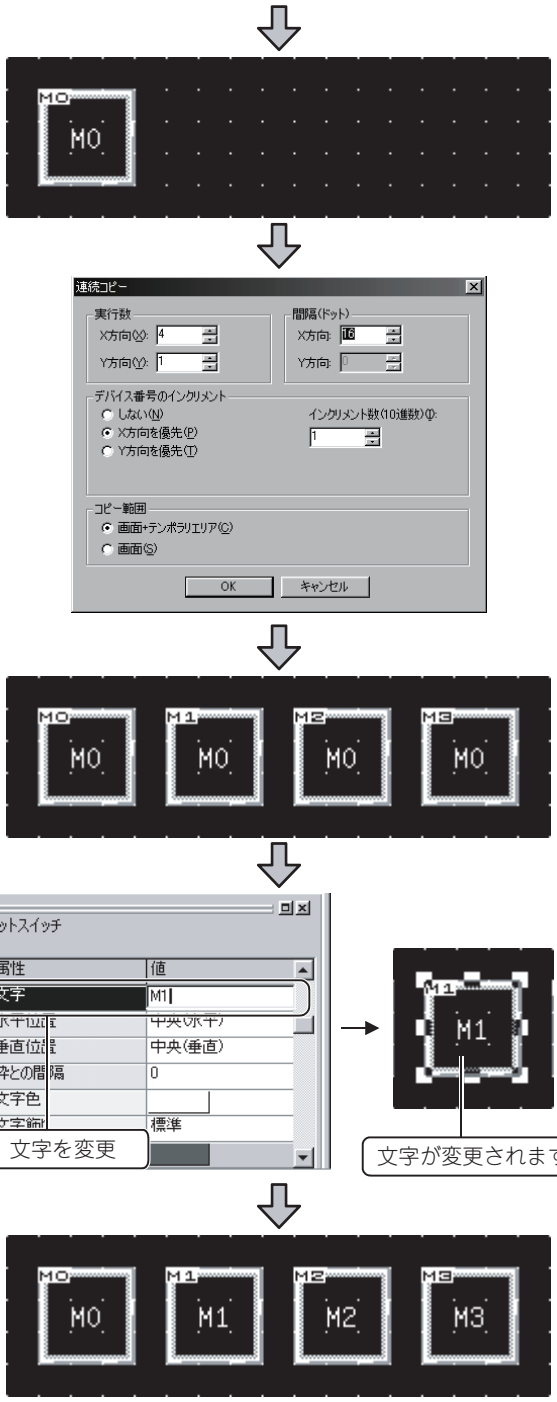
設定内容　文字／ランプタブ
文字　　：M0

4 設定後，文字タブの［OFF → ON にコピー］の 全設定 ボタンをクリックします。
（OFF 時に設定した文字タブの内容が，ON 時に反映されます。）
OK ボタンをクリックすると，ON 時の属性を確認できます。

・文字は，各表示位置（中，上，下，左，右）ごとに登録できます。
文字登録されている表示位置ボタンは紫文字で表示されます。

5 設定が完了したら，OK ボタンをクリックします。

（前ページから）



6 これで 1 つ目のタッチスイッチの設定は完了です。

7 2 つ目以降のタッチスイッチを作成する場合は，タッチスイッチ選択後，【編集】→【連続コピー】/【コンテキストメニュー】→【連続コピー】メニューを選択して，連続コピーダイアログボックスを表示します。

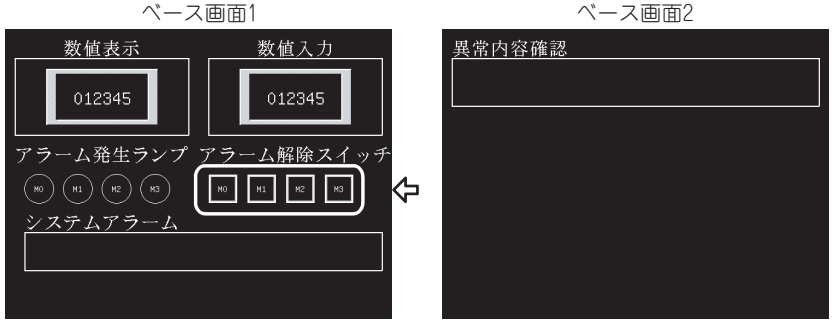
設定内容
実行数　X 方向：4
間隔　　X 方向：16

8 OK ボタンをクリックすると，タッチスイッチがコピーされます。

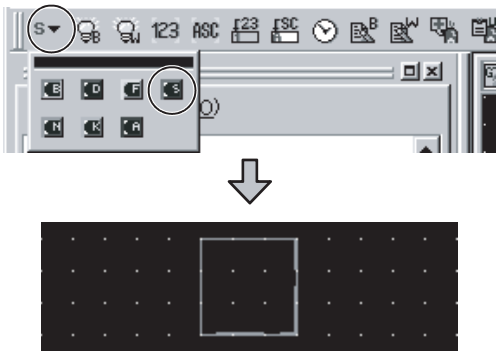
9 各タッチスイッチの文字をプロパティシートで変更します。

10 これでタッチスイッチの設定は完了です。

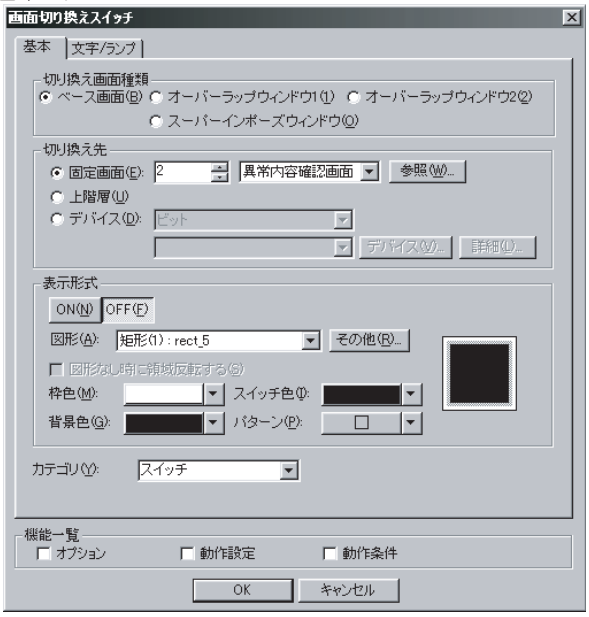
本項で設定したオブジェクト



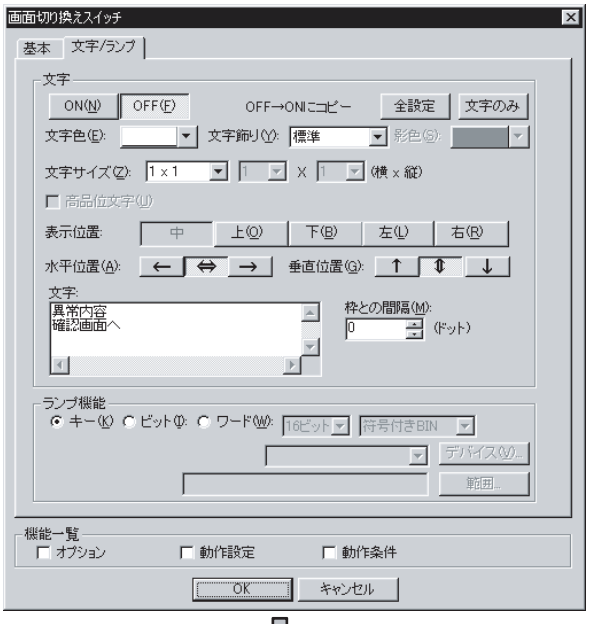
7.4.4　タッチスイッチ（画面切換えスイッチ）の設定方法



≪基本≫タブ



≪文字/ランプ≫タブ



（次ページへ）

1 をクリックして，サブメニューの中から（画面切換えスイッチ）を選択します。

2 マウスのカーソルが＋になるので，配置したい位置でクリックして，配置します。
（配置後，マウスを右クリックして，配置モードを解除してください。）

3 配置したタッチスイッチをダブルクリックすると，ダイアログボックスが表示されるので，各設定をします。（下記参照）

設定内容　基本タブ
切換え先：固定画面 (2)
図形　　：rect_5

設定内容　文字／ランプタブ
文字　　：異常内容 ↵
　　確認画面へ

4 設定後，文字タブの［OFF → ON にコピー］の 全設定 ボタンをクリックします。
（OFF 時に設定した文字タブの内容が，ON 時に反映されます。）
OK ボタンをクリックすると，ON 時の属性を確認できます。

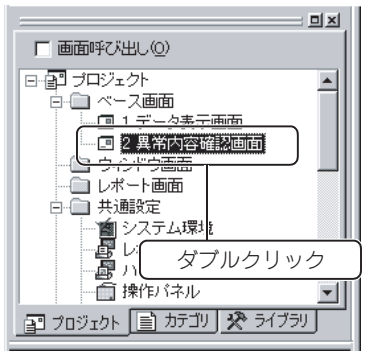
・文字は，各表示位置（中，上，下，左，右）ごとに登録できます。
　文字登録されている表示位置ボタンは紫文字で表示されます。

5 設定が完了したら，OK ボタンをクリックします。

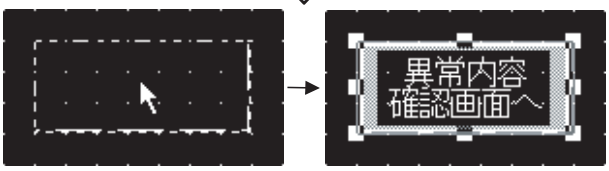
（前ページから）



⑥ これでベース画面 1 のタッチスイッチの設定は完了です。
設定後，タッチスイッチが選択された状態で Ctrl キー ＋ C キーを押します。
（ショートカット：コピー）



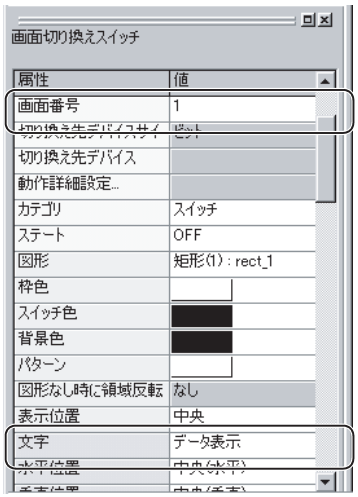
⑦ プロジェクトワークスペースのツリー上にある，ベース画面 2（異常内容確認画面）をダブルクリックして，ベース画面 2 を表示します。



Ctrlキー+Vキーで
貼り付け準備

マウスをクリックすると
スイッチを貼り付けます。

⑧ ベース画面 2 上で Ctrl キー ＋ V キーを押してコピーしたタッチスイッチを貼り付けます。（ショートカット：貼り付け）
マウスをクリックすると，タッチスイッチを貼り付けます。



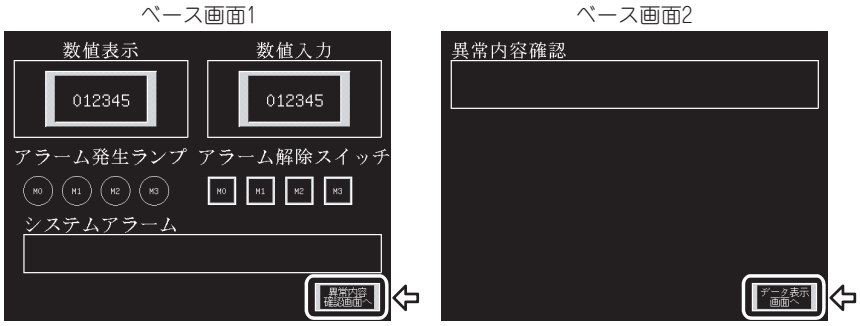
⑨ 貼り付けられたスイッチを選択して，プロパティシートで設定内容を変更します。

設定内容
画面番号：2 → 1
文字　　：異常内容↵ 確認画面へ → データ表示↵ 画面へ

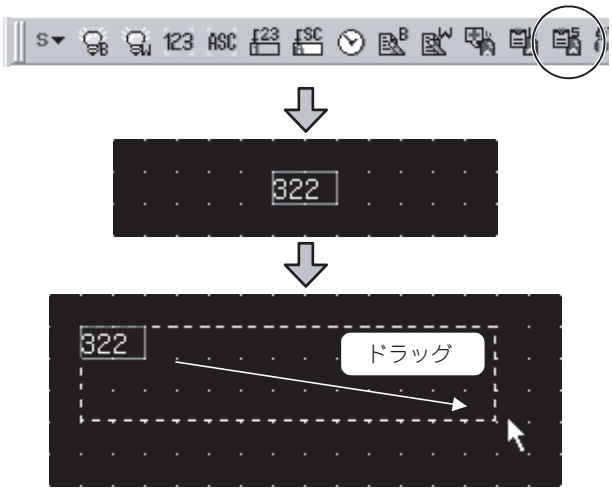


⑩ これで画面切換えスイッチの設定は完了です。

本項で設定したオブジェクト



7.4.5 アラームリスト表示（システムアラーム）の設定方法



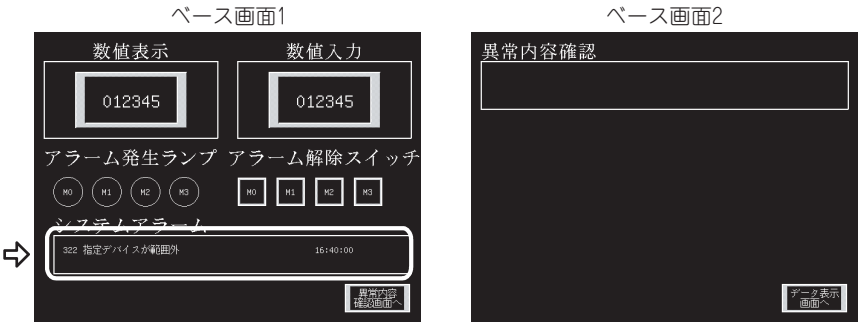
1 をクリックします。

2 マウスのカーソルが+になるので，配置したい位置でクリックして，配置します。

3 大きさを調整します

4 これでアラームリスト表示（システムアラーム）の設定は完了です。

本項で設定したオブジェクト



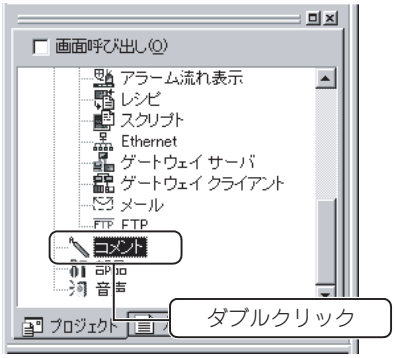
7.4.6　アラームリスト表示（ユーザアラーム）の設定方法

アラームリスト表示（ユーザアラーム）を使用する場合，アラームとして表示するコメントを，先に登録しておく必要があります。

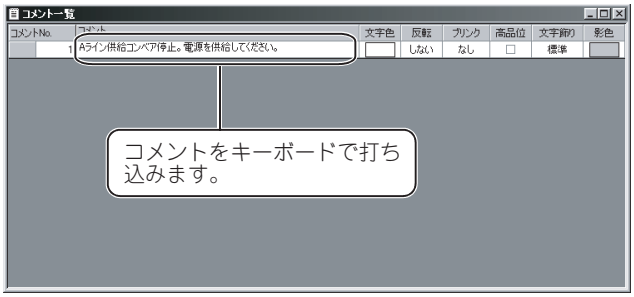
1 コメントの登録方法

本マニュアルでは下記のコメントを登録していきます。

コメント No	コメント
1	A ライン供給コンベア停止。電源を供給してください。
2	非常停止リミット作動。加工品を確認してください。
3	加工品リミット作動せず。加工品の有無を確認してください。
4	加工機 -1 の油圧低下。給油してください。



1 プロジェクトワークスペースのツリー上にある，「コメント」をダブルクリックします。

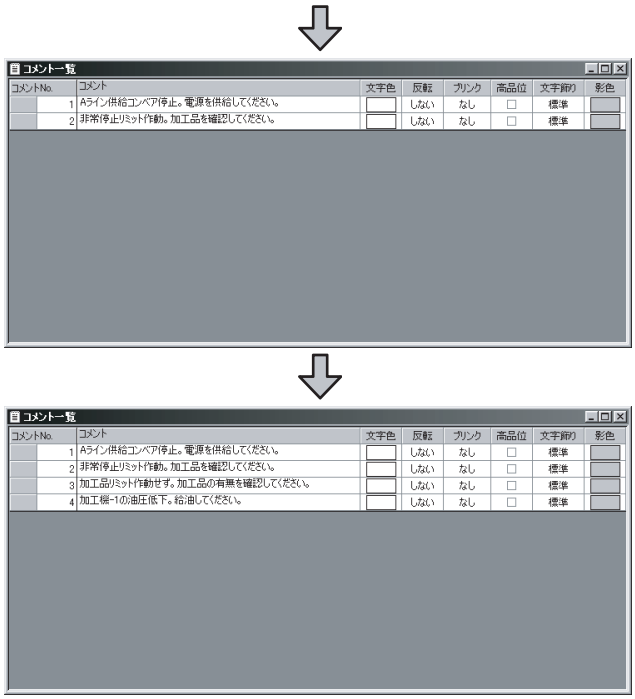


2 ダイアログボックスが表示されるので，コメントを登録します。

3 コメント登録後，（新規コメント）をクリックします。

（次ページへ）

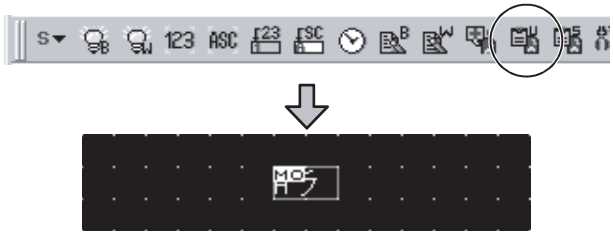
（前ページから）



4 2 つ目のコメントを作成します。
以下同じ手順で，3 ～ 4 つ目のコメントを登録します。

5 コメントの作成が完了したら，閉じる ボタンをクリックします。

2 アラームリスト表示（ユーザアラーム）の設定方法



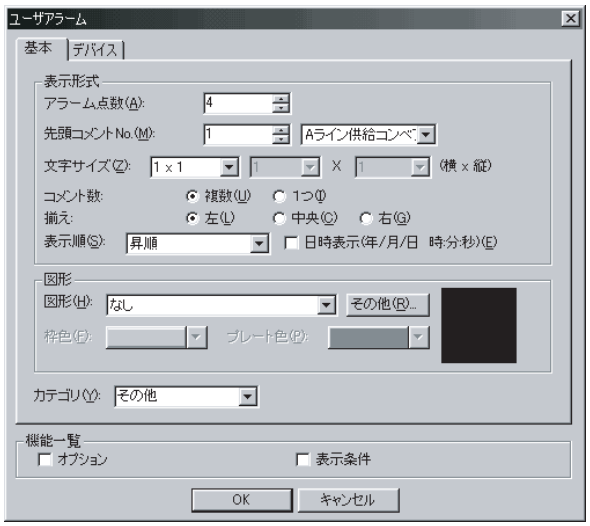
1 をクリックします。

2 マウスのカーソルが＋になるので，配置したい位置でクリックして，配置します
（配置後，マウスを右クリックして，配置モードを解除してください。）

（次ページへ）

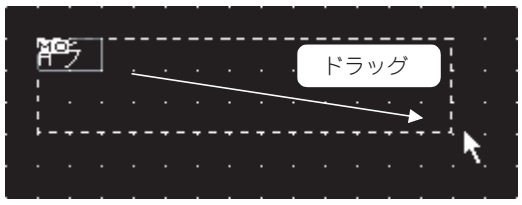
（前ページから）

≪基本≫タブ



≪デバイス≫タブ





③ 配置したアラームリスト表示をダブルクリックすると，ダイアログボックスが表示されるので，各設定をします。（下記参照）

<u>設定内容　基本タブ</u>
アラーム点数　　：4

<u>設定内容　文字／ランプタブ</u>
デバイス No.　　：連続
アラームデバイス：MO

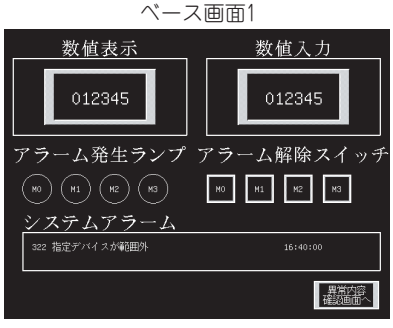
④ 設定完了後，OK ボタンをクリックします。

⑤ 大きさを調整します。

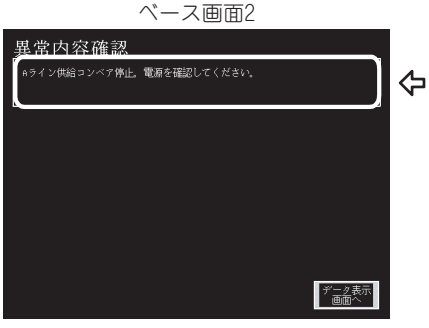
⑥ これでアラームリスト表示（ユーザアラーム）の設定は完了です。

<u>本項で設定したオブジェクト</u>

ベース画面1

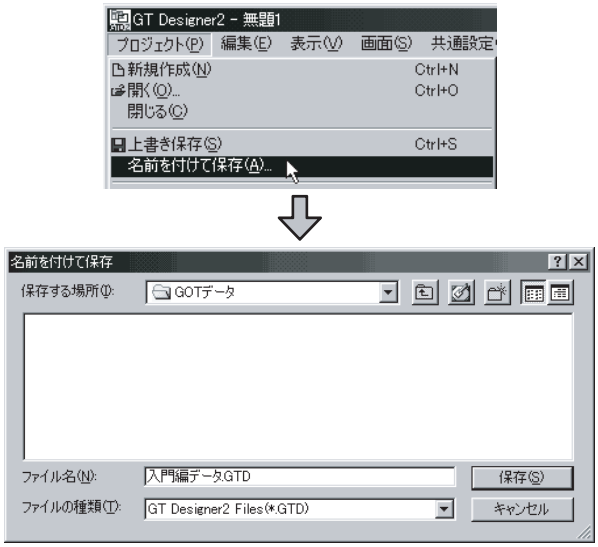


ベース画面2



7.5 作成したモニタデータを保存する

作成したモニタデータの保存方法を説明します。



1 【プロジェクト】→【名前を付けて保存】メニューを選択します。

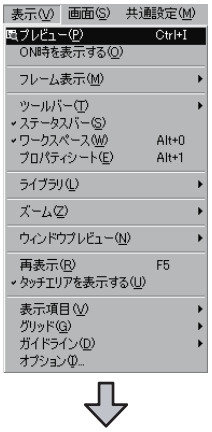
2 ダイアログボックスが表示されるので，保存する場所を選択して，ファイル名を設定します。

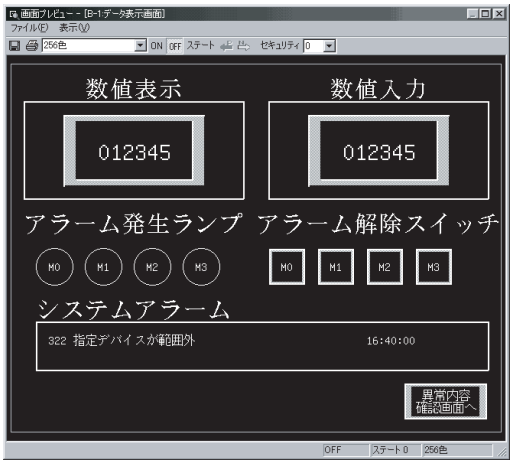
3 保存 ボタンをクリックすると，モニタデータを保存します。

7.6 作成したモニタデータをプレビューする

GOT で表示する画面のイメージの確認方法を説明します。
詳細は，下記項目を参照してください。

☞ GT Designer2 Version2 オペレーティングマニュアル





1 【表示】→【プレビュー】メニューを選択します。

2 GOT で表示する画面のイメージが，画面プレビューウィンドウに表示されます。

8章　GOTでモニタを実行する

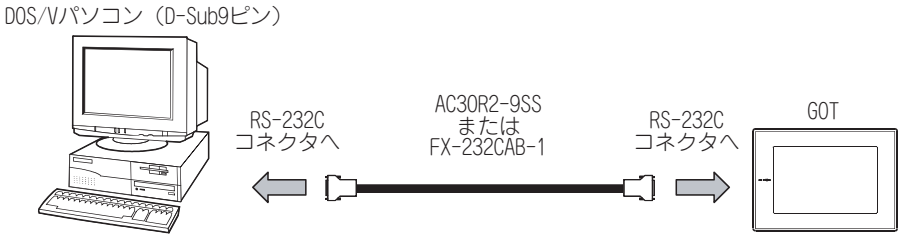
GT Designer2 で作成したモニタデータを，GOT に転送して表示するまでを説明します。
本マニュアルでは，A975GOT を使用した例で説明します。
本マニュアルで紹介するプログラム例を実際のシステムへ流用する場合は，対象システムにおける制御性に問題がないことを十分検証ください。

8.1　パソコンから GOT にモニタデータを転送する

パソコンから GOT にモニタ画面データを転送する方法を説明します。

8.1.1　パソコンと GOT を接続する

パソコンと GOT を接続します。



Hint!

データ転送時間を短くしたい

モニタデータは，メモリカードを使用して転送することもできます。
メモリカードを使用した場合，データの転送速度が RS-232C 通信より速いので，作業時間を短縮できます。＊1
メモリカードを使用した場合のデータ転送については，下記のマニュアルを参照してください。

☞ GT Designer2 Version2 オペレーティングマニュアル

＊1 参考値･･･画面データ（589,572 バイト（30 画面））の場合，メモリカード時：約 55 秒，RS-232C 通信時：約 5 分

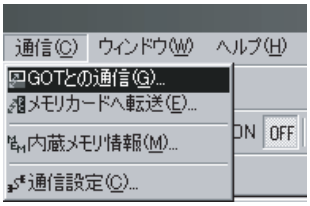
8.1.2 OS，通信ドライバをインストールする

GOT には，モニタするための OS や，シーケンサ CPU と通信するためのドライバが入っていません。
そのため，モニタをする前に本操作を一度だけ行う必要があります。
OS のバージョンアップや，シーケンサとの通信方法を変更する場合，再び本操作が必要になります。

Point **OS インストール時の注意事項**

GOT に OS をインストールすると，GOT 内のモニタデータが消去されます。
GOT 内のデータが必要な場合は，アップロードしてください。

（☞ 8.3 節　アップロードする）





（次ページへ）

1. 【通信】→【GOT との通信】メニューを選択します。

2. ダイアログボックスが表示されるので，通信設定タブを選択します。

3. 通信設定タブでは，使用するパソコンの通信設定を確認して設定します。
   設定後，OS インストール -> GOT タブを選択します。

（前ページから）



4 OS インストール -> GOT タブでは，GOT にインストールする基本機能 OS，PC 通信ドライバ，拡張機能 OS を選択します。
本マニュアルでは，以下の OS を選択します。

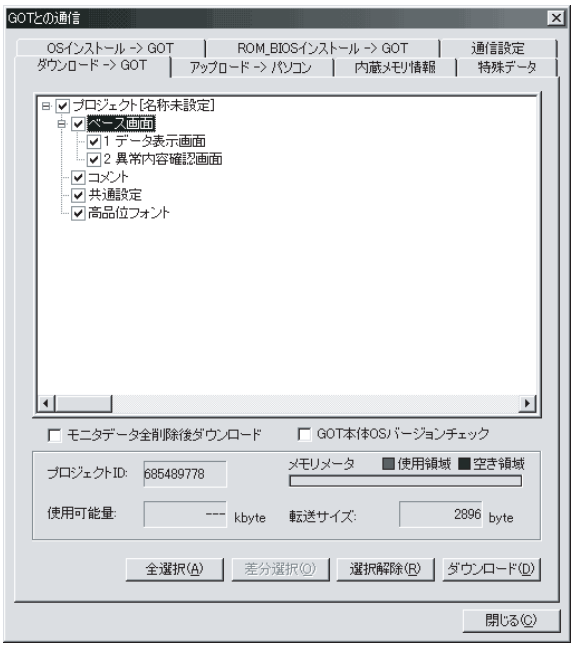
・基本機能 OS　　：日本語
・PC 通信ドライバ：バス接続 (Q)
・拡張機能 OS　　：インストールしません。
・GOT タイプ　　：A985GOT/
　　A97*GOT/A960GOT

選択後，インストール ボタンをクリックすると，OS，通信ドライバのインストールを開始します。

5 OS インストール完了後，GOT をリセットしてください。

8.1.3　モニタデータのダウンロード

OS インストール後，作成したモニタデータを GOT にダウンロードします。



1 ダウンロード -> GOT タブを選択します。

2 ダウンロード -> GOT タブでは，GOT にダウンロードするデータ（ベース画面，ウィンドウ画面，共通設定）を選択します。

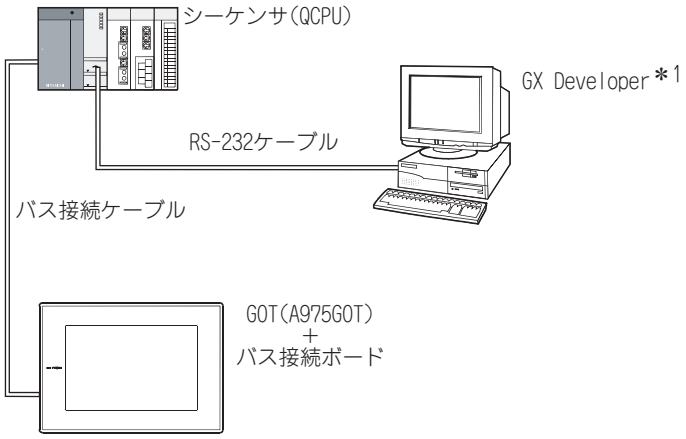
・プロジェクト構成ツリー：全てチェック

選択後，ダウンロード ボタンをクリックすると，モニタデータのダウンロードを開始します。

8.2 シーケンサ CPU と接続する

OS，PC 通信ドライバ，モニタ画面データを GOT に転送後，GOT とシーケンサ CPU を接続します。
本マニュアルでは，A975GOT と QCPU をバス接続する例で説明します。

システム構成例



＊1 GX Developer のシステム構成，使用方法などについては，GX Developer のオペレーティングマニュアルを参照してください。

Point

バス接続時の注意事項

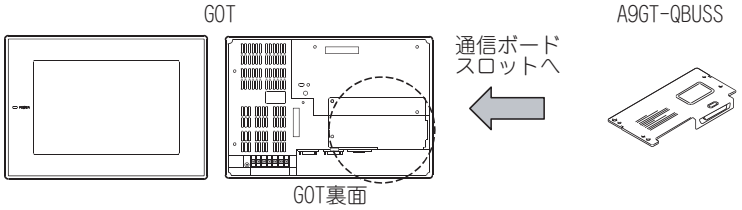
バス接続時の注意事項については，下記のマニュアルを参照してください。

☞ GOT-A900 シリーズユーザーズマニュアル（接続編）を参照してください

1 GOT に通信ボードを装着する

バス接続ボードを，GOT の通信ボードスロットに装着します。
バス接続ボードを装着する場合は，GOT の電源が OFF の状態で装着してください。
通信ボードの装着方法については，下記のマニュアルを参照してください。

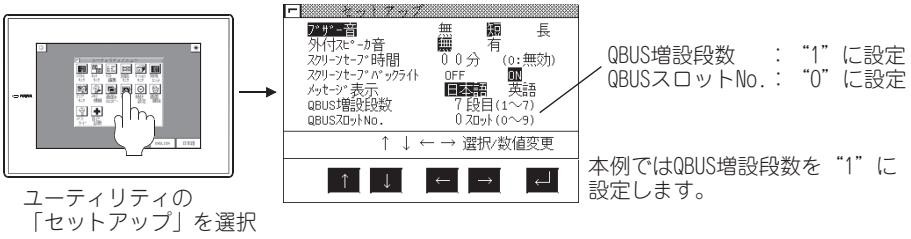
☞ A985GOT/A975GOT/A970GOT/A960GOT ユーザーズマニュアル（詳細編）



2 GOT の増設段数と I/O スロット No. を設定する

バス接続をする場合，GOT の増設段数と I/O スロット No. を，GOT のユーティリティの「セットアップ」で設定する必要があります。
ユーティリティの詳細については，下記のマニュアルを参照してください。

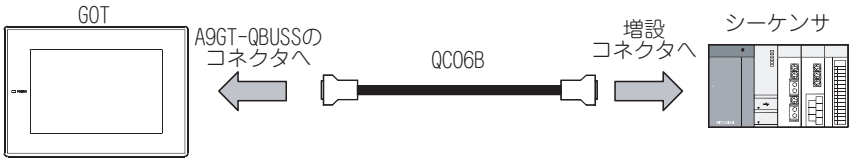
☞ GOT-A900 シリーズオペレーティングマニュアル（拡張機能・オプション機能編）



3 シーケンサ CPU と接続する

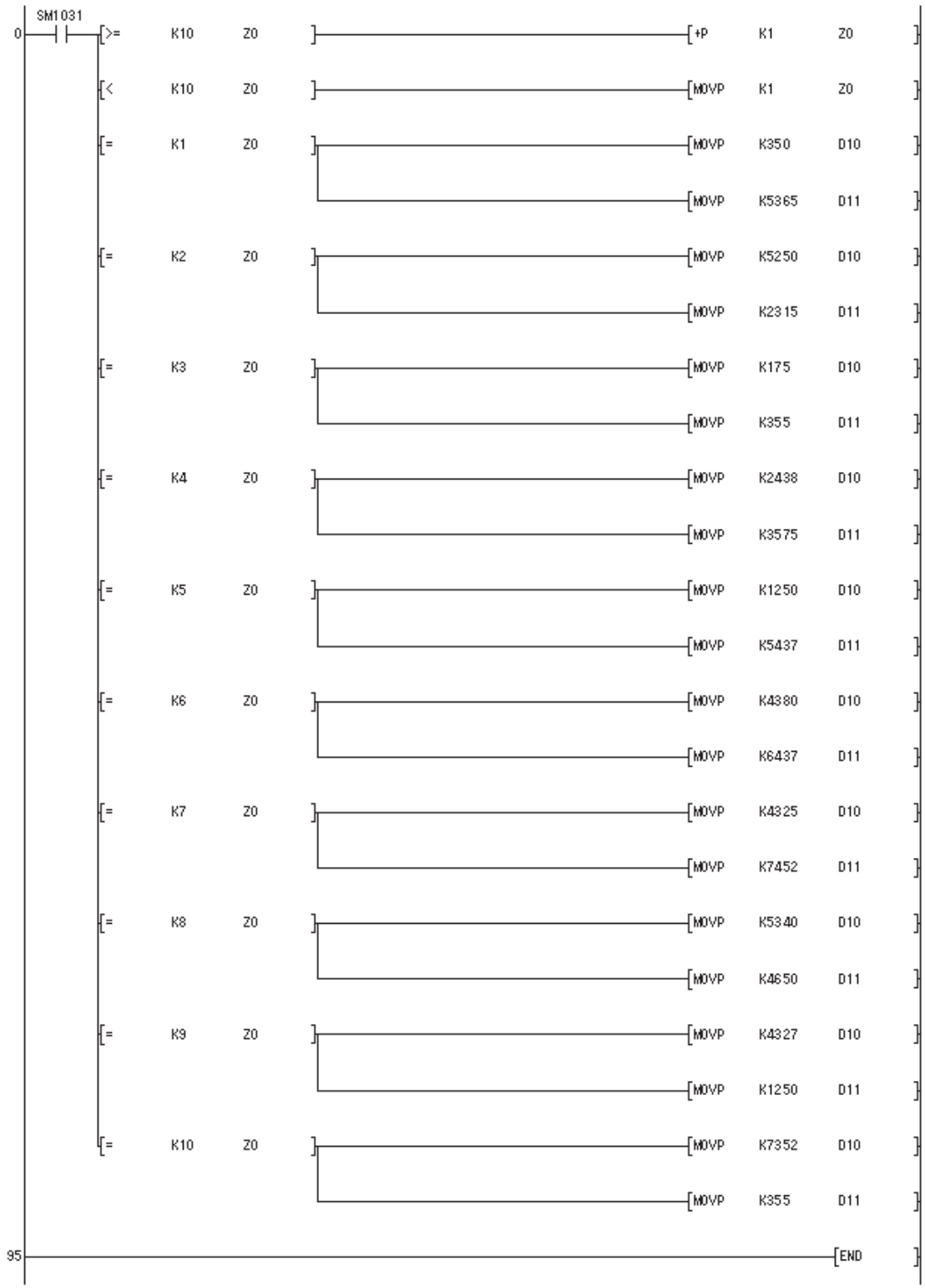
GOT とシーケンサ CPU をバス接続ケーブルで接続します。
シーケンサ CPU と接続する場合は，必ずシステム全体の電源を OFF にしてから行ってください。
接続時のシステム構成の詳細については，下記のマニュアルを参照してください。

☞ GOT-A900 シリーズオペレーティングマニュアル（接続編）



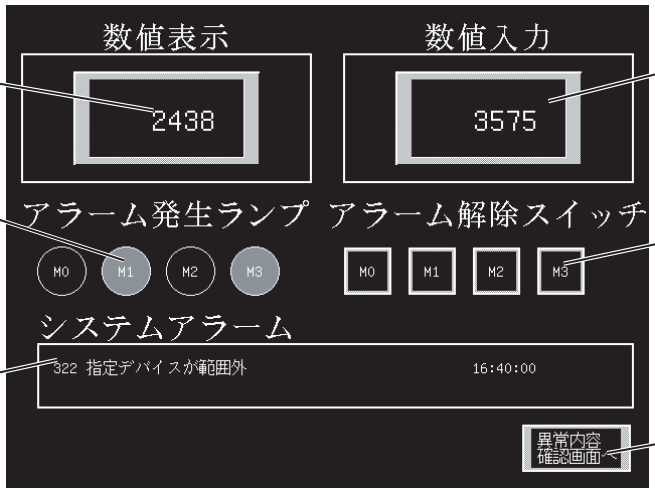
本例では基本ベースに接続します。

4 本編で使用したシーケンスプログラム



5 GOT での動作イメージ

ベース画面1



D10の値を表示します。

タッチすると，キーウィンドウが表示され，D11に数値を入力します。

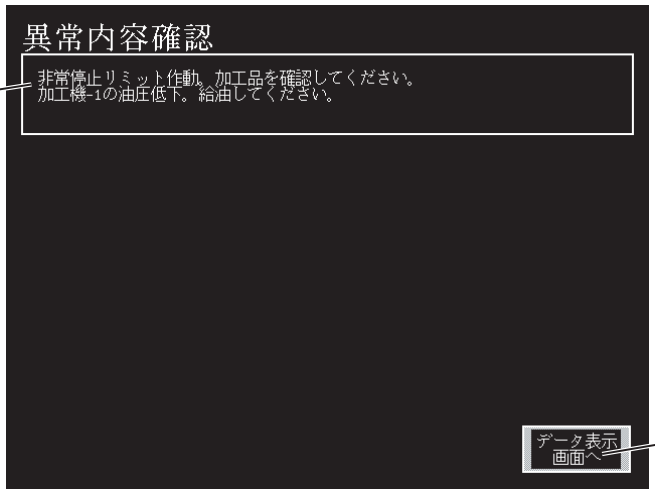
GX DeveloperなどでM0～M3をONすると，ランプが点灯します。

タッチすると，ONしているM0～M3をOFF（ランプを消灯）します。

GOT，CPUで異常が発生した場合，エラーコードやエラーメッセージを表示します。

タッチするとベース画面2に表示を切り換えます。

ベース画面2

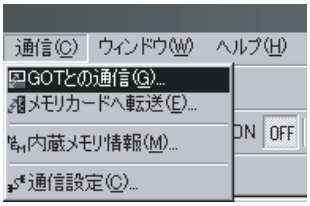


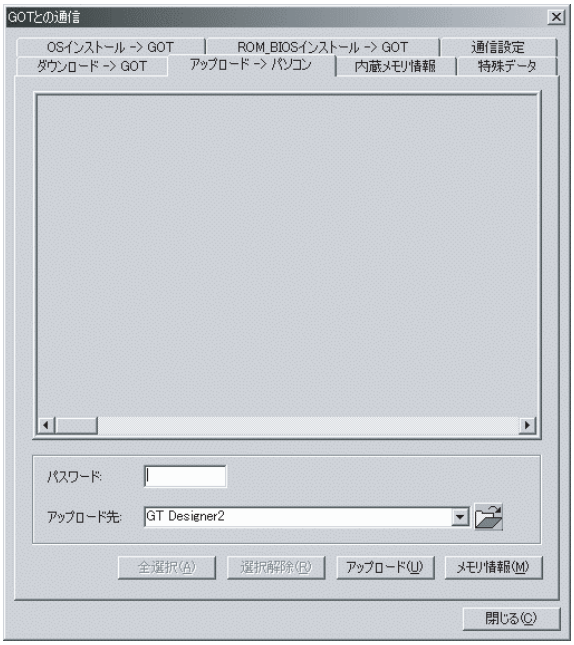
ベース画面1でONしているM0～M3のコメントを表示します。

タッチするとベース画面1に表示を切り換えます。

8.3 アップロードする

GOT にダウンロードしているモニタデータをバックアップしたい場合や，修正したい場合，パソコンにモニタデータをアップロードします。





1 【通信】→【GOT との通信】メニューを選択します。

2 ダイアログボックスが表示されるので，アップロードタブを選択します。

・アップロード先：GT Designer2

3 アップロード ボタンをクリックすると，アップロードが実行されます。

保証について

ご使用に際しましては，以下の製品保証内容をご確認いただきますよう，よろしくお願いいたします。

1. 無償保証期間と無償保証範囲

無償保証期間中に，製品に当社側の責任による故障や瑕疵（以下併せて「故障」と呼びます）が発生した場合，当社はお買い上げいただきました販売店または当社サービス会社を通じて，無償で製品を修理させていただきます。
ただし，国内および海外における出張修理が必要な場合は，技術者派遣に要する実費を申し受けます。
また，故障ユニットの取替えに伴う現地再調整，試運転は当社責務外とさせていただきます。

【無償保証期間】

製品の無償保証期間は，お客様にてご購入後またはご指定場所に納入後 36ヵ月とさせていただきます。
ただし，当社製造出荷後の流通期間を最長 6ヵ月として，製造から 42ヵ月を無償保証期間の上限とさせていただきます。また修理品の無償保証期間は，修理前の無償保証期間を超えて長くなることはありません。

【無償保証範囲】

（1） 使用状態，使用方法および使用環境などが，取扱説明書，ユーザーズマニュアル，製品本体注意ラベルなどに記載された条件，注意事項などにしたがった正常な状態で使用されている場合に限定させていただきます。

（2） 無償保証期間内であっても，以下の場合には有償修理とさせていただきます。

① お客様における不適切な保管や取扱い，不注意，過失などにより生じた故障およびお客様のハードウェアまたはソフトウェア設計内容に起因した故障。
② お客様にて当社の了解なく製品に改造などの手を加えたことに起因する故障。
③ 当社製品がお客様の機器に組み込まれて使用された場合，お客様の機器が受けている法的規制による安全装置または業界の通念上備えられているべきと判断される機能・構造などを備えていれば回避できたと認められる故障。
④ 取扱説明書などに指定された消耗部品が正常に保守・交換されていれば防げたと認められる故障。
※消耗部品（バッテリ，バックライト，ヒューズ，保護シート，耐油カバーなど）は保証対象外です。
⑤ 火災，異常電圧などの不可抗力による外部要因および地震，雷，風水害などの天変地異による故障。
⑥ 当社出荷当時の科学技術の水準では予見できなかった事由による故障。
⑦ その他，当社の責任外の場合またはお客様が当社責任外と認めた故障。

2. 生産中止後の有償修理期間

（1） 当社が有償にて製品修理を受け付けることができる期間は，その製品の生産中止後 7 年間です。
生産中止に関しましては，当社テクニカルニュースなどにて報じさせていただきます。

（2） 生産中止後の製品供給（補用品も含む）はできません。

3. 海外でのサービス

海外においては，当社の各地域 FA センタで修理受付をさせていただきます。ただし，各 FA センタでの修理条件などが異なる場合がありますのでご了承ください。

4. 機会損失，二次損失などへの保証責務の除外

無償保証期間の内外を問わず，当社の責に帰すことができない事由から生じた損害，当社製品の故障に起因するお客様での機会損失，逸失利益，当社の予見の有無を問わず特別の事情から生じた損害，二次損害，事故補償，当社製品以外への損傷および，お客様による交換作業，現地機械設備の再調整，立上げ試運転その他の業務に対する補償については，当社責務外とさせていただきます。

5. 製品仕様の変更

カタログ，マニュアルもしくは技術資料などに記載の仕様は，お断りなしに変更させていただく場合がありますので，あらかじめご承知おきください。

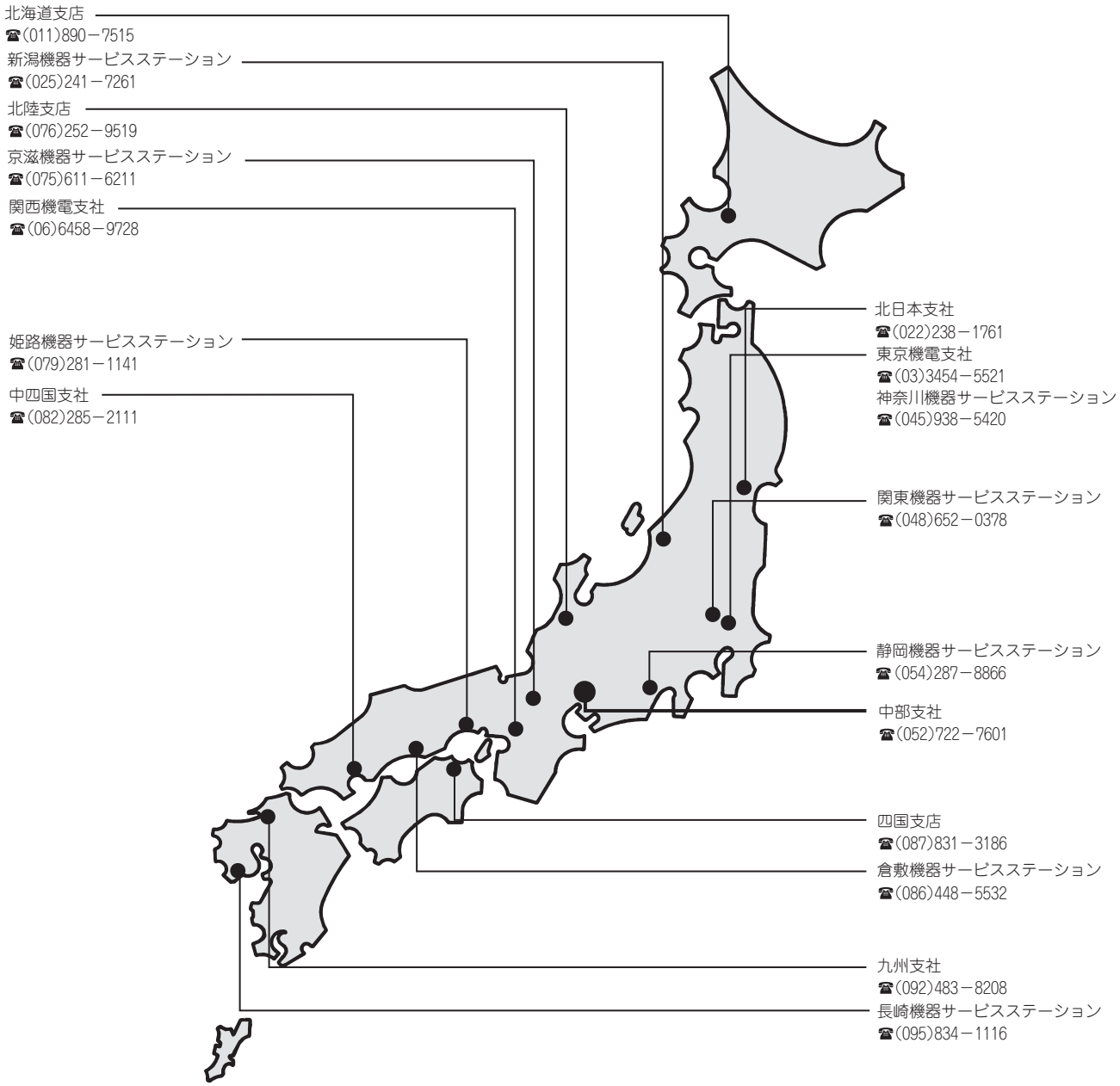
6. 製品の適用について

（1） 当社グラフィックオペレーションターミナルをご使用いただくにあたりましては，万一グラフィックオペレーションターミナルに故障・不具合などが発生した場合でも重大な事故にいたらない用途であること，および故障・不具合発生時にはバックアップやフェールセーフ機能が機器外部でシステム的に実施されていることを，ご使用の条件とさせていただきます。

（2） 当社グラフィックオペレーションターミナルは，一般工業などへの用途を対象とした汎用品として設計・製作されています。したがいまして，各電力会社殿の原子力発電所およびその他発電所向けなどの公共への影響が大きい用途や，鉄道各社殿および官公庁殿向けの用途などで，特別品質保証体制をご要求になる用途には，グラフィックオペレーションターミナルの適用を除外させていただきます。また，航空，医療，鉄道，燃焼・燃料装置，有人搬送装置，娯楽機械，安全機械など人命や財産に大きな影響が予測される用途へのご使用についても，当社グラフィックオペレーションターミナルの適用を除外させていただきます。
ただし，これらの用途であっても，使途を限定して特別な品質をご要求されないことをお客様にご了承いただく場合には，適用可否について検討致しますので当社窓口へご相談ください。

以　上

サービスネットワーク（三菱電機システムサービス(株)）



Microsoft，Windows，Windows NT，Windows Vista は，米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
Adobe，Adobe Reader は，Adobe Systems Incorporated の登録商標です。
Pentium，Celeron は，Intel Corporation の米国およびその他の各国における商標および登録商標です。
Ethernet は，米国 Xerox.co.ltd の登録商標です。
MODBUS は，Schneider Electric SA の登録商標です。
PC-9800，PC98-NX は，日本電気株式会社の登録商標です。
その他，本文中における会社名，商品名は，各社の商標または登録商標です。

本製品は「Arphic Mobile Font」を使用しています。
VSFlexGrid8
(c)ComponentOne LLC. All rights reserved
LEADTOOLS(r) DLL for Win32
Copyright(c) 1991-2003 LEAD Technologies, Inc.

GT Works2 Version2/
GT Designer2 Version2

オペレーティングマニュアル（スタートアップ・入門編）

（GOT900シリーズ対応）

三菱電機株式会社　〒100-8310　東京都千代田区丸の内2-7-3（東京ビル）

お問い合わせは下記へどうぞ

本社機器営業部 …… 〒100-8310　東京都千代田区丸の内2-7-3（東京ビル） …… (03)3218-6760
北海道支社 …… 〒060-8693　札幌市中央区北二条西4-1（北海道ビル） …… (011)212-3794
東北支社 …… 〒980-0011　仙台市青葉区上杉1-17-7（仙台上杉ビル） …… (022)216-4546
関越支社 …… 〒330-6034　さいたま市中央区新都心11-2（明治安田生命さいたま新都心ビル ランド・アクシス・タワー） … (048)600-5835
新潟支店 …… 〒950-8504　新潟市中央区東大通2-4-10（日本生命ビル） …… (025)241-7227
神奈川支社 …… 〒220-8118　横浜市西区みなとみらい2-2-1（横浜ランドマークタワー） …… (045)224-2624
北陸支社 …… 〒920-0031　金沢市広岡3-1-1（金沢パークビル） …… (076)233-5502
中部支社 …… 〒450-8522　名古屋市中村区名駅3-28-12（大名古屋ビル） …… (052)565-3314
豊田支店 …… 〒471-0034　豊田市小坂本町1-5-10（矢作豊田ビル） …… (0565)34-4112
関西支社 …… 〒530-8206　大阪市北区堂島2-2-2（近鉄堂島ビル） …… (06)6347-2882
中国支社 …… 〒730-8657　広島市中区中町7-32（ニッセイ広島ビル） …… (082)248-5445
四国支社 …… 〒760-8654　高松市寿町1-1-8（日本生命高松駅前ビル） …… (087)825-0055
九州支社 …… 〒810-8686　福岡市中央区天神2-12-1（天神ビル） …… (092)721-2247

インターネットによる三菱電機FA機器技術情報サービス

MELFANSwebホームページ：http://www.MitsubishiElectric.co.jp/melfansweb
MELFANSwebのFAランドでは、体験版ソフトウェアやソフトウェアアップデートのダウンロードサービス、MELSECシリーズのオンラインマニュアル、Q&Aサービス等がご利用いただけます。FAランドのID登録（無料）が必要です。

電話技術相談窓口

対象機種		電話番号	受付時間※1
GOT表示器	GOT1000/A900シリーズなど	052-712-2417	月曜～金曜　9:00～19:00
	MELSOFT GTシリーズ		
FGOT/DU表示器	GOT-F900シリーズなど	052-725-2271	月曜～木曜　9:00～19:00 金曜　9:00～17:00
MELSEC-FX/F	Fシーケンサ全般		
MELSEC-Q/QnA/A シーケンサ	シーケンサー般（下記以外）	052-711-5111	月曜～金曜　9:00～19:00
	ネットワーク、シリアルコミュニケーションユニット	052-712-2578	
	位置決めユニット　※2	052-712-6607	
	アナログ、温調、温度入力、高速カウンタユニット	052-712-2579	
	C言語コントローラ/MESインタフェースユニット	052-712-2370	月曜～木曜　9:00～19:00 金曜　9:00～17:00
MELSOFTシーケンサ プログラミングツール	MELSOFT GXシリーズ	052-711-0037	月曜～金曜　9:00～19:00
	SW□IVD-GPPA/GPPQなど		
MELSOFT通信支援 ソフトウェアツール	MELSOFT MXシリーズ	052-712-2370	月曜～木曜　9:00～19:00 金曜　9:00～17:00
	SW□D5F-CSKP/OLEX/XMOPなど		
MELSECパソコンボード	Q80BDシリーズなど		
MELSEC計装/Q二重化	プロセスCPU	052-712-2830	
	二重化CPU		
	MELSOFT PXシリーズ		
MELSEC Safety	安全シーケンサ（MELSEC-QSシリーズ）	052-712-3079	
ACサーボ	MELSERVOシリーズ	052-712-6607	月曜～金曜　9:00～19:00
モーションコントローラ	モーションCPU（Q/Aシリーズ）		
	MELSOFT MTシリーズなど		
インバータ	FREQROLシリーズ	052-722-2182	

FAX技術相談窓口

対象機種	FAX番号	受付時間※1
上記対象機種	052-719-6762	9:00～16:00（受信は常時※3）

※1: 土・日・祝祭日、春期・夏期・年末年始の休日を除く通常業務日
※2: ACサーボ、モーション窓口にて対応します
※3: 春期・夏期・年末年始の休日を除く

形名	SW2-GT900-O(STA)
形名コード	1D7M17
SH(名)-080513-N(0808)MEE	

本マニュアルは，輸出する場合，経済産業省への役務取引許可申請は不要です。

この印刷物は2008年8月の発行です。なお，お断りなしに仕様を変更することがありますのでご了承ください。

この標準価格には消費税は含まれておりません。ご購入の際には消費税が付加されますのでご承知おき願います。

2008年8月作成

標準価格　1,500円